

令和 3 年度
(2021年度)

学生の葉

シラバス (授業要綱)

2 年次

学籍番号

氏 名

福岡医療短期大学
歯科衛生学科

建学の精神

歯科衛生学に関する専門の学術を教授研究し、教養と良識を備えた有能な歯科衛生士を養成し、保健福祉に貢献すると共に、歯科衛生学の進展に寄与する

教育の理念

本学は、「教育基本法及び学校教育法の精神に基づき、歯科衛生士に必要な専門の知識と技術を教授研究し、教養と良識を備え、口腔医学に基づいた歯科医療を実践できる有能な人材を育成するとともに、もって医療、保健、福祉に寄与する」（学則第1条）ことを使命とする。

近年、医療・保健・福祉を取り巻く環境の変貌は著しく、それらの高度化・専門化が進行している。これに伴い、歯科医療チームの一員としての歯科衛生士の役割はますます重要視されるとともに、指導的役割を果たすことのできる優秀な人材の育成が強く求められている。これらの社会的要請に応えるために、幅広い知識と高度な技術を兼ね備えた歯科衛生士の養成を目指す。

入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める人材を育成するために、次に掲げる「知識・理解・技能」や「思考力・判断力・表現力」および「態度・主体性」を備えた人を求めます。

- 1 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識・理解や実技を行う能力を有している。（知識・理解・技能）
- 2 物事を多面的かつ論理的に考えることができる。（思考力・判断力）
- 3 自分の考えを的確に表現し伝えることができる。（表現力）
- 4 対話を通して、相互理解に努めようとする態度を有している。（態度）
- 5 口腔保健に深い関心を持ち、社会に積極的に貢献する意欲がある。（主体性）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた目標を達成するために、医療人としての自覚と倫理観を持ち、生涯を通じた口腔の健康管理、要介護者および高齢者や障がい者への専門的口腔ケア（口腔介護）を実践できる歯科衛生士の養成を目的にカリキュラムを編成しています。1年次から3年次へと体系的・順序性を考慮して「基礎分野」、「専門基礎分野」、「専門分野」、「選択必修分野」にわけて、カリキュラムを編成し、講義、実習を適切に組み合わせた授業を開講しています。カリキュラムの体系を示すために、科目間の関連、学修の段階や順序等を表した番号をふるナンバリングを行い、カリキュラムの構造をわかりやすくシラバスに明示しています。

（教育内容）

- 1 「基礎分野」（知識・理解、態度・主体性）
生命科学および情報処理の理解を深め、豊かな感性や教養を持った歯科衛生士の育成を目指します。また、グローバルな対人コミュニケーション能力を身につけた人材を育成します。
- 2 「専門基礎分野」（知識・理解、態度）
高度化および専門化する口腔医学に対応するために、歯科衛生士として必要な基礎医学を系統立てて理解した人材を育成します。また、疾病の予防と回復過程の知識を身につけ、歯や口腔の健康と予防に関する人間と社会の仕組みを理解し、地域における関係諸機関等との連携ができる能力を持つ人材を育成します。
- 3 「専門分野」（知識・理解・技能、思考力・判断力・表現力、態度・主体性）
生涯を通じた継続的な口腔保健管理を理解し、疾病やライフステージ別の予防法や予防システムの構築を学ぶとともに、生活環境や全身状態が多様な個人および集団に対して、専門的立場から歯科保健指導を実践する能力を身につけた歯科衛生士を育成します。また、「歯科医療チームの一員として歯科医師の診療の補助ができる歯科衛生士」、「福岡歯科大学医科歯科総合病院での臨床実習を通して、医療人としての自覚と倫理観を備え、専門性を発揮できる歯科衛生士」、「キャンパス内外の介護保険施設等での臨地実習では多職種と連携し、要介護高齢者や障がい者の口腔介護を実践できる歯科衛生士」の育成を目指します。
- 4 「選択必修分野」（知識・理解・技能、表現力、態度・主体性）
口腔介護の実践で必要となる生活介護や身体介護を修得し、超高齢社会に対応した知識・技能を身につけた歯科衛生士を育成するとともに、すべてのライフステージにおける口腔保健管理のサポートに必要な豊かな人間性と職業倫理観や、生涯にわたって学修を継続する意欲を持ち、また、アジアに視点をおいた幅広いコミュニケーション能力を身につけ、国際的にも活躍できる歯科衛生士の育成を目指します。

（教育方法）

- 1 主体的に学ぶ力を高めるために、アクティブ・ラーニングを取り入れた教育方法を実践します。（思考力・判断力、態度・主体性）
- 2 教育効果を上げるために、シラバスに学修内容や準備学修の項目を設け、ホームワークやレポートは整合性や連続性を図ると共に、形成的評価のための学期中のフィードバックを行います。（知識・理解）

- 3 目標・記録・評価の総合的ツールであるポートフォリオを3年間かけて作成し、自己の学生生活を自分で管理し、「ふりかえり」を行います。(態度・主体性)
- 4 国家試験に必要な専門的知識の修得確認のために外部テスト(歯科衛生士模擬試験)を導入し、結果のモニタリングを行い、自己学修の推進を図ります。また、模擬試験や国家試験対策のための時間を設定し、2年次から段階を追った学修プログラムを実施します。(知識・理解)
- 5 臨床・臨地実習は、指導教員および実習指導者から助言を受けながら知識や技能を深め、また、小グループでのグループ学修により他者の意見も聞き、考えを広げ、専門知識を活用した問題発見や問題解決の方法の修得を図ります。(知識・理解・技能、思考力・判断力・表現力、態度・主体性)

(教育評価)

- 1 履修した各講義や実習科目においては、シラバスに明記された評価方法に従い、学期末毎の学修到達度の評価を行います。不合格の者には再試験を課し、その合格を求めます。
- 2 各年次において、修得すべき全単位を取得した場合を進級とします。
- 3 3年次臨床・臨地実習の期間に、身に付けるべき能力の修得について評価します。臨床・臨地実習試験の不合格の者には再試験を課し、その合格を求めます。
- 4 3年次期末に、それまでの専門基礎分野および専門分野の修得を確認する「卒業試験」を行います。不合格の者には再試験を課し、その合格を求めます。

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

本学科では、建学の精神を基本理念とし、下記(Ⅰ)の目指すべき人物像に向けて、本学の学位プログラムの課程を修め、すべての単位取得を充たした上で、医療・保健・福祉を取り巻く環境の変化に対応した専門知識・技術を修得し、下記(Ⅱ)の能力を身につけた者に卒業認定を行います。

Ⅰ 目指すべき人物像

豊かな教養と人間性を持ち、口腔保健の専門性を発揮するとともに、多職種と協働、連携し、歯科衛生士のリーダーとして活躍できる人物。

Ⅱ 修得すべき能力

(知識・理解)

- 1 歯科衛生士として豊かな教養と人間性を持ち、基本的な医療・保健・福祉の知識を体系的に理解し、多様な対象者を支援することができる。

(思考力・判断力)

- 2 多様な情報や知識を論理的に分析、考察することができる。
- 3 科学的思考力を持ち、口腔保健活動における問題を発見・解決することができる。

(態度・主体性)

- 4 医療人としての自覚と倫理観を備えている。
- 5 口腔の健康管理に関心を持ち、生涯にわたって学修を継続することができる。
- 6 自己管理能力や主体性を発揮し、社会や他者のために責任ある行動をとることができる。
- 7 国際交流にも視点をおいた多様な対象者に対して幅広いコミュニケーションを図ることができる。

(技能、表現力)

- 8 根拠や理論に基づいた口腔保健管理のための知識や技能を活用し、対象者の生活の質(QOL)の向上を図ることができる。

歯科衛生学科（１、２年生）

科目		科目番号	時間数	単位	1 年前期	1 年後期	2 年前期	2 年後期	3 年前期	3 年後期		
基礎分野	科学的思考の基盤	生物物理学 I	DH011001	30	1	30						
		情報処理概論 I	DH011002	18	1		18					
		情報処理概論 II	DH021003	18	1			18				
		情報処理実習 I	DH011004	42	1		42					
		情報処理実習 II	DH021005	42	1			42				
	人間と社会生活の理解	経済学	DH021011	30	1			30				
		英語 I	DH011012	60	2	30	30					
		英語 II	DH011013	30	1			30				
		キャリアデザイン	DH021014	20	1				20			
		健康生理学 I	DH011015	30	1	30						
		健康生理学 II	DH011016	30	1		30					
		専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖生理学	DH011101	30	2	30				
全身疾患の病態・生理学	DH021102			30	2			30				
歯・口腔の構造と機能	口腔組織生物学		DH011111	30	2	30						
	口腔解剖学		DH011112	30	1		30					
7	口腔生理学		DH011113	30	2	30						
	口腔生化学		DH011114	30	2		30					
疾病の成り立ちと回復の促進	口腔病理学		DH011121	30	2		30					
	口腔微生物学		DH011122	30	2	30						
6	歯科薬理学		DH011123	30	2		30					
	口腔衛生学 I		DH011131	30	2	30						
専門分野	歯・口腔の健康と予防に関する人間と社会の仕組み		口腔衛生学 II	DH011132	30	2		30				
			歯科衛生統計	DH031133	18	1					18	
	9	衛生学・公衆衛生学	DH021134	30	2			30				
		衛生行政論	DH031135	18	1					18		
	26	社会福祉論	DH031136	18	1					18		
		歯科衛生士概論	DH011201	30	1	30						
	2	看護学総論	DH021202	30	1			30				
		臨床歯科医学	歯科臨床概論	DH011211	30	1	30					
	歯科保存修復・歯内治療学		DH011212	30	1		30					
	歯周病治療学		DH021213	30	1			30				
	歯科補綴学		DH011214	30	1		30					
	口腔外科学		DH011215	30	1		30					
小児歯科学	DH011216		30	1		30						
矯正歯科学	DH011217		30	1		30						
9	高齢者・障害者歯科学		DH021218	30	1			30				
	歯科麻酔学・歯科放射線学		DH021219	30	1				30			
8	歯科予防処置論（講義）I		DH011221	20	1	20						
	歯科予防処置論（講義）II		DH021222	18	1				18			
専門分野	歯科予防処置論		歯科予防処置実習 I	DH011223	40	1	40					
		歯科予防処置実習 II	DH011224	40	1		40					
	8	歯科予防処置実習 III	DH021225	40	1			40				
		歯科予防処置実習 IV	DH021226	80	2			80				
	歯科予防処置実習 V	DH021227	40	1				40				
	8	歯科保健指導論（講義）I	DH021231	20	1			20				
		歯科保健指導論（講義）II	DH021232	18	1				18			
	7	栄養学	DH021233	30	1			30				
		食育	DH021234	24	1				24			
	8	歯科保健指導実習 I	DH011235	30	1	30						
		歯科保健指導実習 II	DH011236	30	1		30					
	専門分野	8	歯科保健指導実習 III	DH021237	30	1			30			
歯科保健指導実習 IV			DH021238	30	1				30			
8		歯科診療補助論（講義）I	DH011241	20	1	20						
		歯科診療補助論（講義）II	DH021242	24	1				24			
7		歯科材料学	DH011243	30	1	30						
		歯科診療補助実習 I	DH011244	40	1	40						
7		歯科診療補助実習 II	DH011245	40	1		40					
		歯科診療補助実習 III	DH021246	40	1			40				
7		歯科診療補助実習 IV	DH021247	40	1				40			
		口腔介護論	DH021251	30	1				30			
専門分野		2	口腔介護技術論	DH021252	44	1				44		
			臨床・臨床実習	DH031261	900	20					450	450
	20	（含口腔介護施設実習）										
		口腔保健テーマ別講義	DH031271	60	2						60	
	4	卒業研究	DH031272	50	2						50	
		必修合計		2902	98	480	530	480	348	504	560	
	選択必修分野	7	コミュニケーションスキル	DH022301	30	2				30		
			接遇	DH022302	30	2					30	
			中国語	DH022303	30	2					30	
			韓国語	DH022304	30	2					30	
			物理学	DH012305	18	1	18					
			化学	DH012306	18	1	18					
心理学			DH022307	30	2			30				
倫理学			DH022308	30	2			30				
介護研修 I			DH022309	24	2			24				
介護研修 II			DH022310	32	2			32				
介護研修 III			DH022311	24	2				24			
介護研修 IV			DH022312	60	3				60			
介護研修 V	DH022313		32	2				32				
選択合計				388	25	36	0	116	236	0	0	
総計				3290	123	516	530	596	584	504	560	

講義15時間～30時間を1単位、実習30時間～45時間を1単位とする。
 選択必修分野から7単位を履修する。

福岡医療短期大学試験、 成績の評価及び進級に関する規則

(平27.4.1適用)

(試験)

- 第1条 試験は定期試験、追試験、再試験及び卒業試験とする。ただし、必要に応じ随時に試験を行うことがある。
- 2 定期試験は、学期末又は学年末に各授業科目について行う。
- 3 追試験は、病気その他やむを得ない事由により定期試験を受けることができなかった者に対し当該試験科目について行う。
- 4 再試験は、定期試験において不合格となった試験科目のある者（当該試験科目について）及び卒業試験に不合格となった者に対し、必要がある場合行う。
- 5 卒業試験は、学則第13条に定める別表Ⅰ、Ⅱの教育課程を履修した者に対して行う。

(試験方法)

- 第2条 試験は、筆記又は口頭による質疑応答又は実習、実技の審査によるほか、レポート、論文の審査又は平常の成績をもって替えることができる。

(受験資格)

- 第3条 次の各号の一に該当する者は試験を受けることができない。ただし、相当の事由がある場合は、仮に試験を受けさせることができる。
- (1) 各授業科目について、出席日数が授業時間数の3分の2に達しない者及び実習については5分の4に満たない者
- (2) 学則第33条の規定により現に懲戒（停学）処分中の者
- (3) 学生納付金及び追試験又は再試験の場合における受験料を未納の者
- (4) その他短大学長の指定した者

(受験者心得)

- 第4条 受験者は次の各号に定める事項を遵守しなければならない。
- (1) 試験開始後20分経過した後は試験場に入る（受験する）ことを認められないこと及び試験開始後30分までは退場を認められないこと。
- (2) 試験場においては、必ず学生証（追・再試験の場合は追・再試験受験票、以下本号において同じ）を机上に提示すること（当日学生証を忘れた者は、あらかじめ事務室で臨時学生証の交付を受けること。）。
- (3) 試験場においては、指定の場所に着席すること。
- (4) 試験場においては、指定ある場合を除きノート、教科書、参考書等を机に置かないこと。
- (5) 試験場においては、監督者の指示に従うこと。
- (6) 答案用紙は白紙でも学籍番号、氏名を明記し、提出すること。
- (7) 試験に関する掲示に注意すること。
- (8) 追・再試験を受けようとする者は、短大学長の許可を受け、受験料を納付し追・再試験受験票の交付を受けること。

(試験中の不正行為)

第5条 試験中不正行為を認めたときは、監督員は直ちに答案を没収し、退場を命ずるとともに試験終了後速やかに短大学長に報告しなければならない。

2 不正行為を行った者に対しては、当該学期の全受験科目の評価を無効とし、かつ、学則第33条の規定により懲戒処分を行うものとする。

(成績の評価)

第6条 試験の成績は、優・良・可・不可の評語をもって表わし、可以上を合格とする。ただし、再試験においては可又は不可とし、卒業試験においては合又は否とする。

(進級及び留級)

第7条 学則第16条の規定により、当該学年において修得すべき全授業科目に合格した場合は進級とし、不合格の科目がある場合は、短大学長が進級又は留級を決定する。

(留級者)

第8条 留級者は原則として当該学年において修得すべき全授業科目のうち特に免除された科目のほかの授業に出席し、試験を受けなければならない。

福岡医療短期大学試験、 成績の評価に関する細則

(平31.4.1適用)

試験、成績の評価等の取り扱いについて

1 試験の成績における評語の点数区分等

試験の成績における各評語の点数区分は次のとおりとする。

なお、「優、良、可、不可」はそれぞれ「A、B、C、D」で表すこともできる。

(1) 定期試験等

優	(A)	100点～80点
良	(B)	79点～70点
可	(C)	69点～60点
不可	(D)	59点～0点

(2) 卒業試験等

合	100点～70点
否	69点～0点

2 追・再試験の採点方法

(1) 追試験

点数は最高100点とする。

(2) 再試験

点数は最高60点とする。ただし、卒業試験の再試験は最高70点とする。

3 再試験欠席者の成績評価

(1) 再試験欠席者の成績(学年成績)の評価は、通常、定期試験の成績をもって代えるものとするが、これによることなく、担当教員が必要に応じてその他の方法により評価を行うことができる。

(2) 再試験の成績報告書において欠席の旨表示された者については、定期試験の成績をもってその学年成績とする。

福岡医療短期大学 G P A に関する実施要項

(目的)

第1条 この要項は、福岡医療短期大学（以下「本学」という。）におけるグレード・ポイント・アベレージ（履修科目の成績の平均値。以下「G P A」という。）に関し必要な事項を定め、教育課程における学修到達度を客観的に評価することにより、大学教育の質を保証するとともに、学修支援等に資することを目的とする。

(評価等)

第2条 学生が履修した授業科目のグレード・ポイント（評価により与えられる数値。以下「G P」という。）は、次表のとおりとする。

区 分	グレード	1単位あたりのG P	成績評価基準	学修成果の達成度
合 格	S	4	100点～90点	基準を大きく超えて優秀である
	A	3	89点～80点	基準を超えて優秀である
	B	2	79点～70点	望ましい基準に達している
	C	1.5	69点～60点	単位を認める基準に達している
	C*	1	再試験合格60点	単位を認める最低限の基準には達している
不合格	D	0	59点～0点	基準を下回っている

(G P A の算定)

第3条 各学期の G P A（以下「学期 G P A」という。）及び累積の G P A（以下「累積 G P A」という。）は、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下第一位未満の端数があるときは、小数点以下第三位の値を四捨五入するものとする。

学期 G P A =

$$\frac{(\text{当該学期の履修科目の G P} \times \text{当該科目の単位数}) \text{の総和}}{\text{当該学期の履修登録した科目の総単位数}}$$

累積 G P A =

$$\frac{(\text{全学期の履修科目の G P} \times \text{当該科目の単位数}) \text{の総和}}{\text{修得した科目の総単位数}}$$

(対象授業科目等)

第4条 本学で進級あるいは卒業により認定されたすべての授業科目を G P A の対象授業科目とする。

2 前項の規定にかかわらず、次の場合は、G P A の対象外科目とする。

- (1) 選択科目で必要単位数を超えて取得した科目
- (2) 編入学または転入学等の単位認定科目
- (3) 本学入学前に修得した単位認定科目
- (4) その他教授会で認めた G P A 算出除外科目

(G P A の公表)

第5条 G P A は、成績配付時に学生へ公表する。

(G P A の活用)

第6条 学期 G P A は、次のとおり活用するものとする。

- (1) 1つの学期（1セメスター）の G P A が 1.5 未満となった場合は、学生本人を呼び出し、学年担任による注意と指導を行う。
- (2) G P A 1.5 未満が 2 学期（2セメスター）連続した場合は、学生本人及び保証人（保護者等）に対して学科長と学年担任による面談を実施し、学年担任と助言教員等が継続的な学修支援等を行う。
- (3) G P A 1.5 未満が 3 学期（3セメスター）連続した場合は、学生本人及び保証人（保護者等）に対して学科長と学年担任による面談を実施し、退学するか、就学を継続するか意思確認を行う。就学意思がある場合には、学年担任及び助言教員等が継続的な学修支援・生活指導等を行う。

2 累積 G P A は、次のとおり活用するものとする。

- (1) 学生の主体的な学修を促進するための指標
- (2) 学生の学業成績を総合的に判断する指標
- (3) 特別奨学生や奨学金等の算定基礎資料
- (4) 学生の推薦や就職活動等にかかる資料

(その他)

第7条 この要項に定めるもののほか、G P Aの取扱いに関し必要な事項は、学務・F D委員会が別に定める。

福岡医療短期大学出欠の確認に関する細則

(平25.4.1適用)

- 1 福岡医療短期大学出欠の確認に関する細則は、次のとおりとする。
- 2 出席の確認は各授業開始時に行う。
- 3 出席確認時にあらかじめ決められた座席に着席していない者は欠席とする。
- 4 授業担当者が正当な理由がないと判断した授業途中の退室は欠席とする。
- 5 授業中の携帯電話の使用は禁止する。使用した者はその授業を欠席とし、退室を命じる。
- 6 法令、天災その他本人の責によらない場合には、速やかに届け出ること。

シラバス（授業要綱）

科目ナンバリングのコード配分規則（歯科衛生学科：科目群）

（例）DH011001 『8桁』の科目番号

DH 01 1 001 ⇒ 『生物学』

	学部	学年水準	履修区分	通し番号
（例）	DH （歯科衛生学科）	01 （第1年次）	1 （必修）	001 （先頭の科目）
詳細	別表1	別表2	別表3	別表4

別表1〔学科〕

識別文字	学科名等	英語標記
DH	歯科衛生学科	Dental Hygiene
HP	専攻科	Dental Hygiene Postgraduate Course

別表2〔学年水準〕

番号	付加情報	番号	付加情報
00	導入レベル	21	専攻1年
01	1年		
02	2年		
03	3年		

別表3〔履修区分〕

番号	付加情報
0	なし
1	必修
2	選択必修

別表4-1〔通し番号〕歯科衛生学科

番号	科目分野	科目群
001～100	基礎分野	科学的思考の基盤 001～ 人間と社会生活の理解 011～
101～200	専門基礎分野	人体の構造と機能 101～ 歯・口腔の構造と機能 111～
		疾病の成り立ちと回復の促進 121～
201～300	専門分野	歯・口腔の健康と予防に関する人間と社会の仕組み 131～
		歯科衛生士概論 201～ 臨床歯科医学 211～
		歯科予防処置論 221～ 歯科保健指導論 231～
		歯科診療補助論 241～ 口腔介護論 251～
		臨床・臨地実習 261～ 総括 271～
301～400	選択必修分野	301～

別表4-2〔通し番号〕専攻科口腔保健衛生学専攻

番号	科目分野
001～100	専攻外科目
101～200	関連科目
201～300	専門科目

歯科衛生学科

Department of Dental Hygiene

■学習・教育目標

近年、医療・保健・福祉を取り巻く環境の変貌は著しく、それらの高度化・専門化が進行している。これに伴い、歯科医療チームの一員としての歯科衛生士の役割はますます重要視されるとともに、一般の歯科衛生士に対して指導的役割を果たすことのできる優秀な人材の育成と高齢社会に対応した歯科衛生士が強く求められている。また本学は、キャンパス内に福岡歯科大学および同大学医科歯科総合病院、介護老人保健施設、介護老人福祉施設を擁する福岡学園のグループ校であり、医療・保健・福祉教育に絶好の環境にある。これらの施設での臨床・臨地実習を通じて、医療人としての自覚と倫理観を持ち、地域歯科保健のリーダーとなり、また「口腔介護」を実践できる歯科衛生士の養成を目標とする。

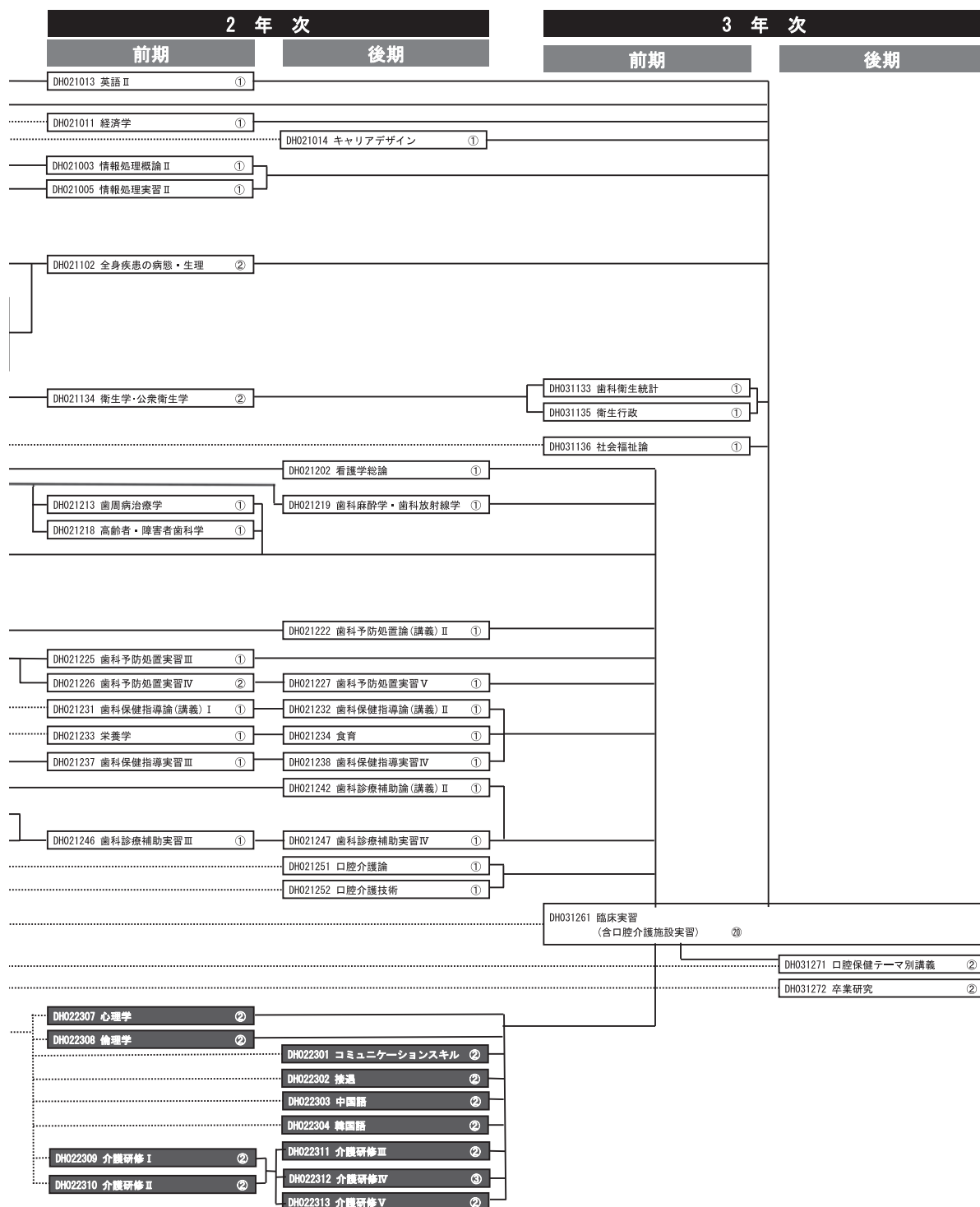
科目領域の学習・教育目標		1 年 次	
歯 科 衛 生 学 科		前期	後期
		DH011012 英語 I ②	DH011016 健康生理学 II ①
基礎分野 生命科学および情報処理の理解を深め、豊かな感性や教養を持った歯科衛生士を目指す。また、国際交流にも視点をおいた対人コミュニケーションを身につける。「選択必修：物理学/化学」	人間と社会生活の理解	DH011015 健康生理学 I ①	
	科学的思考の基盤	DH011001 生物学 ① DH012305 物理学 ① DH012306 化学 ①	DH011002 情報処理概論 I ① DH011004 情報処理実習 I ①
	人体の構造と機能	DH011101 解剖学 ②	
専門基礎分野 高度化・専門化する口腔医学に対応するために、歯科衛生士として必要な基礎医学を系統立てて理解する。また、疾病の予防と回復過程の知識を身につけ、口腔のセルフケア能力を高めるための教育的役割や、地域における関係諸機関等との調整能力を養う。	歯・口腔の構造と機能	DH011111 口腔組織学 ② DH011113 口腔生理学 ② DH011122 口腔微生物学 ②	DH011112 口腔解剖学 ① DH011114 口腔生化学 ② DH011121 口腔病理学 ② DH011123 歯科薬理学 ②
	疾病の成り立ちと回復の促進	DH011131 口腔衛生学 I ②	DH011132 口腔衛生学 II ②
	歯・口腔の健康と予防に関する人間と社会の仕組み		
専門分野 生涯を通じた継続的な口腔保健管理を理解し、疾患やライフステージ別の予防法や予防システムの構築を学ぶとともに、多様な生活環境や全身状態にある個人および集団に対して、専門的立場から歯科保健指導ができる能力を身につける。また、歯科医療チームの一員として歯科医師の診療の補助ができる歯科衛生士を目指す。臨床・臨地実習は福岡歯科大学医科歯科総合病院での臨床実習を通して、医療人としての自覚と倫理観を備え、多職種と連携して専門性を発揮できる歯科衛生士を目指す。また、科学的知識に裏付けられた口腔介護の技術と専門職としての態度を学び、キャンパス内の介護保険施設での臨地実習を通して、高齢者や障がい者の「口腔介護」を実践できる歯科衛生士を目標とする。	歯科衛生士概論	DH011201 歯科衛生士概論 ①	
	臨床歯科医学	DH011211 歯科臨床概論 ①	DH011212 歯科保存修復・歯内治療学 ① DH011214 歯科補綴学 ① DH011215 口腔外科学 ① DH011216 小児歯科学 ① DH011217 矯正歯科学 ①
	歯科予防処置論	DH011221 歯科予防処置論(講義) I ① DH011223 歯科予防処置実習 I ①	DH011224 歯科予防処置実習 II ①
選択必修分野 すべてのライフステージにおける口腔保健のサポートに必要な豊かな人間性と職業倫理観を身につける。また、国際交流にも視点をおいた幅広いコミュニケーション能力を身に付け、研究者として国際的にも活躍できる歯科衛生士を目指す。口腔介護の実践で必要となる生活介護を、根拠に基づいた技術により修得し、超高齢社会に対応した多様な情報・知識を身につける。	歯科保健指導論	DH011235 歯科保健指導実習 I ① DH011241 歯科診療補助論(講義) I ① DH011243 歯科材料科学 ① DH011244 歯科診療補助実習 I ①	DH011236 歯科保健指導実習 II ① DH011245 歯科診療補助実習 II ①
	歯科診療補助論		
	口腔介護論		
	臨床・臨地実習		
	総括		

必修科目

選択科目

○の中の数字は単位数

■キーワード
 歯科予防処置
 歯科診療補助
 歯科保健指導
 口腔介護



2 年 次

基礎分野科目

情 報 処 理 概 論 II	〔DH021003〕	65
情 報 処 理 実 習 II	〔DH021005〕	67
経 済 学	〔DH021011〕	70
英 語 II	〔DH021013〕	72
キ ャ リ ア デ ザ イ ン	〔DH021014〕	74

専門基礎分野科目

全 身 疾 患 の 病 態 ・ 生 理	〔DH021102〕	77
衛 生 学 ・ 公 衆 衛 生 学	〔DH021134〕	81

専門分野科目

看 護 学 総 論	〔DH021202〕	84
歯 周 病 治 療 学	〔DH021213〕	87
高 齢 者 ・ 障 害 者 歯 科 学	〔DH021218〕	90
歯 科 麻 酔 学 ・ 歯 科 放 射 線 学	〔DH021219〕	93
歯 科 予 防 処 置 論 (講 義) II	〔DH021222〕	96
歯 科 予 防 処 置 実 習 III	〔DH021225〕	98
歯 科 予 防 処 置 実 習 IV	〔DH021226〕	101
歯 科 予 防 処 置 実 習 V	〔DH021227〕	104
歯 科 保 健 指 導 論 (講 義) I	〔DH021231〕	106
歯 科 保 健 指 導 論 (講 義) II	〔DH021232〕	109
栄 養 学	〔DH021233〕	111
食 育	〔DH021234〕	114
歯 科 保 健 指 導 実 習 III	〔DH021237〕	116
歯 科 保 健 指 導 実 習 IV	〔DH021238〕	118
歯 科 診 療 補 助 論 (講 義) II	〔DH021242〕	120
歯 科 診 療 補 助 実 習 III	〔DH021246〕	123
歯 科 診 療 補 助 実 習 IV	〔DH021247〕	125
口 腔 介 護 論	〔DH021251〕	128
口 腔 介 護 技 術 (演 習)	〔DH021252〕	131

選択必修分野科目

コミュニケーションスキル	〔DH022301〕		134
接 遇	〔DH022302〕		136
中 国 語	〔DH022303〕		138
韓 国 語	〔DH022304〕		140
心 理 学	〔DH022307〕		142
倫 理 学	〔DH022308〕		144
介 護 研 修 I	〔DH022309〕		146
介 護 研 修 II	〔DH022310〕		148
介 護 研 修 III	〔DH022311〕		150
介 護 研 修 IV	〔DH022312〕		152
介 護 研 修 V	〔DH022313〕		154

情報処理概論Ⅱ

開講時期： 2 年次前期
 授業時間数： 9 コマ；18 時間 1 単位
 受験資格要件： 2/3（6 コマ）以上の出席
 科目番号： DH021003
 評価責任者： 堀部晴美
 授業担当者： 井上勇介、川口稔、神林照光

1. 一般目標

本講義において、学生は多様な情報や知識を論理的に分析、考察する能力を獲得するために、ネットワークおよびインターネットの基礎知識、インターネットを利用した情報の収集、開示などに関する情報リテラシーを身につけるとともに、研究成果等を整理して発表できるようになるためのマルチメディアを利用したプレゼンテーションの基本的知識、技能、態度について理解する。

2. 教育方法

スライドによる講義および内容に応じて双方向学修の授業形式。

3. 教育教材

PC、プロジェクター、pdfファイル

4. 学修方法

授業中はスライドの内容を理解し要点をノートに取ること。授業後は、pdfファイル、ノート等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。また、本授業を理解するうえで、情報処理概論Ⅰの知識が必要であり、臨床実習に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：9 時間】

5. 評価方法

〔形成的評価〕 確認テスト

〔フィードバック〕 確認テストは模範解答を示し、自己採点により弱点を把握できるようにする。

〔総括的評価〕 記述試験：（80%）、授業参加状況：（20%）

〔フィードバック〕 試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。尚、詳細は講義の初日に説明する。

6. 教科書

pdfファイル

7. 参考書

なし

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復 習項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	4/9 (金) 1限	井上勇介 川口稔	オリエンテーション ユニット1 ネットワーク の基礎 [講義]	1) コンピュータネットワークの基礎を理解する。	1) コンピュータネットワークの特徴について説明できる。 2) コンピュータネットワークと情報化社会について説明できる。	復習 コンピ ュータ ネット ワーク の特徴 1時間	認知 (解釈)
2	4/16 (金) 1限	井上勇介 川口稔	ユニット2 インターネッ トの基礎 1 [講義]	1) インターネットの構造について理解する。	1) インターネットの基礎技術（プロトコル、IPアドレス、DNS等）について説明できる。	復習 インター ネットの 構造 1時間	認知 (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復 習項目と 必要時間	教育 目標 領域
3	4/23 (金) 1限	井上勇介 川口稔	ユニット2 インターネットの基礎2 [講義]	1) e-mailの仕組み、 WWWの仕組みに ついて理解する。	1) 受信サーバー、送信サーバー、e- mailアドレス、e-mailおよびインター ネットの匿名性とマナーについて説明 できる。 2) WWWの仕組み、WWWの意義、 HTTPプロトコルとHTMLの関係につ いて説明できる。	復習 インター ネットの 基礎 1時間	認知 (解釈)
4	4/30 (金) 1限	井上勇介 川口稔	ユニット3 インターネットサービス1 [講義], [双方 向]	1) 検索エンジンにつ いて理解する。	1) yahoo!、Googleの検索エンジンとそ の利用について説明できる。 2) ロボット型検索エンジン、ディレクト リ型検索エンジン、メタ検索エンジン について説明できる。	復習 検索エン ジン 1時間	認知 (解釈)
5	5/7 (金) 1限	井上勇介 川口稔	ユニット3 インターネットサービス2 [講義], [双方 向]	1) インターネット上 のデータベースに ついて理解する。	1) ネットワークを利用した各種のデー タベース、Pub Med、特許情報、医学中 央雑誌、ウィキペディアについて説明 できる。	復習 データベ ース 1時間	認知 (解釈)
6	5/14 (金) 1限	井上勇介 川口稔	ユニット3 情報セキュリティ [講義], [双方 向]	1) SNSの功罪につ いて理解する。	1) SNSでできること及びその魅力につ いて説明できる。 2) SNSの危険性と法律上、倫理上の問題 点について説明できる。	復習 情報セキ ュリティ 1時間	情意 (受入)
7	5/21 (金) 1限	井上勇介 川口稔	ユニット4 マルチメディア [講義], [双方 向]	1) 画像、動画、音声 のフォーマットと 圧縮技術について 理解する。	1) 画像の単位(ピクセル、dpi)、JPEG、 GIF、BMP、PICT、MPEG1、2、4、MP3 について説明できる。	復習 マルチメ ディア 1時間	認知 (解釈)
8	5/28 (金) 1限	井上勇介 川口稔	ユニット4 プレゼンテー ションの基礎 [講義]	1) パワーポイントの 構造と機能につ いて理解する。	1) パワーポイントを用いたプレゼンテー ションの構成要素と連携するソフトお よびその利用法について説明できる。	復習 プレゼン テーショ ン 1時間	認知 (解釈)
9	6/4 (金) 1限	神林照光	ユニット3 データサイエ ンス [講義]	1) 企業が実施してい るデータサイエン スについて理解す る。	1) 企業の情報収集力や活用方法につ いて説明できる。 2) データサイエンスの概要を把握する。	復習 データサ イエンス 時間	認知 (想起)

情報処理実習Ⅱ

開講時期： 2 年次前期
 授業時間数： 21 コマ；42 時間 1 単位
 受験資格要件： 4/5（17 コマ）以上の出席
 科目番号： DH021005
 評価責任者： 堀部晴美
 授業担当者： 井上勇介、川口稔

1. 一般目標

本実習において、学生は多様な情報や知識を論理的に分析、考察する能力、即ち情報リテラシーを獲得するために、表計算ソフトによる科学的思考力に基づいたデータ分析、統計処理、グラフ作成、インターネットからの情報の検索と取得、プレゼンテーションソフト、画像処理ソフトの実践的利用法について修得する。

2. 教育方法

パソコンを用いた双方向の実習および内容に応じて相互学習を行う。

3. 教育教材

PC, pdfファイル

4. 学修方法

授業には、USBメモリ等を必ず持参すること。デモ画面は必ず注意しておくこと。送付されたpdfファイルはUSBメモリに保存しておくこと。日頃パソコンにできるだけふれること。課題提出は、締め切り期日を守ること。

また、本授業を理解するうえで、情報処理実習Ⅰの知識が必要であり、臨床実習に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：21時間】

5. 評価方法

【形成的評価】タイピング練習

【フィードバック】タイピング練習は自己採点により弱点を把握できるようにする。

【総括的評価】課題レポート：（80%）、授業参加状況：（20%）

【フィードバック】評価は、実習終了後に行う。尚、詳細は講義の初日に説明する。

6. 教科書

pdfファイル

7. 参考書

なし

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復 習項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	4/9 (金) 2限	井上勇介 川口 稔	オリエンテーシ ョン ユニット1 EXCELの応用1 [実習]	1) ピボットテーブル について理解す る。	1) ピボットテーブルでできることを理解 する。	復習 ピボット テーブル 1 時間	認知 (解釈)
2	4/16 (金) 2限	井上勇介 川口 稔	ユニット1 EXCELの応用 2 [実習]	1) ピボットテーブル について理解す る。	1) ピボットテーブルを利用してデータの 集計ができる。	復習 ピボット テーブル 1 時間	認知 (想起)
3	4/23 (金) 2限	井上勇介 川口 稔	ユニット1 EXCELの応用 3 [実習]	1) グラフの作成法に ついて理解する。	1) 数値データからのグラフの作成法が 説明できる。	復習 グラフ 1 時間	認知 (想起)
4	4/30 (金) 2限	井上勇介 川口 稔	ユニット1 EXCELの応用 4 [実習]	1) グラフの種類と作 成について理解す る。	1) 単純棒グラフ、集合棒グラフ、折れ線 グラフ、散布図を作成できる。	復習 グラフ 1 時間	認知 (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復 習項目と 必要時間	教育 目標 領域
5	5/7 (金) 2限	井上勇介 川口 稔	ユニット1. EXCELの応用 5 [実習]	1) グラフの種類と作成について理解する。	1) 各種円グラフ、レーダーチャート、複合グラフを作成できる。	復習 グラフ 1 時間	認知 (想起)
6	5/14 (金) 2限	井上勇介 川口 稔	ユニット1 EXCELの応用 6 [実習]	1) グラフの種類と作成について理解する。	1) グラフ作成要素、グラフ書式、レイアウトを追加変更できる。	復習 グラフ 1 時間	認知 (想起)
7	5/21 (金) 2限	井上勇介 川口 稔	ユニット1. EXCELの応用 7 [実習]	1) EXCELを用いて記述統計量を理解する。	1) 分散、偏差についてExcelを用いて計算し、値の意味を説明できる。	復習 統計 1 時間	認知 (想起)
8	5/28 (金) 2限	井上勇介 川口 稔	ユニット1 EXCELの応用 8 [実習]	1) EXCELを用いて推計統計量を理解する。	1) Excelを用い、値を計算して平均値の差の検定について理解する。	復習 統計 1 時間	認知 (解釈)
9	6/4 (金) 2限	井上勇介 川口 稔 神林	ユニット1 EXCELの応用 9 [実習]	1) EXCELを用いて推計統計量を理解する。	1) 「データ分析」をアドインでデータメニューに追加することができる。 2) t-検定を用いて平均値の差の検定ができる。	復習 統計 1 時間	認知 (問題 解決)
10	6/11 (金) 1限	井上勇介 川口 稔	ユニット1 EXCELの応用10 [実習]	1) EXCELを用いて推計統計量を理解する。	1) 分散分析を用いて3群以上の平均値の比較ができる。	復習 統計 1 時間	認知 (問題 解決)
11	6/11 (金) 2限	井上勇介 川口 稔	ユニット1 EXCELの応用11 [実習]	1) EXCELを用いて推計統計量を理解する。	1) 相関係数,回帰分析を用いて2群の関係について説明できる。	復習 統計 1 時間	認知 (想起)
12	6/18 (金) 1限	井上勇介 川口 稔	ユニット2 インターネット の基礎1 [実習], [双方向]	1) 検索エンジンの使い方を理解する。	1) Yahoo!, Googleの使い方を説明できる。 2) 検索オプション (AND検索, OR検索, NOT検索) を利用できる。	復習 検索エンジン 1 時間	認知 (想起)
13	6/18 (金) 2限	井上勇介 川口 稔	ユニット2 インターネット の基礎2 [実習]	1) インターネット上のデータの取得法を理解する。	1) Yahoo!, Googleの画像検索を用いて画像等を検索し, PCにダウンロードできる。	復習 ネット上のデータ 取得 1 時間	認知 (想起)
14	6/25 (金) 1限	井上勇介 川口 稔	ユニット3 インターネット の利用 [実習], [相互学 修], [双方向]	1) フリーソフトについて理解する。	1) 窓の杜から必要なフリーソフトをダウンロードすることができる。 2) Snipping toolを使って画像のキャプチャーができる。	復習 フリーソフト 1 時間	認知 (想起)
15	6/25 (金) 2限	井上勇介 川口 稔	ユニット4 画像処理1 [実習], [相互学 修], [双方向]	1) 画像加工の基礎について理解する。	1) 窓の杜からレタッチソフトをダウンロードし, PCにインストールすることができる。 2) レタッチソフトを用いて簡単な画像加工ができる。	復習 画像処理 1 時間	情意 (受入)
16	7/2 (金) 1限	井上勇介 川口 稔	ユニット4 画像処理2 [実習], [相互学 修], [双方向]	1) 画像加工の応用について理解する。	1) 各種のレタッチソフトを利用して, 機能の違いを説明できる。 2) 窓の杜から画像管理ソフトをダウンロードし, PCにインストールすることができる。 3) 画像管理ソフトを使用することができる。	復習 画像処理 1 時間	情意 (受入)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復 習項目と 必要時間	教育 目標 領域
17	7/2 (金) 2限	井上勇介 川口 稔	ユニット5 プレゼンテーシ ョンの基礎1 [実習]	1) Power Pointの構 造を理解する。	1) 初期画面について説明できる。 2) メニューバーについて説明できる。	復習 プレゼン テーショ ン 1 時間	認知 (想起)
18	7/9 (金) 1限	井上勇介 川口 稔	ユニット5 プレゼンテーシ ョンの基礎2 [実習]	1) ファイルの作成過 程について理解で きる。	1) スライド作成と追加ができる。 2) レイアウトの選択ができる。 3) デザインの選択ができる。	復習 プレゼン テーショ ン 1 時間	認知 (問題 解決)
19	7/9 (金) 2限	井上勇介 川口 稔	ユニット5 プレゼンテーシ ョンの基礎3 [実習]	1) 目的別プレゼンテ ーションについて 理解する。	1) マスター表示からスライドの様式の統 一,配付資料の作成ができる。 2) プレゼンテーションの表示から,ノート の作成ができる。	復習 プレゼン テーショ ン 1 時間	認知 (想起)
20	7/16 (金) 1限	井上勇介 川口 稔	ユニット5 プレゼンテーシ ョンの基礎4 [実習]	1) 画像,表,グラフの 挿入について理解 できる。	1) 図形の作成,表の作成,グラフの作成が できる。 2) 作成したオブジェクトを的確にスライ ドに挿入できる。 3) スライドショーでスライド表示を確認 できる。 4) アニメーション,画面の切り替えなどが 的確にできる。	復習 プレゼン テーショ ン 1 時間	認知 (想起)
21	7/16 (金) 2限	井上勇介 川口 稔	ユニット5 プレゼンテーシ ョンソフトの利 用 [実習] ,[相互学 修]	1) インターネットか らの情報の取得を 理解する。	1) 与えられたテーマについて,インター ネットからの情報を組み合わせてファ イルを作成できる。 2) プレゼンテーションの表示を用いて,プ レゼンテーションの内容を評価でき る。	復習 プレゼン テーショ ン 1 時間	情意 (受入)

経 済 学

開講時期： 2 年次前期
 授業時間数： 15 コマ；30 時間 1 単位
 受験資格要件： 2/3（10 コマ）以上の出席
 科目番号： DH021011
 評価責任者： 堀部 晴美
 担当教員： 諸原 真樹

1. 一般目標

本講義では、まず経済学がどのような学問なのかという所からはじめる。様々な具体例を検討しつつ、社会の在り方を経済学の視点から捉え、ミクロ経済学についての教養を身に着ける。ミクロ経済学を理解することで、現代社会の時事問題から多様な情報、問題関心を引き出し、論理的かつ良識ある分析・考察ができる。

2. 教育方法

講義，アクティブラーニング

3. 教育教材・機材

テキスト，P C + プロジェクターによるプレゼンテーション，必要に応じて板書。

4. 学修方法

事前にテキストを熟読し，問題意識をもって講義に臨むこと。講義 1 回あたり最低 60 分以上の事前・事後学習が望ましい。授業中はノートをとること。事後学習は，ノートとテキストを参考に，次の授業までに行うこと。レポート課題の締め切りは守ること。

〔単位修得に必要な授業外学修時間：計 15 時間〕

5. 評価方法

〔形成的評価〕ミニテスト・レポート

〔フィードバック〕不十分な部分についてコメントを付して返却し，場合によっては再提出を求める。

〔総括的評価〕記述試験（50%）・確認テスト（10%）・レポート（20%）・授業参加状況（20%）

〔フィードバック〕解答例を示し，答案を返却する。

6. 教科書

ティモシー・テイラー(著),池上彰(著),高橋璃子(翻訳)『スタンフォード大学で一番人気の経済学入門 ミクロ編』かんき出版,2013 年。

7. 参考書

ティモシー・テイラー(著),池上彰(著),高橋璃子(翻訳)『スタンフォード大学で一番人気の経済学入門 マクロ編』かんき出版,2013 年。

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	4/13 (火) 2 限	諸原	イントロダクション ユニット 1 経済学の考え方 経済学とは何か 〔講義〕	1) 経済学の身につけ方 2) だまされないために 経済学を学ぶ 3) マクロ経済とミクロ 経済について	1) 経済学的重要性について理解できる。 2) マクロ経済とミクロ経済の違いが 説明できる。	経済学全般について調べる。 (事前 0.5 時間, 事後 0.5 時間)	認知 (想起)
2	4/20 (火) 2 限	諸原	ユニット 1 分業 需要と供給 〔講義〕	1) 分業の意味について知る 2) 需要と供給について知る	1) 分業について説明できる。 2) 需要と供給について説明できる。 3) 均衡点について説明できる。	分業について調べる。 (事前 0.5 時間, 事後 0.5 時間)	認知 (解釈)
3	4/27 (火) 2 限	諸原	ユニット 2 価格統制 〔講義〕	1) 価格統制の理解	1) 価格統制について家賃を例に説明することができる。 2) 家賃以外の例で価格統制について論じることができる。	価格統制について調べる。 (事前 0.5 時間, 事後 0.5 時間)	認知 (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
4	5/11 (火) 2 限	諸原	ユニット 2 価格弾力性 [講義]	1) 価格弾力性について理解する	1) 価格弾力性についてタバコ、ガソリン、コーヒーを例に説明することができる。 2) 価格弾力性についてテキスト以外の例で論じることができる。	価格弾力性について調べる。(事前 0.5 時間, 事後 0.5 時間)	認知 (解釈)
5	5/18 (火) 2 限	諸原	ユニット 2 労働市場 [講義]	1) 労働市場について理解する 2) 給与決定の仕組みを理解する	1) 労働市場について説明することができる。 2) 現代の労働市場について論じることができる。 3) 給与決定の仕組みについて説明ができる。	労働市場について調べる。(事前 0.5 時間, 事後 0.5 時間)	認知 (解釈)
6	5/25 (火) 2 限	諸原	ユニット 2 資本市場 [講義]	1) 利子率の理解 2) 企業の資金調達を理解	1) 利子率について説明できる。 2) 企業の資金調達について説明できる。	資本市場について調べる。(事前 0.5 時間, 事後 0.5 時間)	認知 (解釈)
7	6/1 (火) 2 限	諸原	ユニット 2 個人投資 [講義]	1) リスクの理解 2) 流動性の理解 3) 税金の理解	1) 個人投資について、リスクや流動性や税金などを理解したうえで、普通預金、MMF、定期預金、社債、株式、不動産、貴金属など適切な投資先について判断できる。	普通預金、定期預金、社債、株式、不動産、貴金属などの投資について調べる。(事前 0.5 時間, 事後 0.5 時間)	認知 (問題解決)
8	6/8 (火) 2 限	諸原	ユニット 3 完全競争と独占 [講義]	1) 完全競争、独占、独占的競争、寡占についての理解。	1) 完全市場、独占、独占的競争、寡占について具体的な業種・企業名を挙げて説明できる。	独占について調べる。(事前 0.5 時間, 事後 0.5 時間)	認知 (解釈)
9	6/15 (火) 2 限	諸原	ユニット 4 独占禁止法 [講義]	1) 独占禁止法についての理解。	1) 再販価格維持、排他的取引、抱き合わせ販売、略奪的価格設定について説明できる。 2) 独占禁止法の必要性について説明できる。	独占禁止法について調べる(事前 0.5 時間, 事後 0.5 時間)	認知 (問題解決) 情意 (受入)
10	6/22 (火) 2 限	諸原	ユニット 4 規制と規制緩和 [講義]	1) 総括原価方式についての理解。 2) 規制より技術競争の促進が有効な状況とは。	1) 総括原価方式について説明できる。 2) インターネットの発展は何に支えられたか規制緩和の側面から説明できる。	規制と規制緩和について調べる。(事前 0.5 時間, 事後 0.5 時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)
11	6/29 (火) 2 限	諸原	ユニット 4 負の外部性 [講義]	1) 規制の限界、市場原理による解決の理解。	1) 現代の環境問題について経済学の知見を使って自分の意見を述べるることができる。	負の外部性について調べる(事前 0.5 時間, 事後 0.5 時間)	認知 (問題解決) 情意 (受入)
12	7/6 (火) 2 限	諸原	ユニット 4 正の外部性 [講義]	1) 知的財産権とは。 2) 知的財産権と外部性の関係。	1) 特許権、著作権、商標権、企業秘密について説明できる。	知的財産権について調べる(事前 0.5 時間, 事後 0.5 時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)
13	7/13 (火) 2 限	諸原	ユニット 5 公共財 [講義]	1) 公共財と市場との関係	1) 公衆衛生対策、道路、科学研究、教育はなぜ市場に任せることができないのか説明ができる。	公共財について調べる。(事前 0.5 時間, 事後 0.5 時間)	認知 (問題解決) 情意 (受入)
14	7/20 (火) 2 限	諸原	ユニット 5 貧困と福祉 格差問題 [講義]	1) 現代の貧困問題について知る。 2) 金銭的援助と意欲の問題について知る。	1) 生きるスキルの重要性を理解できる。 2) 社会保障の必要性について説明できる。	貧困と福祉について調べる(事前 0.5 時間, 事後 0.5 時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)
15	8/3 (火) 2 限	諸原	ユニット 5 情報の非対称性 企業と政府のガバナンス 講義のまとめ [講義]	1) 情報の非対称性と保険市場。 2) 医療費の抑制について。	1) 情報の非対称性を説明できる。 2) 医療費の抑制の問題について自分の見識と経済学の知識で論評できる。	情報の非対称性について調べる。(事前 0.5 時間, 事後 0.5 時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)

英語Ⅱ (English Conversation)

開講時期： 2 年次前期
 授業時間数： 15 コマ ; 30 時間 1 単位
 受験資格要件： 2 / 3 (10 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH021013
 評価責任者： 堀部晴美
 授業担当者： Julian Foster
 oliver AnthonyJohn

(General Aim)

As a dental hygienist, Learners will obtain an interpersonal communication both skills and attitude, and improve their English competence for cultural enrichment.

(Method of Instruction)

Lecture・Group work.

(Education Material・Device)

Textbook、Handouts、DVD、PC+Projector.

(Method of Learning) Learners have to bring a textbook shown below in the class. Every time they should study the contents that they are going to study before the class. Also they are expected to review the contents they learned on the same day.

【Necessary Studying Hours to Earn Enough Credits for Graduation : 15hours】

(Evaluation)

Written Examination (80%)

Class Participation (approx.20%)

The results of the exams are announced after the exams on the Bulletin Board.

Detailed information will be explained on the first class.

(Textbook)

“My First PASSPORT second edition 2 English for International Communication”, Angela Buckingham & Lewis Lansford, Oxford University Press , Handouts

(参考書)

English Japanese Dictionary & Japanese English Dictionary (electronic dictionary is also available)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育目標領域
1	4/13 (火) 1限	Julian oliver	Orientation Unit 1 May I open your suitcase? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 1. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 1 1hours	Cognitive(Int erpretation) ・ Affective(Res ponding)
2	4/20 (火) 1限	Julian oliver	Unit 2 How was your flight? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 2. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 2. 1hours	Cognitive(Int erpretation) ・ Affective(Res ponding)
3	4/27 (火) 1限	Julian oliver	Unit 3 What should we do tomorrow? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 3. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 3 1hours	Cognitive(Int erpretation) ・ Affective(Res ponding)
4	5/11 (火) 1限	Julian oliver	Unit 4 We're going to visit Chinatown. Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 4. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 4 1hours	Cognitive(Int erpretation) ・ Affective(Res ponding)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育目標領域
5	5/18 (火) 1限	Julian oliver	Unit 5 what do you do in your free time? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 5. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 5 1hours	Cognitive(Int erpretation) ・ Affective(Res ponding)
6	5/25 (火) 1限	Julian oliver	Unit 6 This one is cheaper Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 6. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 6 1hours	Cognitive(Int erpretation) ・ Affective(Res ponding)
7	6/1 (火) 1限	Julian oliver	Unit 7 Don't forget your money! Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 7. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 7 1hours	Cognitive(Int erpretation) ・ Affective(Res ponding)
8	6/8 (火) 1限	Julian oliver	Unit 8 Do you want to go to a concert? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 8. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in unit 8 1hours	Cognitive(Int erpretation) ・ Affective(Res ponding)
9	6/15 (火) 1限	Julian oliver	Unit 9 I have to study Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 9. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 9 1hours	Cognitive(Int erpretation) ・ Affective(Res ponding)
10	6/22 (火) 1限	Julian oliver	Unit 10 Did you go on the roller coaster? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 10. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 10. 1hours	Cognitive(Int erpretation) ・ Affective(Res ponding)
11	6/29 (火) 1限	Julian oliver	Unit 11 I need some help Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 11. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 11 1hours	Cognitive(Int erpretation) ・ Affective(Res ponding)
12	7/6 (火) 1限	Julian oliver	Unit 12 Have you been to Kyoto? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 12. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 12 1hours	Cognitive(Int erpretation) ・ Affective(Res ponding)
13	7/13 (火) 1限	Julian oliver	Unit 13 Can you describe it? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 13. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 13 1hours	Cognitive(Int erpretation) ・ Affective(Res ponding)
14	7/20 (火) 1限	Julian oliver	Unit 14 I'd like the nachos, please Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 14. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 14 1hours	Cognitive(Int erpretation) ・ Affective(Res ponding)
15	8/3 (火) 1限	Julian oliver	Unit 15 If I pass my exams, I'll go to college Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 15. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 15 1hours	Cognitive(Int erpretation) ・ Affective(Res ponding)

キャリアデザイン

開講時期： 2 年次後期
授業時間数： 10 コマ；20 時間 1 単位
受験資格要件： 2/3（7 コマ）以上の出席
科目番号： DH021014
評価責任者： 後藤加寿子
授業担当者： カ丸哲也 泉喜和子 後藤加寿子
貴島聡子 黒木まどか 石井綾子
南レイラ 川尻望 森沙耶香
升井一朗

1. 一般目標

キャリアとは単なる職歴・経歴だけではなく、仕事への憧れやこだわり、その仕事を通じて実現できる生活水準などを含んだ、生涯にわたるライフスタイルのプロセス（過程）を指す。したがって、キャリアデザインとは、どのようなプロセスを描き、何を実現したいかを明確にすることである。この授業では、多様化し拡大している歯科衛生士の業務や専門性を今一度考察し、自分は「どのような仕事をするのか」「どのような経験を積んでいくのか」を考え、自身の将来像を描くこと（デザインすること）や人生のプランニングの基礎を修得することを目標とする。また、3 年次から始まる臨地実習では、チーム医療の一員としての行動やコミュニケーションが必要であり、医療安全の視点を通してこれを学修する。

2. 教育方法

講義 歯科医療機関（歯科大学医科歯科総合病院、歯科医院）や介護保険施設において、
歯科医師あるいは歯科衛生士として診療に携わった実務経験を活かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

プリント、PC、プロジェクター

4. 学修方法

授業には配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を精読し、求められている課題についてノートにまとめること。授業中はノートを取る。授業後は、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。理解できなかった項目については教員に質問し、説明を受けて確実に理解すること。レポート課題は締切日を守ること。授業は定刻に始まるので遅刻は欠席になる。本授業を理解するうえで、保存修復学、歯科補綴学、口腔外科学、小児歯科学、障がい者歯科学の理解が必要である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：10 時間】

5. 評価方法

〔形式的評価〕 レポート評価

〔フィードバック〕 不十分な部分についてコメントを行う。場合によっては再提出を求める。

〔総合的評価〕 レポート（80%）、授業態度（20%）

6. 教科書

特になし

7. 参考書

1. 「みがこう！コミュニケーション・センス 歯科医院での医療安全のために」 中島丘 他
医歯薬出版 2017
2. 新・歯科衛生士教育マニュアル『歯科臨床の基礎と概論』クインテッセンス出版 2015

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育 目標 領域
1	10/4 (月) 2限	升井	ユニット 1 キャリアデザイン 総論 ユニット 2 チーム医療における コミュニケーション 講義・スライド	1) この授業のねらい並びに「キャリアデザイン」の意味を理解する。 2) チーム医療におけるコミュニケーション・センス 3) チームワークの行動的側面の分類 4) 仕事のやりがいを感じさせるチームワークとはなにか？	1) キャリアデザインの定義を説明することができる。 2) チーム医療と医療安全の関係を説明できる。 3) 「報・連・相」を説明できる。	インターネット等で、「キャリアデザイン」の意味を事前に調べる。 こと。 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起) 情意 (受入)
2	10/11 (月) 2限	泉	ユニット 2 チーム医療における コミュニケーション ユニット 3 歯科衛生士の専門性を考える 講義・スライド	1) 患者の急変時に求められるコミュニケーション 2) 口腔外科における歯科衛生士の役割	1) 急変時のチーム医療（チームワーク）におけるコミュニケーションの重要性について概説できる。 2) 口腔外科における歯科衛生士業務を列挙できる。	「口腔外科における歯科衛生士の役割」について調べる 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起) 情意 (受入)
3	10/25 (月) 2限	黒木	ユニット 3 歯科衛生士の専門性の理解 ユニット 4 ヒヤリ・ハット予防のためのコミュニケーション 講義・スライド	1) 開業歯科医院、介護施設における歯科衛生士とキャリアモデルを考える。 2) ヒヤリ・ハットとはなにか、その予防のためのコミュニケーションを理解する。	1) 開業歯科医院および介護施設における歯科衛生士業務の特徴や違いをおおまかに説明できる。 2) ヒヤリ・ハットとコミュニケーションの関係について説明できる。	「ヒヤリ・ハット」について調べてくる 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起) 情意 (受入)
4	11/1 (月) 2限	力丸	ユニット 3 歯科衛生士の専門性の理解 ユニット 5 コミュニケーションエラーを起こさないために 講義・スライド	1) 保存科・歯周病科における歯科衛生士業務と患者との関わり方（コミュニケーション）を理解する。 2) コミュニケーションエラーとインフォームド・アセント	1) 保存科・歯周病科における歯科衛生士業務の概要を説明できる。 2) インフォームド・コンセント、インフォームド・アセントを説明できる。	「インフォームド・コンセント」、「インフォームド・アセント」について調べてくる 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起) 情意 (受入)
5	11/8 (月) 2限	後藤	ユニット 3 歯科衛生士の専門性の理解 ユニット 6 キャリア教育に必要なチームワーク 講義・スライド	1) 補綴科・インプラント科における歯科衛生士業務と患者との関わり方を理解する。 2) キャリア教育とはなにか。 3) 高齢化と多職種連携と患者のニーズを理解する。	1) 補綴科・インプラント科における歯科衛生士業務の概要を説明できる。 2) キャリア教育について説明できる。 3) チームワーク能力の向上に必要なことを説明できる。	「キャリア教育」について調べてくる 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起) 情意 (受入)
6	11/15 (月) 2限	貴島	ユニット 3 歯科衛生士の専門性の理解 ユニット 7 チーム医療におけるノンテクニカルスキル 講義・スライド	1) 審美歯科における歯科衛生士とキャリアモデルを理解する。 2) 仕事に欠かせないノンテクニカルスキル	1) 審美歯科における歯科衛生士業務の概要を説明できる。 2) ノンテクニカルスキルを概説できる。	「ノンテクニカルスキル」について調べてくる 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起) 情意 (受入)
7	11/22 (月) 2限	石井	ユニット 3 歯科衛生士の専門性の理解 ユニット 8 患者との信頼関係の形成 講義・スライド	1) 小児歯科における歯科衛生士とキャリアモデルを理解する。 2) 小児歯科におけるインフォームド・アセントを理解する。 3) 歯科保健指導における信頼関係形成のためのコミュニケーション	1) 小児歯科における歯科衛生士とキャリアモデルを説明することができる。 2) 小児におけるインフォームド・アセントを説明できる。 3) 行動変容を起こさせるための歯科衛生士の行動を説明できる。	「インフォームド・アセント」について調べてくる 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起) 情意 (受入)
8	12/6 (月) 3限	森	ユニット 3 歯科衛生士の専門性の理解 ユニット 9 院内感染対策 講義・スライド	1) 開業歯科医院における歯科衛生士とキャリアモデルを理解する。 2) 医療安全とスタンダードプリコーション	1) 開業歯科医院における歯科衛生士業務の概要を説明できる。 2) スタンダードプリコーションを説明できる。	「スタンダードプリコーション」について調べてくる 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起) 情意 (受入)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育 目標 領域
9	12/13 (月) 3限	川尻	ユニット 3 歯科衛生士の専門 性の理解 講義・スライド	1) 障害者歯科における 歯科衛生士とキャリアモ デルを理解する。 2) カンファレンス時のコ ミュニケーション	1) 障害者歯科における歯科衛生士とキャ リアモデルを説明することができる。 2) クリティカルシンキング、PDCA サイク ルを説明できる。	「障害者歯科 における歯科 衛生士の役 割」について 調べる 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起) 情意 (受入)
10	12/20 (月) 2限	南	ユニット 10 歯科衛生士の専門 性の理解 講義・演習	1) 企業における歯科衛生 士とキャリアモデルを理 解する。 2) キャリアデザインのま とめ	1) 企業における歯科衛生士業務の概要を 説明できる。 2) 自分のキャリアデザインをレポートに 記述できる。	第9回までの 講義の振り返 りを行う。 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起) 情意 (受入)

全身疾患の病態・生理

開講時期： 2 年次前期
 授業時間数： 15 コマ；30 時間
 2 単位
 受験資格要件： 2/3（10 コマ）以上の出席
 科目番号： DH021102
 評価責任者： 堀部晴美
 授業担当者： 黒木政秀

1. 一般目標

口腔内には全身疾患の症状や服用中の薬の副作用がでたりすることがあり、また口腔内の疾患が全身疾患に影響することもある。一方、医療・介護の現場では、医師や看護師をはじめ理学療法士、作業療養士、歯科衛生士などによる多職種連携が重要である。本授業では、全身疾患と口腔との関連を理解し、歯科診療上の注意点と対応を修得するとともに、歯科衛生士は多職種協働の一翼を担うことも理解した上で、その共通言語となる全身疾患の知識を通して、医療人としての自覚・倫理観を身につける。

2. 教育方法

講義・討議

3. 教育教材

教科書、プリント、PC、プロジェクター

4. 学修方法

授業は定刻に始まるので、遅刻は欠席になる。授業は予習していることを前提に開始するので、授業開始までに予習しておく。また、授業担当者が話している内容で重要と思うことについてはできる限りメモする。さらに、理解できない点や疑問点があったら積極的に質問すること。また、本授業を理解する上で、生物学、解剖学、組織学、生理学、生化学、微生物学、病理学、薬理学等の基礎知識が必要であり、本授業は歯科保存修復・歯内治療学、口腔外科学、歯周病治療学、高齢者・障害者歯科学、歯科麻酔学の理解に不可欠である。

〔単位修得に必要な授業外学修時間：15 時間〕

5. 評価方法

〔形式的評価〕ミニテスト、討議

〔フィードバック〕不十分な部分に対して追加のコメントないし回答する。

〔総括的評価〕定期試験：記述試験（70%）・ミニテスト（10%）・討議（10%）・授業参加状況（10%）

〔フィードバック〕試験終了後に正解例を示すと同時に、結果（成績）を掲示する。

6. 教科書

1. 歯科衛生士のための全身疾患ハンドブック（橋本賢二・増本一真 編著）、医歯薬出版株式会社、2015

7. 参考書

1. 歯科衛生士国試対策集 2020 年対応（歯科衛生士国試対策研究会 編）、クインテッセンス出版株式会社、2019

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育 目標 領域
1	4/13 (火) 3 限	黒木	オリエンテーション 全身疾患総論 講義 ユニット1 代謝・内分泌疾患 講義	1) 歯科衛生士に全身疾患の知識が必要な理由を理解する。 2) 体の系と疾患の全体像を理解する。 3) 全身疾患の診療科について理解する。 4) 全身疾患の診断法と治療法の概要を理解する。 1) 糖尿病の概要について理解する。 2) 骨粗鬆症（こつそしょうしょう）の概要について理解する。 3) 甲状腺疾患の概要について理解する。 4) 痛風の概要について理解する。 5) 代謝・内分泌疾患と口腔との関連について理解する。	1) 歯科衛生士に全身疾患の知識が必要な理由について述べ討議できる。 2) 体の系10種類および疾患分類10種類について述べ討議できる。 3) 体の系と疾患分類と診療科の関係について述べ討議できる。 4) 全身疾患の診断法と治療法の種類について述べ討議できる。 1) 糖尿病の概要について述べ討議できる。 2) 骨粗鬆症の概要について述べ討議できる。 3) パセドウ病、橋本病、無痛性甲状腺炎、亜急性甲状腺炎の概要について述べ討議できる。 4) 痛風の概要について述べ討議できる。 5) 代謝・内分泌疾患での歯科領域における注意点と対応を述べ討議できる。	教科書 P4-7および P10-24を通読 予習 1 時間	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育 目標 領域
2	4/20 (火) 3限	黒木	ユニット 2 消化器疾患 講義	1) 消化器の管腔臓器の疾患の概要について理解する。 2) 消化器の実質臓器の疾患の概要について理解する。 3) 消化器疾患と口腔との関連について理解する。	1) 胃・食道逆流症(GERD)、胃炎、胃潰瘍・十二指腸潰瘍(消化性潰瘍)、胃癌、大腸がん、胆嚢炎および胆石症の概要について述べ討議できる。 2) 肝炎、肝硬変、肝臓がん、膵炎、膵臓がんの概要について述べ討議できる。 3) 消化器疾患での歯科領域における注意点と対応を述べ討議できる。	教科書 P26-41を通読 予習1時間	認知 (想起)
3	4/27 (火) 3限	黒木	ユニット 3 循環器疾患 (1) 講義	1) 心臓の虚血性疾患および炎症性疾患の概要について理解する。 2) 不整脈の概要と除細動について理解する。 3) 高血圧と低血圧の概要について理解する。	1) 狭心症、心筋梗塞、心不全、心臓弁膜症、感染性心内膜炎、急性心筋炎の概要について述べ討議できる。 2) 期外収縮、心房細動、心室細動の概要について述べ討議できる。 また、自動体外式除細動器(AED)について説明できる。 3) 高血圧と低血圧の概要について述べ討議できる。	教科書 P42-52を通読 予習1時間	認知 (想起)
4	5/11 (火) 3限	黒木	ユニット 4 循環器疾患 (2) 講義	4) その他の循環器疾患について理解する。 5) 循環器疾患の診断によく使う検査法を理解する。 6) 循環器疾患と口腔との関連について理解する。	4) 拡張型心筋症、大動脈瘤の概要、閉塞性動脈硬化症、感染性心内膜炎の概要について述べ討議できる。 5) 心電図(ECG)および心臓超音波検査(心エコー)について述べることができる。 6) 循環器疾患での歯科領域における注意点と対応を述べ討議できる。	教科書 P42-52を通読 予習1時間	認知 (想起)
5	5/18 (火) 3限	黒木	ユニット 5 血液疾患 講義	1) 赤血球に起こる疾患について理解する。 2) 白血球に起こる疾患について理解する。 3) 血小板と血液凝固因子に起こる疾患について理解する。 4) 血液疾患と口腔との関連について理解する。	1) 貧血(鉄欠乏性貧血、自己免疫性溶血性貧血、巨赤芽球性貧血、再生不良性貧血)の概要について述べ討議できる。 2) 白血病(骨髄性白血病、リンパ性白血病)、悪性リンパ腫のホジキンリンパ腫と非ホジキンリンパ腫(成人T細胞白血病など)、多発性骨髄腫の概要について述べ討議できる。 3) 特発性血小板減少性紫斑病や血友病の特徴および出血傾向の概要について述べ討議できる。 4) 血液疾患での歯科領域における注意点と対応を述べ討議できる。	教科書 P54-57を通読 予習1時間	認知 (想起)
6	5/25 (火) 3限	黒木	ユニット 6 呼吸器疾患 講義	1) 呼吸器の炎症・感染症の概要について理解する。 2) 呼吸器のアレルギー疾患の概要について理解する。 3) 呼吸器のがんの概要について理解する。 4) その他の肺疾患の概要について理解する。 5) 呼吸器疾患の病態把握によく使われる検査法を理解する。 6) 呼吸器疾患と口腔との関連について理解する。	1) 肺炎・誤嚥性肺炎、肺結核の概要治療について述べ討議できる。 2) 気管支喘息の概要について述べ討議できる。 3) 肺がんの種類と概要について述べ討議できる。 4) 慢性閉塞性肺疾患(COPD)、肺動脈血栓症、自然気胸、外傷性気胸、睡眠時無呼吸症候群、過換気症候群の概要について説明することができる。 5) 肺機能検査(スパイロメーター)および動脈血酸素飽和度(SpO ₂)測定について説明することができる。 6) 呼吸器疾患での歯科領域における注意点と対応を述べ討議できる。	教科書 P58-73を通読 予習1時間	認知 (想起)
7	6/1 (火) 3限	黒木	ユニット 7 腎・泌尿器疾患 講義	1) 腎疾患の概要について理解する。 2) 下部尿路機能障害である畜尿障害と排尿障害について理解する。 3) 前立腺疾患の概要について理解する。 4) 尿路感染症の概要について理解する。 5) 尿管結石症の概要について理解する。 6) 腎・泌尿器系のがんの概要について理解する。 7) 腎・泌尿器疾患と口腔との関連について理解する。	1) 慢性腎臓病(CKD)の概要について述べ討議できる。 2) 畜尿障害と排尿障害をきたす疾患の概要について述べ討議できる。 3) 慢性前立腺炎、前立腺肥大症の概要について述べ討議できる。 4) 腎盂腎炎、膀胱炎の概要について述べ討議できる。 5) 尿管結石や膀胱結石の概要について述べ討議できる。 6) 腎がんや膀胱がんの概要について述べ討議できる。 7) 腎・泌尿器疾患での歯科領域における注意点と対応を述べ討議できる。	教科書 P74-81を通読 予習1時間	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項 目と必要時間	教育 目標 領域
8	6/8 (火) 3限	黒木	ユニット 8 免疫疾患・膠原病 講義	1) アレルギー疾患の概要について理解する。 2) 膠原病(自己免疫疾患)の概要について理解する。 3) アレルギーの診断によく使われる検査法を理解する。 4) 免疫・膠原病と口腔との関連について理解する。	1) アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎(花粉症)、アレルギー性結膜炎、気管支喘息、アナフィラキシーショックの概要について述べ討議できる。 2) 全身性エリテマトーデス(SLE)、慢性関節リウマチ、シェーグレン症候群、ベーチェット病の概要について述べ討議できる。 3) アレルギーの原因物質を探るアレルギー検査:パッチテストを説明することができる。 4) 免疫・膠原病での歯科領域における注意点と対応を述べ討議できる。	教科書 P82-95を通読 予習1時間	認知 (想起)
9	6/15 (火) 3限	黒木	ユニット 9 感染症	1) 感染症全般について理解する。 2) ウイルス性感染症の概要について理解する。 3) 細菌性感染症の概要について理解する。 4) 真菌感染症の概要について理解する。 5) 感染症と口腔との関連について理解する。	1) 病原微生物、感染源、感染経路の概要について説明することができる。 2) インフルエンザ、ノロウイルス感染症、エイズ(AIDS)、エボラ出血熱の概要について述べ討議できる。 3) MRSA感染症の概要について述べ討議できる。 4) カンジダ症の特徴の概要について述べ討議できる。 5) 感染症での歯科領域における注意点と対応を述べ討議できる。	教科書 P96-104を通読 予習1時間	認知 (想起)
10	6/22 (火) 3限	黒木	ユニット 10 神経系疾患 (1) 講義	1) 脳血管障害の種類と概要について理解する。 2) 脳血管障害の診断によく使われる検査法を理解する。 3) てんかんの概要について理解する。 4) てんかんの診断によく使われる検査法を理解する。 5) 認知症の概要について理解する。	1) 一過性脳虚血発作(TIA)、ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症、脳出血、くも膜下出血の概要について述べ討議できる。 2) コンピュータ断層撮影(CT)や磁気共鳴イメージング(MRI)について説明することができる。 3) てんかんの概要について述べ討議できる。 4) 脳波(EEG)について説明することができる。 5) 認知症の概要について述べ討議できる。	教科書 P106-120を通読 予習1時間	認知 (想起)
11	6/29 (火) 3限	黒木	ユニット 11 神経系疾患 (2) 講義	5) 神経難病である神経変性疾患の概要について理解する。 6) 脊髄損傷の概要について理解する。 7) 脳性麻痺の概要について理解する。 8) 神経系疾患と口腔との関連について理解する。	5) パーキンソン病、シャイ・ドレーガー症候群、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症(ALS)の概要について述べ討議できる。 6) 脊髄損傷の概要について述べ討議できる。 7) 脳性麻痺の概要について述べ討議できる。 8) 神経系疾患での歯科領域における注意点と対応を述べ討議できる。	教科書 P106-120を通読 予習1時間	認知 (想起)
12	7/6 (火) 3限	黒木	ユニット 12 精神疾患 講義	1) 心身症・神経症の概要について理解する。 2) うつ病の概要について理解する。 3) 統合失調症の概要について理解する。 4) 発達障害の概要について理解する。 5) 精神疾患と口腔との関連について理解する。	1) 心身症・神経症の概要について述べ討議できる。 2) うつ病の概要について述べ討議できる。 3) 統合失調症の概要について述べ討議できる。 4) 発達障害の概要について述べ討議できる。 5) 精神疾患での歯科領域における注意点と対応を述べ討議できる。	教科書 P122-130を通読 予習1時間	認知 (想起)
13	7/13 (火) 3限	黒木	ユニット 13 がん 講義	1) がん(悪性腫瘍)の概念を理解する。 2) がんの種類と概要を理解する。 3) 全身的ながんと口腔との関連について理解する。 4) 頭頸部がんの概要について理解する。 5) 頭頸部がんにおける歯科衛生士のかかわりを理解する。	1) がんの特徴、疫学、病因、転移について述べ討議できる。 2) がんの種類と概要について述べ討議できる。 3) 全身的ながんでの歯科領域における注意点と対応を述べ討議できる。 4) 頭頸部の概要について述べ討議できる。 5) 頭頸部がんにおける歯科衛生士のかかわりについて述べ討議できる。	教科書 P131-139を通読 予習1時間	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育 目標 領域
14	7/20 (火) 3限	黒木	ユニット 14 その他：産科・婦人科疾患・妊娠・運動器疾患、感覚器疾患、皮膚疾患 講義	1) 妊娠による身体の変化の概要を理解する。 2) 妊娠中の口腔内の変化について理解する。 3) 更年期障害の概要を理解する。 4) 更年期障害における口腔との関連について理解する。 5) 骨粗鬆症の概要を理解する。 6) 大腿骨頸部骨折の概要を理解する。 7) 変形性膝関節症の概要を理解する。 8) 白内障の概要を理解する。 9) 老人性難聴の概要を理解する。 10) 高齢者に多い皮膚疾患の概要を理解する。 11) 褥瘡の概要を理解する。	1) 妊娠による身体の変化の概要について述べ討議できる。 2) 妊娠中の口腔内の変化に対して歯科診療における注意点・対応を述べ討議できる。 3) 更年期障害の概要について述べ討議できる。 4) 更年期障害での歯科領域における注意点と対応を述べ討議できる。 5) 骨粗鬆症の概要について述べ討議できる。 6) 大腿骨頸部骨折の概要について述べ討議できる。 7) 変形性膝関節症の概要について述べ討議できる。 8) 白内障の概要について述べ討議できる。 9) 老人性難聴の概要について述べ討議できる。 10) 高齢者に多い皮膚疾患の概要について述べ討議できる。 11) 褥瘡の概要について述べ討議できる。	教科書 P140-148を 通読 予習1時間	認知 (想起)
15	7/27 (火) 3限	黒木	ユニット 15 複数領域にまたがる医療概念と項目 講義	1) 検体検査の種類と概要について理解する。 2) 紹介状と照会状について理解する。 3) 患者さんへの医療面接について理解する。 4) 生活習慣病の概念について理解する。 5) 廃用症候群の概念について理解する。 6) メタボリック症候群の概念について理解する。 7) ロコモティブ症候群の概念について理解する。 8) サルコペニアの概念について理解する。 9) 高齢者のフレイルの概念について理解する。 10) リハビリテーションの概念について理解する。 11) 周術期口腔ケアの概念について理解する。 12) 観血的処置の概念について理解する。 13) トリアージの概念について理解する。	1) 検体検査の種類とデータ解釈について述べ討議できる。 2) 紹介状と照会状について述べ討議できる。 3) 患者さんへの医療面接について述べ討議できる。 4) 生活習慣病の概念について述べ討議できる。 5) 廃用症候群の概念について述べ討議できる。 6) メタボリック症候群の概念について述べ討議できる。 7) ロコモティブ症候群の概念について述べ討議できる。 8) サルコペニアの概念について述べ述べける。 9) 高齢者のフレイルの概念について述べ討議できる。 10) リハビリテーションの概念について述べ討議できる。 11) 周術期口腔ケアの概念について述べ討議できる。 12) スケーリングなどの観血的処置について述べ討議できる。 13) トリアージについて述べ討議できる。	教科書 P150-156を 通読 予習1時間	認知 (想起)

衛生学・公衆衛生学

開講時期： 2 年次前期
授業時間数： 15 コマ ; 30 時間
2 単位 (必修)
受験資格要件： 2/3 (10 コマ) 以上の出席
科目番号： DH021112
評価責任者： 堀部 晴美
実施担当者： 埴岡 隆 島津 篤
内藤 麻利江

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として、口腔領域だけでなく、健康と予防医学の概念および人間を取り巻く自然的・社会的環境要因と健康との関係性についての知識と洞察力を備えるとともに、医療、保健、福祉の専門家の一員として他職種連携のできる歯科衛生士として地域保健活動を実践・活躍するために、法律や制度など人々の健康を守る基本的な医療、保健、福祉の知識と社会の仕組みを体系的に理解する。

2. 教育方法

講義を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、PC+プロジェクター

4. 学修方法

衛生学・公衆衛生学は社会と密接に関連している学問であり、普段から、新聞・雑誌・テレビ・インターネットなどを通じて、環境や健康の問題に広く関心を持つことは、授業の理解に役立ちます。

授業には、指定教科書を必ず持参し、下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業後は、記憶が鮮明なその日のうちに、教科書や配布プリントなどで講義内容の確認を行いましょう。授業内容は多岐にわたりますので、特段の理由のない限り、毎回出席しましょう。

授業中、ポイントとなる点については、教科書や配布プリントの記載に、追加して説明することがあります。板書されたことだけをノートに取るのではなく、しっかりと言葉を聞き取りメモしましょう。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価

定期試験：客観試験・記述試験（試験において、知識と理解度の評価判定を行う）（80%）

平常評価：授業態度（発問・質疑・グループワークでの発言や協力等）（20%）

必要に応じて口頭試問、レポートを課す場合がある。掲示による結果周知にてフィードバックを行う。

6. 教科書

1. 『最新歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学 第3版』医歯薬出版 2021

7. 参考書

なし

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	4/5 (月) 4限	島津	ユニット 3 健康および予防医 学の概念・国際保健 講義	1) 衛生・保健・健康の 概念について理解す る。 2) 国際保健について理 解する。	(1)衛生学・公衆衛生学の概略について説明でき る。 (2)健康の概念、プライマリーヘルスケア、ヘル スプロモーション、ICFについて説明すること ができる。 (3)第一・二・三次予防について説明することが できる。 (4)国際保健の概要を説明することができる。	教科書 1 の総 論 (I 編 1 章 P2~7) と国 際保健 (III編 7章P317~ 321) を精読 する 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 (解釈)
2	4/14 (水) 1限	埴岡	ユニット 2 疫学 講義	1) 疫学について理解す る。	(1)疫学の定義、多要因疾病発生論、疾病の発生 や流行状態を表す指標、疫学研究の方法につ いて説明することができる。	教科書 1 の健 康と環境 (I 編2章P8~ 17) を精読す る 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 (解釈)
3	4/19 (月) 4限	内藤	ユニット 4 人口に関する統計 講義	1) 人口に関する統計に ついて理解する。	(1)人口動態統計と静態統計について説明するこ とができる。 (2)日本の人口構造、高齢化とその指標について 説明することができる。 (3)出生、死亡、生命表、平均余命、平均寿命に ついて説明することができる。	教科書 1 の人 口 (I 編 3 章 P18~33) を 精読する 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 (想起)
4	4/26 (月) 4限	内藤	ユニット 1 健康と環境 1 (大気) 講義	1) 大気への健康への影響 と生活環境との関係に ついて理解する。	(1)空気に含まれる異常成分と健康への影響につ いて説明することができる。 (2)気温、気湿、気流、輻射熱などの温熱環境に ついて説明することができる。	教科書 1 の健 康と環境 (I 編 4 章P34~ 41) を精読す る 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 (問題解 決)
5	5/10 (月) 4限	島津	ユニット 5 健康と環境2 (水質) 講義	1) 水質環境と健康被害 について理解する。	(1)水質汚濁と健康被害について説明することが できる。 (2)水質の浄化方法について説明することができ る。	教科書 1 の健 康と環境 (I 編 4 章P42~ 45) を精読す る 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 (想起)
6	5/17 (月) 4限	島津	ユニット 6 健康と環境3 (環境保全) 講義	1) 公害や地球規模の環 境問題について理解す る。	(3)地球規模の環境問題について説明することが できる。	教科書 1 の健 康と環境 (I 編 4 章P49~ 55) を精読す る 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 (想起)
7	5/24 (月) 4限	島津	ユニット 7 健康と環境4 (廃棄物処理) 講義	1) 廃棄物とその処理に ついて理解する。	(1)一般廃棄物と産業廃棄物について説明するこ とができる。 (2)特別管理廃棄物について説明することができ る。 (3)診療室から出る廃棄物の種類と処理方法につ いて説明することができる。	教科書 1 の健 康と環境 (I 編 4 章P56~ 59) を精読す る 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 (問題解 決)
8	5/31 (月) 4限	島津	ユニット 8 感染症 講義	1) 感染症の原因、成り 立ちおよびその予防と主 な感染症の動向を理解す る。	(1)感染成立の三要因およびその対策について説 明することができる。 (2)主な感染症の動向について説明することがで きる。	教科書1.の 感染症 (I 編5章P60 ~75) を精読 する 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 (想起)
9	6/7 (月) 4限	島津	ユニット 9 食中毒 講義	1) 食品保健、食中毒を 理解する。	(1)食中毒の分類、原因、発生状況および食品の 安全性確保について説明することができる。	教科書1.の 食品と健康 (I 編 6 章 P76~82) を 精読する 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 (問題解 決)
10	6/14 (月) 4限	島津	ユニット 10 国民栄養の現状 講義	1) 国民栄養の現状、栄 養と健康を理解する。	(1)日本人の食事摂取基準、国民栄養の現状と問 題点、食生活指針について説明することがで きる。	教科書1.の 食品と健康 (I 編 6 章 P82~86) を 精読する 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 (想起)
11	6/21 (月) 4限	島津	ユニット 11 地域保健 講義	1) 地域保健について理 解する。	(1)地域保健を担う組織、ヘルスプロモーション ならびに地域保健の基本的な進め方について 説明することができる。	教科書 1 の 地域保健・公 衆衛生 (III編 1章P216~ 247) を精読 する 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
12	6/28 (月) 4限	内藤	ユニット 12 母子保健 講義	1) 母子保健事業について理解する。	(1)母子保健事業（母子健康手帳、妊産婦・乳幼児の保健指導および健康診査など）について説明することができる。	教科書 1 の 母子保健（III 編2章P248～ 262）を精読 する 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 （想起）
13	7/5 (月) 4限	内藤	ユニット 13 学校保健 講義	1) 学校保健について理解する。	(1)学校保健の対象者と関係職員、保健教育・保健管理・学校保健委員会について説明することができる。	教科書 1 の 学校保健（III 編2章P263～ 279）を精読 する 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 （想起）
14	7/12 (月) 4限	島津	ユニット 14 成人保健・産業保健 講義	1) 成人および産業保健について理解する。	(1)成人保健の現状およびその対策について説明することができる。 (2)生活習慣病のリスクファクターについて説明することができる。 (3)産業保健の目的、根拠法令、作業環境管理、作業管理、健康管理およびT H Pについて説明することができる。	教科書 1 の 成人保健（III 編4章P280～ 286）と産業 保健（III編5 章P287～ 298）を精読 する 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 （想起）
15	7/19 (月) 4限	島津	ユニット 15 高齢者保健・精神保健 講義	1) 高齢者保健について理解する。 2) 精神保健について理解する。	(1)高齢者保健の現状およびその対策について説明することができる。 (2)介護保険制度の概要について説明できる。 (3)精神保健福祉行政の概要を説明することができる。	教科書 1 の 産業保健（III 編5章P287～ 298）を精読 する 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 （想起）

看護学総論

開講時期： 2 年次後期
 授業時間数： 15 コマ ; 30 時間
 1 単位
 受験資格要件： 2/3 (10) コマ以上の出席
 科目番号： DH021202
 評価責任者： 堀部 晴美
 授業担当者： 末松美保子

1. 一般目標

歯科衛生士が、全身管理を視野に入れた口腔管理や予防を実践するために、病院における歯科衛生士の役割とチーム医療について理解することができる。また、専門職としての思考力や判断力を養うために、基本的な看護技術についても理解することができる。さらに、地域医療活動における歯科衛生士の役割、歯科衛生士に求められる役割について理解することができる。

2. 教育方法

講義

医療機関（病院等）、施設などで、看護師として患者や要介護高齢者の看護に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD+PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業には、遅刻せず始業時間には着席していること。指定教科書と配布資料等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。歯科保健指導や健康学などに関連付けた学修をする。授業中はノートを取る。授業後は、教科書や配布資料等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。レポート課題は、締め切り期日を守る。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価

総括評価：記述試験（100%）

フィードバック：試験結果（成績）、模範解答は試験終了後に掲示する。

尚、詳細は講義の初日に解説する。

6. 教科書

1. 全国私立歯科大学・歯学部附属病院看護部長会編「歯科衛生士のための看護学大意 第3版」医歯薬出版 2020

7. 参考書

1. 「系統看護学講座 看護学概論 基礎看護学〔1〕」 医学書院 藤崎 郁他

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/21 (火) 3限	末松	オリエンテーション ユニット 1 病院における歯科 衛生士の役割 講義	1) 歯科衛生士の活動の場 について理解し、医療 チームの中での歯科衛 生士の役割について理 解する。	(1) 活動の場について理解し、医療チームの中での活動について理解することができる (2) 歯科衛生士の役割、医療チームの職種について説明できる。	教科書の P2-11を精 読し、ノート に書く。 復習0.5時 間・予習0.5 時間	認知 (想起)
2	9/28 (火) 3限	末松	ユニット 2 看護の概念 講義	1) 看護の歴史について学 び、看護の起こりと歴 史的変遷を理解する。	(1) 近代看護について理解することができる。 (2) ナイチンゲールが現代の看護に貢献している点について説明できる。	教科書の P14-19を精 読し、ノート に書く。 復習0.5時 間・予習0.5 時間	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
3	10/5 (火) 3限	末松	ユニット 2 看護の概念 講義	2) 看護とは何かについて理解することができる。	(1) 看護とはなにか、誰のために、どのように行うのか理解することができる。 (2) 看護の対象者について説明できる。	教科書 1. の P2-10 を精読し、ノートに書く。 復習 0.5 時間・予習 0.5 時間	認知 (想起)
4	10/12 (火) 3限	末松	ユニット3 歯科衛生士が知っておくべき看護技術 講義	1) 健康とは何か、健康の状態の把握について理解する。	(1) バイタルサインの測定方法について理解することができる。 (2) 測定時の留意点について説明できる。	教科書の P20-21 を精読し、ノートに書く。 復習 0.5 時間・予習 0.5 時間	認知 (想起・解釈)
5	10/19 (火) 3限	末松	ユニット 3 歯科衛生士が知っておくべき看護技術 講義	2) 酸素療法と吸引について理解する。	(1) 吸引の種類と方法について、安全で適切な方法について理解することができる。 (2) 吸引方法の種類と留意点について述べることができる。	教科書の P58-59 を精読し、ノートに書く。 復習 0.5 時間・予習 0.5 時間	認知 (想起)
6	10/26 (火) 3限	末松	ユニット 3 歯科衛生士が知っておくべき看護技術 講義	3) 患者の安全と安楽について理解する。	(1) 安楽への援助と具体的技術について理解することができる。 (2) 安楽な体位の工夫について説明できる。	教科書の P46-49 を精読し、ノートに書く。 復習 0.5 時間・予習 0.5 時間	認知 (想起)
7	11/2 (火) 3限	末松	ユニット 3 歯科衛生士が知っておくべき看護技術 講義・演習	4) 摂食への支援について理解する。	(1) 経管栄養法、静脈栄養法について理解することができる。 (2) 経管栄養における留意点について説明できる。	教科書の P52-53、配布資料を精読し、ノートに書く。 復習 0.5 時間・予習 0.5 時間	認知 (想起)
8	11/9 (火) 3限	末松	ユニット 3 歯科衛生士が知っておくべき看護技術 講義	5) 薬物治療患者への寛容について理解する。	(1) 与薬について、薬物の種類や保管方法について理解することができる。 (2) 与薬上の留意点について説明できる。	教科書の P54-55 を精読し、ノートに書く。 1 時間	認知 (想起)
9	11/16 (火) 3限	末松	ユニット 4 歯科衛生士に必要な看護実務 講義	1) 患者の観察と外来、病棟での業務について理解する。	(1) 外来、入院患者の特徴と基本的看護について理解することができる。 (2) 全身疾患を有する患者の看護における留意点について説明できる。	教科書の P61-10 を精読し、ノートに書く。 復習 0.5 時間・予習 0.5 時間	認知 (想起)
10	11/30 (火) 3限	末松	ユニット4 歯科衛生士に必要な看護実務 講義	2) 救急時の看護について理解する。	(1) 一次救命処置について理解することができる。 (2) 心肺蘇生時の留意点について説明できる。	教科書の P78-80 を精読し、ノートに書く。 復習 0.5 時間・予習 0.5 時間	認知 (想起)
11	12/7 (火) 3限	末松	ユニット4 歯科衛生士に必要な看護実務 講義	3) 患者の安全と危機管理について理解する。	(1) 消毒と滅菌方法および、取扱いについて理解し、感染予防対策やリスクマネジメントについて理解することができる。 (2) 標準予防対策について説明できる。	教科書の P81-97 を精読し、ノートに書く。 復習 0.5 時間・予習 0.5 時間	認知 (想起)
12	12/14 (火) 3限	末松	ユニット5 歯科衛生士が知っておくべき看護技術 講義	1) 患者への支援について理解する。	(1) 認知症患者への接し方について理解することができる。 (2) 認知症の中核症状とBPSDについて説明できる。	配布資料を精読し、ノートに書く。 復習 0.5 時間・予習 0.5 時間	認知 (想起)
13	12/21 (火) 3限	末松	ユニット5 歯科衛生士が知っておくべき看護技術 講義	1) 災害時の看護について理解する。	1) どのような災害があるか理解することができる。 2) 具体的な支援について理解することができる。	配布資料を精読し、ノートに書く。 復習 0.5 時間・予習 0.5 時間	認知 (想起)
14	1/11 (火) 3限	末松	ユニット6 地域活動における歯科衛生士の役割 講義	1) 地域社会における看護の在り方について理解する。	(1) 在宅医療について理解することができる。 (2) 在宅医療を支える職種について説明できる。	教科書の P98-105 を精読し、ノートに書く。 復習 0.5 時間・予習 0.5 時間	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
15	1/18 (火) 3限	末松	ユニット7 地域活動における 歯科衛生士の役割 講義・DVD視聴・ グループワーク	1)在宅医療における看護 活動から歯科衛生士 の役割について理解 する。	(1)地域医療にかかわるチーム医療の実際につい て理解することができる。 (2)DVD視聴後、グループの中で意見を述べるこ とができる。	教科書の P105-110 を精読し、ノ ートを書く。 復習0.5時 間・予習0.5 時間	認知 (想起・ 解釈)

歯周病治療学

開講時期： 2 年次前期
 授業時間数： 15 コマ ; 30 時間
 1 単位
 受験資格要件： 2/3 (10 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH021213
 評価責任者： カ丸哲也
 授業担当者： カ丸哲也

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として多様な対象者に、根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するために必要な歯周病治療に関する基本的知識を体系的に修得し、理論的に分析・考察するための科学的思考力を修得する。

2. 教育方法

講義

大学病院において、歯科医師として歯周病治療に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材・機材

教科書、PC、プロジェクター

4. 学修方法

授業には、指定教科書を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中は、教科書中の指示された重要箇所にアンダーラインを引き、必要に応じてノートを取る。授業後は、教科書やノート等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。理解できなかった項目については教員・ティーチングアシスタントに質問し、説明を受けて確実に理解する事。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価方法

[総括的評価]：記述試験（70%）・小テスト（30%）

[フィードバック]：試験結果ならびに正解例は試験終了後掲示する。詳細は初回の講義で説明する。

6. 教科書

『新・歯科衛生士教育マニュアル 歯周病学』 栢 豪洋 他編集 クインテッセンス出版、2019

7. 参考書

最新歯科衛生士教本『歯科予防処置論・歯科保健指導論』医歯薬出版、2019

歯科衛生士国試対策研究会編『歯科衛生士国試対策集2021年対応 第1～29回全重要問題解説集』クインテッセンス出版、2020

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	4/12 (月) 2限	カ丸	オリエンテーション ユニット 1 歯周病治療学概論 歯周組織の構造と機能 [講義]	1) 歯周病の定義を理解する。 2) 歯周病治療の意義と目的を理解する。 3) 歯周組織の構造と機能を理解する。	1) 歯周病の定義を説明できる。 2) 歯周病治療の意義と目的を説明できる。 3) 歯周組織の構造を図示できる。 4) 歯周組織の構造と機能を説明できる。	教科書 P12-20を 精読する。 (予習0.5 時間・復習 0.5時間)	認知 (想起)
2	4/14 (水) 2限	カ丸	ユニット 2-1) 歯周病の疫学 ユニット 2-2) 歯周病の予防 [講義]	1) 歯周病の実態を理解する。 2) 歯周病の疫学に用いる指数を理解する。 3) 歯周病予防の基礎を理解する。	1) 日本人の歯周病の有病状況を説明できる。 2) 日本人の歯周病治療の受診状況を説明できる。 3) 歯周病の疫学に用いる指数を説明できる。 4) ブラークコントロールを説明できる。	教科書 P24-38を 精読する。 予習課題 プリント を作成し、 提出する。 (予習0.5 時間・復習 0.5時間)	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
3	4/19 (月) 2限	カ丸	ユニット 3 歯周病の原因 [講義]	1) 歯周病の局所的原因を理解する。	1) 歯周病の局所的原因を分類し、列挙できる。 2) 歯周病の局所的原因を説明できる。	教科書 P39-51を 精読する。 予習課題 プリント を作成し、 提出する。 (予習0.5 時間・復習 0.5時間)	認知 (想起)
4	4/21 (水) 2限	カ丸	ユニット 4 歯周病の原因 [講義]	1) 歯周病の全身的原因を理解する。	1) 歯周病の全身的原因を分類し、列挙できる。 2) 歯周病の全身的原因を説明できる。 3) 歯周病のリスクファクターを説明できる。	教科書 P51-57を 精読する。 予習課題 プリント を作成し、 提出する。 (予習0.5 時間・復習 0.5時間)	認知 (想起)
5	4/26 (月) 2限	カ丸	ユニット 5 歯周病の病態と分類 [講義]	1) 歯周病の病態を理解する。	1) 歯周組織の病的変化を説明できる。	教科書 P58-71を 精読する。 予習課題 プリント を作成し、 提出する。 (予習0.5 時間・復習 0.5時間)	認知 (想起)
6	5/12 (水) 2限	カ丸	ユニット 6 歯周病の病態と分類 [講義]	1) 歯周病の分類を理解する。	1) 歯周病を分類できる。 2) 歯周病の種類を説明できる。	教科書 P71-76を 精読する。 予習課題 プリント を作成し、 提出する。 (予習0.5 時間・復習 0.5時間)	認知 (想起)
7	5/17 (月) 2限	カ丸	ユニット 7 歯周病の病態と分類 [講義]	1) 歯周病の分類を理解する。	2) 歯周病の種類を説明できる。	教科書 P77-83 を精読す る。予習課 題プリント を作成し、 提出する。 (予習0.5 時間・復習 0.5時間)	認知 (想起)
8	5/24 (月) 2限	カ丸	ユニット 8 歯周病の検査 [講義]	1) 歯周組織の検査を理解する。	1) 歯周組織の検査法を説明できる。 2) 歯周組織の検査結果を説明できる。	教科書 P84-89 を精読す る。予習課 題プリント を作成し、 提出する。 (予習0.5 時間・復習 0.5時間)	認知 (想起)
9	5/31 (月) 2限	カ丸	ユニット 9 歯周病の検査 [講義]	1) 歯周組織の検査を理解する。	1) 歯周組織の検査法を説明できる。 2) 歯周組織の検査結果を説明できる。	教科書 P90-99を 精読する。 予習課題 プリント を作成し、 提出する。 (予習0.5 時間・復習 0.5時間)	認知 (想起)
10	6/14 (月) 2限	カ丸	ユニット 10 歯周病の診断と治療の進め方 歯周治療の実際 [講義]	1) 歯周治療の診断と治療の進め方を理解する。 2) 歯周基本治療を理解する。	1) 歯周治療の流れを説明できる。 2) 歯周基本治療の目的と意義を説明できる。	教科書 P100-115 を精読す る。予習課 題プリント を作成し、 提出する。 (予習0.5 時間・復習 0.5時間)	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
11	6/21 (月) 2限	カ丸	ユニット 11 歯周治療の実際 [講義]	1) 歯周基本治療を理解する。	1) 歯周基本治療を列挙できる。 2) 歯周基本治療の内容を説明できる。	教科書 P116-129 を精読する。予習課題プリントを作成し、提出する。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
12	6/28 (月) 2限	カ丸	ユニット 12 歯周外科治療 [講義]	1) 歯周外科治療を理解する。	1) 歯周外科治療の目的を説明できる。 2) 歯周外科治療の適応と禁忌を説明できる。 3) 歯周外科治療の分類と術式を大まかに説明できる。	教科書 P131-136 を精読する。予習課題プリントを作成し、提出する。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
13	7/5 (月) 2限	カ丸	ユニット 13 歯周外科治療 [講義]	1) 歯周外科治療を理解する。	1) 歯周外科治療の分類と術式を大まかに説明できる。 2) ペリオドンタルバックの目的と取扱いを説明できる。	教科書 P136-146 を精読する。予習課題プリントを作成し、提出する。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
14	7/12 (月) 2限	カ丸	ユニット 14-1) 根分岐部に対する処置 ユニット 14-2) 口腔機能回復治療 [講義]	1) 根分岐部に対する処置を理解する。 2) 口腔機能回復治療を理解する。	1) 根分岐部に対する処置の種類と目的を説明できる。 2) 口腔機能回復治療の目的を説明できる。 3) 口腔機能回復治療の種類を説明できる。	教科書 P148-163 を精読する。予習課題プリントを作成し、提出する。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
15	7/19 (月) 2限	カ丸	ユニット 15 メンテナンス [講義]	1) 歯周治療後のメンテナンスを理解する。	1) 歯周治療後のメンテナンスを分類できる。 2) 歯周治療後のSPTを説明できる。 まとめ	教科書 P165-176 を精読する。予習課題プリントを作成し、提出する。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)

高齢者・障害者歯科学

開講時期： 2 年次前期
 授業時間数： 15コマ；30時間 1 単位
 受験資格要件： 2/3（10コマ）以上の出席
 科目番号： DH021218
 評価責任者： 堀部晴美
 授業担当者： 梅崎陽二郎、山口真広、
 田崎園子

1. 一般目標

精神・身体的な能力の不全を有し、歯科保健医療を健常人達と同じように受けることができない障害者や重篤な基礎疾患を有した者、要介護高齢者を対象に、歯科保健医療を提供するための基本的知識や歯科治療法および口腔ケアに関する問題点とそれらへの対処法について理解する。

2. 教育方法

スライドおよび配付プリントを用いた講義

3. 教育教材

教科書、プリント、プロジェクター

大学病院において診療に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

4. 学修方法

授業には、指定教科書と配布プリント等を持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修を怠らないこと。授業中はノートを取る。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。

【単位修得に必要な授業外学修時間：15 時間】

5. 評価方法

【総括的評価】 定期試験：記述試験（100%）

【フィードバック】 試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。

6. 教科書

全国歯科衛生士教育協議会 監修：『最新歯科衛生士教本 障害者歯科』、第2版、医歯薬出版、2013
 森戸光彦 編集主幹：歯科衛生士講座 高齢者歯科学、第 3 版、永末書店、2017

7. 参考書

『スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科』日本障害者歯科学会 編集 第2版、医歯薬出版、2017

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習 項目と 必要時間	教育目標 領域
1	4/5 (月) 3限	田崎	ユニット 1 障害者歯科学序論	1) 障害者が置かれた環境について理解する。	(1) 障害者の定義を説明できる。 (2) 障害者関連法規を説明できる。 (3) 障害者の医療、福祉制度を説明できる。 (4) ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザインを説明できる。 (5) 障害者の QOL を説明できる。 (6) 国際生活機能分類を説明できる。 (7) 障害者の家族の心理を説明できる。 (8) 障害者歯科におけるパターンリズムとインフォームドコンセントを説明できる。	教科書の該当箇所を読む 予習0.5時間 復習0.5時間。 p1～p12	認知 (想起)
2	4/12 (月) 3限	田崎	ユニット 2 障害児の成長発達	1) 障害児の成長・発達について健常児との違いを理解する。	(1) 粗大運動発達を説明できる。 (2) 微細運動発達を説明できる。 (3) 原始反射を説明できる。 (4) 吸嚥・摂食咀嚼の発達を説明できる。	小児歯科の教科書の該当箇所を読む 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 (解釈)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習 項目と 必要時間	教育目標 領域
3	4/19 (月) 3限	田崎	ユニット3 疾患各論（1）	1) 種々の疾患（障害）の特徴と歯科保健医療上の留意事項について理解する。	(1) 視覚・聴覚・構音障害について説明できる。 (2) 内部障害が列挙できる。 (3) 精神遅滞について説明できる。 (4) Down 症候群について説明できる。	教科書の該当箇所を読む 予習0.5時間 復習0.5時間。 p13～p16 p39～p42	認知 (解釈)
4	4/26 (月) 3限	田崎	ユニット3 疾患各論（2）		(5) 発達障害（自閉スペクトラム症ほか）について説明できる。 (5) 精神疾患について説明できる。	教科書の該当箇所を読む 予習0.5時間 復習0.5時間。 p20～p25 p42～p43	認知 (解釈)
5	5/10 (月) 3限	田崎	ユニット3 疾患各論（3）		(7) 脳性麻痺について説明できる。 (8) 重症心身障害について説明できる。 (7) てんかんについて説明できる。	教科書の該当箇所を読む 予習0.5時間 復習0.5時間 p25～p31 p44～p45	認知 (解釈)
6	5/17 (月) 3限	田崎	ユニット4 障害者への対応	1) 障害者歯科診療における患者への対応法について理解する。	(1) 感覚障害をもつ者への対応を説明できる。 (2) 行動変容法を説明できる。 (3) 体動のコントロールや開口保持について説明できる。 (4) 薬物による行動調整法（鎮静法、全身麻酔法）を説明できる。 (5) 身体拘束について説明できる。	教科書の該当箇所を読む 予習0.5時間 復習0.5時間。 p51～p77	認知 (問題解決)
7	5/24 (月) 3限	田崎	ユニット5 障害者の口腔ケアと地域医療	1) 障害者の QOL の維持・向上について理解する。 2) 地域における医療連携について理解する。	(1) 障害者の口腔ケアの必要性と留意点を説明できる。 (2) 障害児の摂食嚥下リハビリテーションについて説明できる。 (3) 障害者歯科診療におけるリスク評価と対応を説明できる。 (4) 一過性菌血症とその予防について説明できる。 (5) 地域における障害者歯科医療を説明できる。 (6) 障害者歯科医療における多職種連携を説明できる。	教科書の該当箇所を読む 予習0.5時間 復習0.5時間。 p86～p88 p100～p154	認知 (解釈)
8	5/31 (月) 3限	梅崎	ユニット6 高齢社会の現状	1) 高齢社会の現状について理解する。 [講義]	(1) 高齢社会の現状を説明できる。 (2) おもな人口学的指標を列挙できる。 (3) 高齢社会の問題点を説明できる。	資料振り返り 復習 1 時間	認知 (問題解決)
9	6/7 (月) 3限	梅崎	ユニット7 加齢変化と高齢者の特性	1) 全身と口腔の加齢変化を理解する。 [講義]	(1) 老化のメカニズムを説明できる。 (2) 高齢者の身体的特徴を説明できる。 (3) 口腔領域の加齢変化を説明できる。 (4) 認知症の症状、分類を説明できる。	前回配付の資料で振り返り学修 復習 1 時間	認知
10	6/14 (月) 3限	梅崎	ユニット8 要介護高齢者の歯科医療と医療安全	1) 訪問診療の実際を理解する。 2) リスクマネジメントを理解する。 [講義]	(1) 訪問診療の特徴を説明できる。 (2) 診療時の介助を説明できる。 (3) 要介護高齢者の診療上の留意点を説明できる。 (4) 医療事故防止策を説明できる。	前回配付の資料で振り返り学修 復習 1 時間	認知 (解釈)
11	6/21 (月) 3限	梅崎	ユニット9 高齢者の疾患と頻用される薬剤	1) 高齢者に多い疾患と歯科治療上の留意点を理解する。 2) 高齢者の薬剤代謝の特性を理解する。 [講義]	(1) 高齢者に多い疾患の概略を説明できる。 (2) 老年症候群、サルコペニアを説明できる。 (3) 高齢者に頻用される薬剤とその副作用を説明できる。	前回配付の資料で振り返り学修 復習 1 時間	認知 (解釈)
12	6/28 (月) 3限	山口	ユニット10 口腔ケア	1) 要介護高齢者の口腔ケアを理解する。 [講義]	(1) 口腔ケアの意義を説明できる。 (2) 口腔ケアの定義と関連用語を説明できる。 (3) オーラルフレイルと廃用症候群を説明できる。 (4) 口腔ケアの必要度を示す指標を説明できる。	前回配付の資料で振り返り学修 復習 1 時間	認知 (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習 項目と 必要時間	教育目標 領域
13	7/5 (月) 3限	山口	ユニット 11 摂食・嚥下障害	1) 摂食・嚥下障害の診断 を理解する。 2) 摂食嚥下障害のとり ハビリテーションを理 解する。 [講義]	(1) 嚥下の解剖と生理を説明できる。 (2) 嚥下障害のスクリーニングを説明で きる。 (3) 摂食嚥下リハビリテーションを説明 できる。	前回配付の 資料で振り 返り学修。 復習 1 時間	認知 (解釈)
14	7/12 (月) 3限	山口	ユニット 12 要介護高齢者の身 体機能と栄養評価	1) 要介護高齢者の機能評 価を理解する。 2) 高齢者の栄養評価を理 解する。 [講義]	(1) 高齢者の検査所見と臨床指標を説明でき る。 (2) 高齢者の栄養評価を説明できる。	前回配付の 資料で振り 返り学修。 復習 1 時間	認知 (解釈)
15	7/19 (月) 3限	山口	ユニット 13 要介護高齢者の福 祉	1) 介護保険の概要を理解 する。 2) 福祉と医療の多職種連 携を理解する。 [講義]	(1) 介護保険制度を説明できる。 (2) 要介護高齢者の医療と福祉に関係する職 種を説明できる。 (3) 各種の介護福祉施設の特徴を説明でき る。	前回配付の 資料で振り 返り学修。 復習 1 時間	認知 (解釈)

歯科麻酔学・歯科放射線学

開講時期： 2 年次後期
 授業時間数： 15 コマ；30 時間 1 単位
 （歯科麻酔学 7 コマ、歯科放射線学 8 コマ）
 受験資格要件： 2/3（10 コマ）以上の出席
 科目番号： DH021219
 評価責任者： 堀部晴美
 担当教員： 谷口省吾、野上堅太郎、小川美香、
 香川豊宏、筑井朋子、吉田祥子、
 稲富大介

1. 一般目標

歯科麻酔学：歯科衛生士として歯科臨床業務に従事する際に必要な局所麻酔、精神鎮静法、全身麻酔に関する事項を理解する。また周術期の全身管理、緊急事態の回避および対処法についても理解を深める。そしてそれらを基盤に一般歯科、口腔外科、インプラント、障害者歯科、高齢者歯科、有病者歯科などについても理解を深めるとともに、安心で安全な歯科医療を患者に提供でき、他職種の医療従事者とも連携できるようになること。

歯科放射線学：歯科放射線診療における適切な補助および放射線防護を行うために放射線の基礎的知識および画像診断学の基本を習得する。

2. 教育方法

講義、プリント配布を行う。

大学病院において診療に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業には、指定教科書を必ず持参すること。

歯科麻酔学の理解には解剖学、生理学、薬理学、口腔外科学、内科学などの知識が必要である。また歯科麻酔学は日常の歯科臨床業務では不可欠な知識であるうえ、全身管理や緊急事態の回避および対処については医療従事者として必要不可欠な知識である。

歯科放射線学は下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取ること。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15.5時間】

5. 評価

〔総括的評価〕 定期試験：記述試験（100%）

〔フィードバック〕 試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。尚、詳細は講義の初日に説明する。

6. 教科書

「新・歯科衛生士教育マニュアル 口腔外科学・歯科麻酔学」 クインテッセンス出版 2013

歯科衛生士テキスト わかりやすい歯科放射線学 第3版、2017

7. 参考書

「最新歯科衛生士教本 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔」 医歯薬出版 2017

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育 目標 領域
1	9/21 (火) 4限	野上	ユニット1 術前管理 〔講義〕	歯科医療における 術前管理について 理解する。	(1)患者の全身状態の評価として、 バイタルサインについて説明する ことができる。 (2)術前の評価として、全身疾患の 診察や問診上の注意点、検査項目と その内容について説明することが できる。	バイタルサインについて理解する。 それぞれのバイタルサインの計測の仕方、評価を理解する。全身疾患の 診察や問診上の注意点を理解する。 それぞれの臨床検査について理解する。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育 目標 領域
2	9/28 (火) 4限	小川	ユニット2 局所麻酔薬 〔講義〕	各種の局所麻酔製剤を理解する。	(1)各種局所麻酔薬の特徴を理解し、作用について説明できる。 (2)各種血管収縮薬の特徴を理解し、使用目的と注意点について説明できる。	それぞれの局所麻酔薬の特徴を理解する 各種血管収縮薬を分類し、それぞれの長所と短所を理解する (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
3	10/5 (火) 4限	小川	ユニット2 局所麻酔法 〔講義〕	各種の局所麻酔方法を理解する。	(1)表面麻酔、浸潤麻酔、伝達麻酔の違いと特徴を理解する。 (2)各種の伝達麻酔について、奏功範囲について理解する。	表面麻酔、浸潤麻酔、伝達麻酔の違いを理解する。 伝達麻酔の奏功範囲を図で説明する (予習 0.5 時間・復習 0.5 時間)	認知 (解釈)
4	10/12 (火) 4限	野上	ユニット3 全身麻酔 〔講義〕	全身麻酔を理解する。	(1)全身麻酔の概念と4要素について説明することができる。 (2)術前管理、術中のモニタリング、使用する薬剤や機器について説明することができる。	全身麻酔の概念を理解する。術前管理を理解する。吸入麻酔薬、静脈麻酔薬、筋弛緩薬、麻薬を理解する。気道確保の方法を理解する。術中管理、術後管理について理解する。 (予習 0.5 時間・復習 0.5 時間)	認知 (想起)
5	10/19 (火) 4限	小川	ユニット4 精神鎮静法 〔講義〕	精神鎮静法を理解する。	(1)精神鎮静法の使用目的と適応症・禁忌症について説明できる。 (2)笑気吸入鎮静法と静脈内鎮静法の使用薬剤について理解し説明できる。	笑気吸入鎮静法と静脈内鎮静法の使用薬剤、適応症、禁忌症、取り扱い方法、実施上の注意点を理解すること (予習 0.5 時間・復習 0.5 時間)	認知 (解釈)
6	10/26 (火) 4限	野上	ユニット5 救急救命処置 〔講義〕	救急救命処置を理解する。	(1)一次救命処置の各項目について説明することができる。 (2)歯科治療中の偶発症の各項目について説明することができる。	一次救命処置の手順、各項目について理解する。歯科治療中の偶発症の各項目について症状と治療法を理解する。 (予習 0.5 時間・復習 0.5 時間)	認知 (解釈)
7	11/2 (火) 4限	谷口	ユニット6 麻酔科学要説 〔講義〕	麻酔科学について知識を整理し理解を深める。	(1)侵襲により起こる生体反応について説明することができる。 (2)侵襲時の生体反応を制御する麻酔法について説明することができる。 (3)歯科治療時の緊急事態と対応について説明できる。	侵襲の種類と各臓器の反応について理解する。 全身麻酔、精神鎮静法、局所麻酔法と必要な薬剤、器具について理解する。 神経性ショック、過換気症候群、アナフィラキシーショック、一次救命処置について理解する。 (予習 0.5 時間・復習 1 時間)	認知 (想起)
8	11/9 (火) 4限	香川	ユニット1 画像診断概論	1) 画像診断の概要について理解する。	1) 各種画像検査法の原理を説明することができる。 2) 各種画像検査の特徴を説明することができる。	教科書のP1-3, 115-127を精読する。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (解釈)
9	11/16 (火) 4限	稲富	ユニット2 放射線物理学	1) 放射線の特徴について理解する。 2) エックス線発生について理解する。	1) 放射線の種類を説明することができる。 2) エックス線の発生原理を説明することができる。 3) エックス線と物質の相互作用を説明することができる。 4) エックス線発生装置の構造を説明することができる。	教科書のP421-20、30-35を精読する。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
10	11/30 (火) 4限	稲富	ユニット3 写真処理法	1) エックス線写真の画像形成について理解する。	1) 現像方式によるエックス線画像形成を説明することができる。 2) デジタル方式のエックス線画像形成を説明することができる。	教科書のP36-51を精読する。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
11	12/7 (火) 4限	稲富	ユニット4 放射線生物学	1) 放射線が生物に与える影響について理解する。	1) 放射線の間接的影響、直接的影響を説明することができる。 2) 確率的影響、確定的影響を説明することができる。 3) 早期障害、晩期障害を説明することができる。 4) 身体的影響、遺伝的影響を説明することができる。	教科書のP12-29を精読する。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (解釈)
12	12/14 (火) 4限	稲富	ユニット4 放射線生物学	1) 放射線防護の目標および基本概念を理解する。	1) 放射線の線量の単位を説明することができる。 2) 被曝のカテゴリーを説明することができる。 3) 放射線防護の3原則を説明することができる。	教科書のP162-179を精読する。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育 目標 領域
13	12/21 (火) 4限	筑井	ユニット5 エックス線撮 影法	1) 口内法エック ス線撮影法の原 理および適用を 理解する。	1) 二等分法の撮影法および適用 を説明することができる。 2) 平行法の撮影法および適用を 説明することができる。 3) 咬翼法の撮影法および適用を 説明することができる。 4) 偏心投影法の撮影法および適 用を説明することができる。 5) 咬合法の撮影法および適用を 説明することができる。	教科書のP32-89を精読する。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (解釈)
14	1/11 (火) 4限	筑井	ユニット5 エックス線撮 影法	1) 口外法エック ス線撮影法の原 理および適用を 理解する。	1) パノラマエックス線撮影法の 原理および適応を説明すること ができる。 2) 顔面骨エックス線撮影法の種 類および適応を説明すること ができる。	教科書のP90-114を精読する。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (解釈)
15	1/18 (火) 4限	吉田	ユニット5 エックス線撮 影法	1) エックス線解 剖を理解する。 2) 基本的な疾患 のエックス線所 見を理解する。	1) 口内法エックス線写真の解剖 を説明することができる。 2) パノラマエックス線写真の解 剖を説明することができる。 3) う蝕、歯石、歯周病、歯根囊 胞、歯牙腫、等のエックス線 所見を説明することができる。	教科書のP144-163を精読する。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (解釈)

歯科予防処置論Ⅱ

開講時期： 2年次後期
 授業時間数： 9コマ；18時間 1単位
 受験資格要件： 2/3(6コマ)以上の出席
 科目番号： DH021222
 評価責任者： 松尾忠行
 授業担当者： 堀部晴美、力丸哲也、泉喜和子
 松尾忠行、後藤加寿子、貴島聡子
 黒木まどか、石井綾子、南レイラ
 川尻 望、森沙耶香、高木未沙稀

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するために必要な齲蝕予防法や歯周病予防法に関する情報や知識を理論的に分析・考察し、さらに問題解決・発見能力を修得する。

2. 教育方法

講義・演習・グループワークを行う。

大学病院において、歯科医師または歯科衛生士として治療に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC + プロジェクター

4. 学修方法

授業には、該当する指定の教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取る。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。レポート課題は、締め切り期日を守ること。授業は定刻に始まるので、遅刻は欠席となる。本授業を理解する上で、歯科予防処置論Ⅰの知識が必要であり、本授業は歯科予防処置論Ⅱの理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：9時間】

5. 評価方法

[総括的評価]定期試験:記述試験（80%）平常評価：レポート・観察記録・授業態度（発問・質疑・グループワークでの発言や協力等）（20%）

[フィードバック]試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。尚、詳細は講義の初日に説明する。

6. 教科書

1. 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版 第2版 2020
2. 新・歯科衛生士教育マニュアル 歯周病学 クインテッセンス出版 2018
3. 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 医歯薬出版 2017
4. 歯科衛生士テキスト 口腔衛生学・口腔保健統計を含む - 第4版 - 学建書院 2018
5. 最新歯科衛生士教本 「小児歯科学」 2019
6. 新・フッ化物ではじめる むし歯予防 医歯薬出版 2019
7. 新・歯科衛生士教育マニュアル 歯内治療 クインテッセンス出版 2020
8. 新・歯科衛生士教育マニュアル 保存修復 クインテッセンス出版 2018
9. 最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常 1 歯科補綴 医歯薬出版 第2版 2020
10. 新・歯科衛生士教育マニュアル 口腔外科学・歯科麻酔学 クインテッセンス出版 2013

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目 と必要時間	教育目標 領域
1	10/1 (金) 1限	松尾 高木	ユニット2 カリオグラム 講義	1) う蝕のリスク評価について理解する。	(1) う蝕活動性試験の評価結果（カリオグラム）をもとに、う蝕リスクの診断ができる。	カリオグラムの結果をもとに、う蝕リスクの診断を記載すること (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (問題解決)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育目標 領域
2	10/1 (金) 2限	川尻	ユニット 3 超音波・エアスケ ーラーの取り扱い 講義	1) 超音波スケーラーと エアスケーラーにつ いて理解する。	(1) 超音波スケーラーの種類と特徴が説明 できる。 (2) 超音波スケーラーの使用方が説明でき る。 (3) エアスケーラーの種類と特徴が説明で きる。 (4) エアスケーラーの使用方が説明でき る。	教科書 1.「パ ワースケーラー (機械的) スケ ーラー」 P207- 218 を精読する (予習0.5時間・ 復習0.5時間)	認知 (解釈)
3	10/5 (火) 1限	カ丸 松尾	ユニット 1 臨床検査法 (う蝕・歯周病) 講義	1) う蝕・歯周病に関連 する臨床検査法を理解 する。	(1) う蝕活動性試験が説明できる。 (5) 歯周病に関連する検査法が説明でき る。	う蝕活動性試験 の種類および歯 周病検査法を記 載すること (予習0.5時間・ 復習0.5時間)	認知 (解釈)
4	10/14 (木) 3限	貴島	ユニット 4 症例検討会の事前説 明 (4 症例： ①保存・歯内治 療 ②歯周治療 ③補綴治療 ④口腔外科) 講義	1) 歯科衛生過程を活用 し、担当症例について 歯科衛生計画を立案す る。	(1) 歯科衛生過程を説明することができる。 (2) 担当症例について、歯科衛生計画を立 案する。	教科書 1. の P62-76を精読す る 主観的情報・客 観的情報、8つ の歯科衛生ニーズ (予習0.5時間・ 復習0.5時間)	認知 (想起) 情意 (受入)
5	11/5 (金) 1,2限	貴島 堀部 カ丸 泉 松尾 後藤 黒木 石井 川尻 森 高木	ユニット 4 症例検討会 1 (個人 発表) (4 症例： ①保存・歯内治 療 ②歯周治療 ③補綴治療 ④口腔外科) 演習	1) 歯科衛生過程を活用 し、担当症例について 歯科衛生計画を立案す る。	(1) 担当症例について、歯科衛生計画を立 案できる。 (2) 立案した歯科衛生計画を発表すること ができる。 (3) 自分の発表した内容に対する質問に答 えることができる。 (4) 他の学生が立案した歯科衛生計画につ いて、質問することができる。	第 4 回目の講義 で決まった症例 について、歯科 衛生計画の立案 をする P62-76を精読す る 復習1時間 レポート 提出日	認知 (解 釈・問題 解決) 精神運動 (コント ロール) 情意 (受入・ 反応)
6							
7	12/7 (火) 2限	貴島	ユニット 4 症例検討会まとめ (模範解答の提示、 学生代表者発表) 講義・演習	1) 各症例別の模範解答 を参考にし、自分で作 成した計画書の見直し ができる。	(1) 担当症例について、歯科衛生計画を 立案できる。	復習1時間	認知 (問 題解決) 精神運動 (自動 化) 情意 (内面 化)
8	11/25 (木) 3限	黒木	ユニット 5 PMTC 講義	1) PMTC について理解 する。	(1) PMTC の目的が説明できる。 (2) PMTC の有効性が説明できる。 (3) PMTC で必要な器具や材料が説明でき る。 (4) PMTC の手順が説明できる。	教科書 1. の P178-181 を精読する 0.5時間	認知 (想起)
9	12/13 (月) 2限	川尻	ユニット 6 シーラント 講義	1) 小窩裂溝填塞法につ いて理解する。	(1) 小窩裂溝填塞法の目的が説明できる。 (2) 小窩裂溝填塞法の有効性が説明できる。 (3) 小窩裂溝填塞法に必要な器具や材料が説 明できる。 (4) 小窩裂溝填塞法の手順が説明できる。	教科書 1.「小窩 裂溝填塞」 P254-260を精 読する (予習0.5時間・ 復習0.5時間)	認知 (解釈)

歯科予防処置実習Ⅲ

開講時期： 2 年次前期
授業時間数： 20 コマ；40 時間
1 単位
受験資格要件： 4/5（16 コマ）以上の出席
科目番号： DH021225
評価責任者： 力丸哲也
授業担当者： 力丸哲也・泉喜和子・後藤加寿子
貴島聡子・黒木まどか・川尻 望
森沙耶香・堀部晴美・永田俊彦
高木未沙稀

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として個人に対し、根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するために必要な口腔内の情報を収集するとともに、口腔の健康を導き支援することができるための知識や技術および態度を修得する。

2. 教育方法

講義・演習、実習・相互学習・グループワーク・討論等のアクティブラーニングを行う。

医療機関において歯科衛生士・歯科医師として地域保健活動や臨床に従事した実務経験を生かした基礎教育並びに実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業を受講するに当たり、下記予習項目に記載の学修を行うこと。また、授業後は、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。事前・事後学修（予習・復習）を怠らず、また、授業中は真摯に臨み、理解できないことはその場で質問を行い解決すること。相互学習やグループワーク、症例検討等のアクティブラーニングについては、グループで協力して資料を作成し、発表に備えること。レポート課題を提示された場合には、期日までに仕上げる。

授業には、教科書と配布プリントを必ず持参すること。

本科目は「歯科診療補助実習、歯科保健指導実習」や関連科目「口腔解剖学、口腔病理学、口腔衛生学、歯周病治療学」で学習したことがベースとなるので、事前に理解を深めておくことが必要となる。準備学習を行うことにより他の科目との関連性を理解し、本科目に興味を持ち意欲的に取り組んでくれることを期待する。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：19時間】

5. 評価方法

形成的評価：確認テスト・レポート

フィードバック：不十分な箇所にはコメントを加え、再提出を求める場合もある。

基本的にミニテストは、前回学修した内容の復習、または、講義内容の確認として授業開始直後・終了直前に実施する。

内容の振り返りは、その時間、または、次の回の講義時に答案の返却で行う。

総括的評価：記述試験（80%）、ミニテスト・レポート（10%）、授業参加状況（予習・復習、アクティブラーニングの参加状況など）（10%）

フィードバック：試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。

6. 教科書

1. 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版 第2版 2020
2. 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論第2版 医歯薬出版 2020
3. 新・歯科衛生士教育マニュアル 歯周病学 クインテッセンス出版 2018
4. 歯科臨床の基礎と概論 クインテッセンス出版 2020

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	課題	カ丸	ユニット1 口腔衛生アセスメント1 歯周組織の観察・記録 講義	1) 歯周組織検査の種類と方法を理解する。 2) 根分岐部診査について理解する。	(1)歯周組織検査の種類と方法を説明することができる。 (2)根分岐部診査の方法を説明することができる。	教科書1.のP142-149、164、教科書3.のP85-95をまとめる (予習1時間)	認知(解釈)
2	課題	カ丸	ユニット1-1 口腔衛生アセスメント1 歯周組織の観察・記録 (マネキン実習) 実習	1) 歯周組織検査の操作法について理解する。 2) 根分岐部診査の操作法について理解する。	(1)プロービングの操作と動揺度診査をマネキン上で実施できる。 (2)ファークーションプローブの操作をマネキン上で実施できる。	ユニット1で学修した内容を確認する (予習1時間) ユニット1-2の内容をまとめる (復習1時間)	認知(解釈) 精神 運動(模倣)
3 4	5/26 (水) 3,4限	貴島 森 川尻 高木	ユニット 2 口腔衛生アセスメント2 歯式・粘膜の観察・記録 実習	1) 医療面接について理解する。 2) 口腔内各部の名称を理解する。 3) 歯牙の観察について理解する。 4) 正常な粘膜について理解する。	(1)医療面接の目的が説明できる。 (2)口腔内各部の名称と部位が説明できる。 (3)歯式をとるために必要な歯牙の観察法が説明できる。 (4)正常な粘膜について説明できる。	臨床概論ユニット1・2で学修した内容を振り返り、教科書1.のP120-137をまとめる (予習1時間)	認知 (解釈)
5 6	5/27 (木) 3,4限	貴島 川尻 高木	ユニット 2 口腔衛生アセスメント2 歯式・粘膜の観察・記録 実習	1) 医療面接について理解する。 2) 口腔内各部の名称を理解する。 3) 歯牙の観察について理解する。 4) 正常な粘膜について理解する。	(1)医療面接の目的が説明できる。 (2)口腔内各部の名称と部位が説明できる。 (3)歯式をとるために必要な歯牙の観察法が説明できる。 (4)正常な粘膜について説明できる。	臨床概論ユニット1・2で学修した内容を振り返り、教科書1.のP120-137をまとめる (予習1時間)	認知 (解釈)
7	6/9 (水) 1限	カ丸	ユニット 2-1 口腔衛生アセスメント2 初診患者の対応歯式・粘膜の観察・記録 (2人一組実施) 相互実習	1) 医療面接について理解する。 2) 健康調査票の記載法を理解する。 3) 口腔内各部の名称を理解する。 4) 歯牙の観察について理解する。 5) 正常な粘膜について理解する。 6) 検査項目の記録の記載法を理解する。	(1)必要な医療面接が実施できる。 (2)患者から収集した情報を、健康調査票に記録することができる。 (3)口腔内各部の名称と部位が一致できる。 (4)歯式をとることができる。 (5)粘膜を観察することができる。 (6)観察した項目をチャートに記載することができる。	ユニット2で学修した内容を確認する (予習1時間) ユニット2-1で収集した情報をまとめる (復習1時間)	認知 (解釈) 精神 運動(模倣) 態度(受け入れ)
8 9	6/10 (木) 3,4限	黒木 貴島 川尻 高木	ユニット1-2 口腔衛生アセスメント3 初診患者の対応 口腔内診査：EPP・BOP・動揺度 (3人一組：術者1人目実施) 相互実習	1) 医療面接について理解する。 2) 健康調査票の記載法を理解する。 3) 口腔内情報（歯周組織検査）の収集法を理解する。 4) 検査結果の説明方法を理解する。	(1)必要な医療面接が実施できる。 (2)患者から収集した情報を、健康調査票に記録することができる。 (3)口腔内診査（歯周組織検査）を実施し、チャートに記録することができる。 (4)検査結果を患者に説明できる。	ユニット1-2の学修内容を確認する (予習1時間) 患者の口腔所見をまとめる (復習1時間)	認知(問題解決) 精神 運動(模倣) 態度(受け入れ)
10 11	6/11 (金) 3,4限	黒木 カ丸 森 高木	ユニット1-2 口腔衛生アセスメント3 初診患者の対応 口腔内診査：EPP・BOP・動揺度 (2人一組：術者2人目実施) 相互実習	1) 医療面接について理解する。 2) 健康調査票の記載法を理解する。 3) 口腔内情報（歯周組織検査）の収集法を理解する。 4) 検査結果の説明方法を理解する。	(1)必要な医療面接が実施できる。 (2)患者から収集した情報を、健康調査票に記録することができる。 (3)口腔内診査（歯周組織検査）を実施し、チャートに記録することができる。 (4)検査結果を患者に説明できる。	ユニット1-2の学修内容を確認する (予習1時間) 患者の口腔所見をまとめる (復習1時間)	認知(問題解決) 精神 運動(模倣) 態度(受け入れ)
12 13	6/16 (水) 1,2限	カ丸 泉 森 高木	ユニット1-2 口腔衛生アセスメント4 マネキン実習	1) 医療面接について理解する。 2) 健康調査票の記載法を理解する。 3) 口腔内情報（歯周組織検査）の収集法を理解する。 4) 検査結果の説明方法を理解する。	(1)必要な医療面接が実施できる。 (2)患者から収集した情報を、健康調査票に記録することができる。 (3)口腔内診査（歯周組織検査）を実施し、チャートに記録することができる。 (4)検査結果を患者に説明できる。	ユニット1-2の学修内容を確認する (予習1時間) 患者の口腔所見をまとめる (復習1時間)	認知(問題解決) 精神 運動(模倣) 態度(受け入れ)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
14 15	6/17 (木) 3,4限	カ丸 貴島 森 高木	ユニット3 口腔衛生アセスメン ト4 歯周組織の観察・記録 相互実習	1) 医療面接について理解する。 2) 健康調査票の記載法を理解する。 3) 口腔内情報（口腔内写真）の収集法を理解する。 4) 各種汚れの評価法を理解する。 5) 患者情報の整理法を理解する。	(1)必要な医療面接が実施できる。 (2)患者から収集した情報を、健康調査票に記録することができる。 (3)口腔内情報を口腔内写真（5枚法：正面観・側面観・咬合面観）により収集できる。 (4)ブランク付着状態をチャートに記録し、各種評価法を活用して数値化できる。 (5)これまでに収集した情報をまとめ、8つの歯科衛生ニーズに基づき整理できる。	予防処置実習Ⅱユニット2で学修した口腔内写真撮影の手順を振り返り、教科書1.のP166-168をまとめる（予習1時間） 収集した患者の情報を教科書1.のP106-108を参考にまとめる（復習1時間）	認知(問題解決) 精神 運動(模倣) 態度(受け入れ)
16 17	6/18 (金) 3,4限	カ丸 泉 森 高木	ユニット3 口腔衛生アセスメン ト4 歯周組織の観察・記録 相互実習	1) 医療面接について理解する。 2) 健康調査票の記載法を理解する。 3) 口腔内情報（口腔内写真）の収集法を理解する。 4) 各種汚れの評価法を理解する。 5) 患者情報の整理法を理解する。	(1)必要な医療面接が実施できる。 (2)患者から収集した情報を、健康調査票に記録することができる。 (3)口腔内情報を口腔内写真（5枚法：正面観・側面観・咬合面観）により収集できる。 (4)ブランク付着状態をチャートに記録し、各種評価法を活用して数値化できる。 (5)これまでに収集した情報をまとめ、8つの歯科衛生ニーズに基づき整理できる。	予防処置実習Ⅱユニット2で学修した口腔内写真撮影の手順を振り返り、教科書1.のP166-168をまとめる（予習1時間） 収集した患者の情報を教科書1.のP106-108を参考にまとめる（復習1時間）	認知(問題解決) 精神 運動(模倣) 態度(受け入れ)
18	7/26 (月) 1限	黒木	ユニット3 口腔衛生アセスメン ト5 カルテの情報整理	1) 医療面接について理解する。 2) 健康調査票の記載法を理解する。 3) 口腔内情報（口腔内写真）の収集法を理解する。 4) 各種汚れの評価法を理解する。 5) 患者情報の整理法を理解する。	(1)必要な医療面接が実施できる。 (2)患者から収集した情報を、健康調査票に記録することができる。 (3)口腔内情報を口腔内写真（5枚法：正面観・側面観・咬合面観）により収集できる。 (4)ブランク付着状態をチャートに記録し、各種評価法を活用して数値化できる。 (5)これまでに収集した情報をまとめ、8つの歯科衛生ニーズに基づき整理できる。	予防処置実習Ⅱユニット2で学修した口腔内写真撮影の手順を振り返り、教科書1.のP166-168をまとめる（予習1時間） 収集した患者の情報を教科書1.のP106-108を参考にまとめる（復習1時間）	認知(問題解決) 精神 運動(模倣) 態度(受け入れ)
19 20	7/28 (水)	黒木 川尻	ユニット4 口腔衛生アセスメン ト4 まとめ：情報の解釈・分析 術前・術後の比較と評価（カルテ整理） 講義・演習	1) これまでに収集した情報の分析法を理解する。	(1)8つの歯科衛生ニーズに基づき整理した情報を分析し、発表することができる。	発表資料をまとめる（復習1時間）	認知(問題解決) 精神 運動(模倣) 態度(受け入れ)

歯科予防処置実習Ⅳ

開講時期： 2 年次前期
 授業時間数： 40 コマ ; 80 時間 2 単位
 受験資格要件： 4/5 (32 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH021226
 評価責任者： 黒木 まどか
 担当教員： 堀部 晴美、後藤加寿子
 石井 綾子、南 レイラ
 川尻 望 、黒木まどか
 力丸 哲也、松尾 忠行
 泉 喜和子、貴島 聡子
 森 沙耶香、高木未沙稀

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として多様な対象者のQOL向上支援を、根拠や理論に基づく論理的な分析・考察を通して実施するために必要な歯科予防処置の知識や技術を修得する。また、歯科医療に携わる専門職の自覚と倫理観を、口腔保健管理を実践するために必要な態度として修得する。

2. 教育方法

講義・演習を行う。大学病院、歯科医院において、歯科衛生士および歯科医師として患者の口腔保健管理に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取る。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。レポート課題は、締め切り期日を守る。授業は定刻に始まるので遅刻は欠席になる。本授業を理解する上で、口腔解剖学、口腔生理学、歯科予防処置論Ⅰ・実習Ⅰ、保健指導論Ⅰ・実習Ⅰの知識が必要であり、本授業は歯周病治療学、歯科予防処置論Ⅱ・実習Ⅲ・実習Ⅴの理解、歯科保健指導論Ⅱ・実習Ⅱ実習Ⅲに不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：40時間】

5. 評価

〔形式的評価〕レポート、ミニテスト

〔フィードバック〕レポートは、不十分な部分についてコメントを行う。場合によっては再提出を求める。

ミニテストは次の回の講義時に答案を返却し、模範解答を示す。

〔総括的評価〕記述試験（70%）、ミニテスト（20%：ユニット2）、

授業参加状況（発問・質疑・グループワークでの発言や協力等授業への貢献度）（10%）

〔フィードバック〕以上を総合的に評価し、定期試験終了後に掲示する。

尚、詳細は各ユニットの初日に説明する。

6. 教科書

- 『最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論』医歯薬出版 第2版 2020
- 『新・歯科衛生士教育マニュアル 歯周病学』クインテッセンス出版 2011
- 『最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論第2版』医歯薬出版 2017

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 復習項目 必要時間	教育 目標 領域
1	課題	南	ユニット 1 使用器材・器具の取り扱いと操作法 ～相互実習前の復習～ (バキューム操作等含む)	1) 滅菌器材の取り扱いを理解できる。 2) ポジショニングを理解できる。 3) バキュームの基本操作が実施できる。	(1) 滅菌器材を正しく用いることができる。 (2) 術者・補助者・患者についてポジショニングを正しく設定できる。 (3) 患者に配慮したバキューム操作が実施できる。	教科書3の「共同動作P63-77」を精読する。 予習0.5時間・復習0.5時間×2	認知 (解釈) 情意 (受入) 精神運動 (コントロール)
2			実習				

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 復習項目 必要時間	教育 目標 領域
3 4	課題	黒木	ユニット3 スケーリング相互7 (部位：上顎全顎) (3人組：1人目) 実習	1) スケーリングが実施できる。 2) 口腔内状況に応じた しか患者指導ができる。	(1) 歯肉や歯石の状態に合わせてスケーラーを選択し、安全なスケーリング操作を実施できる。 (2) 部位に合わせた適切なポジショニングをとることができる。 (3) スケーリング時に起こりうる不快事項とその予防法を説明できる。 (4) 口腔アセスメントを実施し、記録できる。	教科書1の「スケーラーの基本操作P183-199」「アセスメント項目P119-151」、教科書2の「歯周病の診断と治療の進め方P100-103」、「スケーリングとルートプレーニング 116-118」を精読する。 教科書2の「歯周病の予防と歯周病の原因P32-57」を参照し、患者指導案をまとめる。 予習0.5時間・復習0.5時間×12	認知 (解釈) 情意 (反応) 精神運動 (コントロール)
5 6	課題	黒木	ユニット3 スケーリング相互8 (部位：上顎全顎) (3人組：2人目) 実習				
7 8	課題	黒木	ユニット3 スケーリング相互9 (部位：上顎全顎) (3人組：3人目) 実習				
9 10	5/21 (金) 3,4限	後藤 石井 泉 高木	ユニット 2 口腔衛生アセスメント1 歯の観察・記録 講義・演習	1) 歯の検査方法について理解する。 2) 歯の本数、修復物、補綴装置の状況を理解する。	(1) 歯周病のリスクを判断することができる。 (2) 口腔内写真から、歯の本数、修復物、補綴装置の状況を正確に記録することができる。	教科書1の「口腔内の情報収集P82-115」を精読する。 予習0.5時間・復習0.5時間×2	認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
11 12	6/16 (水) 3限 4限	黒木 森 高木 永田	ユニット 3 スケーリング相互実 習前オリエンテーシ ョン1 講義 実習	1) スケーリング操作を理解する。 2) 口腔内の観察項目とポイントを理解する。 3) 歯周治療の流れを理解する。	(1) スケーリング操作の手順を説明できる。 (2) スケーリング時に起こりうる不快事項とその予防法を説明できる。 (3) 口腔のアセスメント項目を列挙できる。 (4) 歯周治療の流れを説明できる。	教科書1の「スケーラーの基本操作P183-199」「アセスメント項目P119-151」、教科書2の「歯周病の診断と治療の進め方P100-103」、「スケーリングとルートプレーニング 116-118」を精読する。 予習0.5時間・復習0.5時間×2	認知 (解釈) 情意 (反応) 精神運動 (模倣)
13 14	6/25 (金) 3,4限	黒木 川尻 高木 永田	ユニット3 スケーリング相互1 (部位：31-38) (3人組：1人目) 実習	1) スケーリングが実施できる。 2) 口腔内状況に応じた しか患者指導ができる。	(1) 歯肉や歯石の状態に合わせてスケーラーを選択し、安全なスケーリング操作を実施できる。 (2) 部位に合わせた適切なポジショニングをとることができる。 (3) スケーリング時に起こりうる不快事項とその予防法を説明できる。 (4) 口腔アセスメントを実施し、記録できる。	教科書1の「スケーラーの基本操作P183-199」「アセスメント項目P119-151」、教科書2の「歯周病の診断と治療の進め方P100-103」、「スケーリングとルートプレーニング 116-118」を精読する。 教科書2の「歯周病の予防と歯周病の原因P32-57」を参照し、患者指導案をまとめる。 予習0.5時間・復習0.5時間×6	認知 (解釈) 情意 (反応) 精神運動 (コントロール)
15 16	6/30 (水) 3,4限	黒木 川尻 高木 永田	ユニット3 スケーリング相互2 (部位：31-38) (3人組：2人目) 実習				
17 18	7/1 (木) 3,4限	黒木 川尻 高木 永田	ユニット3 スケーリング相互3 (部位：31-38) (3人組：3人目) 実習				
19 20	7/2 (金) 3,4限	黒木 川尻 高木 永田	ユニット3 スケーリング相互4 (部位：41-48) (3人組：1人目) 実習				
21 22	7/7 (水) 3,4限	黒木 川尻 高木 永田	ユニット3 スケーリング相互5 (部位：41-48) (3人組：2人目) 実習	1) スケーリングが実施できる。 2) 口腔内状況に応じた しか患者指導ができる。	(1) 歯肉や歯石の状態に合わせてスケーラーを選択し、安全なスケーリング操作を実施できる。 (2) 部位に合わせた適切なポジショニングをとることができる。 (3) スケーリング時に起こりうる不快事項とその予防法を説明できる。 (4) 口腔アセスメントを実施し、記録できる。	教科書1の「スケーラーの基本操作P183-199」「アセスメント項目P119-151」、教科書2の「歯周病の診断と治療の進め方P100-103」、「スケーリングとルートプレーニング 116-118」を精読する。 教科書2の「歯周病の予防と歯周病の原因P32-57」を参照し、患者指導案をまとめる。 予習0.5時間・復習0.5時間×12	認知 (解釈) 情意 (反応) 精神運動 (コントロール)
23 24	7/8 (木) 3,4限	黒木 森 高木 永田	ユニット3 スケーリング相互6 (部位：41-48) (3人組：3人目) 実習				

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 復習項目 必要時間	教育 目標 領域
25	A:7/9 (金) 3,4限	A 黒木 川尻 高木 永田	ユニット3 スケーリング ルートプレーニング	1) スケーリング・ルートプレーニング(SRP)について理解する。	(1) SRP前の口腔内の観察と留意点を述べることができる。 (2) SRPの基本を説明できる。 (3) マネキンでSRPの基本操作ができる。	教科書1の「スケーラーの基本操作P183-199」「アセスメント項目P119-151」、教科書2の「歯周病の診断と治療の進め方P100-103」、「スケーリングとルートプレーニング116-118」を精読する。 予習0.5時間・復習0.5時間×2	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
26	B:7/14 (水) 3,4限	B 黒木 森 高木 永田	実習				
27	7/12 (月) 1限	川尻	ユニット4 歯面研磨・歯面清掃 講義	1) 歯面研磨について理解できる。	(1) 歯面研磨・歯面清掃の目的と特徴を説明できる。 (2) 歯面研磨・歯面清掃の有用性を説明できる。 (3) 歯面研磨・歯面清掃の手順が説明できる。	教科書1の「歯面研磨P218-223」を精読する。 予習0.5時間・復習0.5時間×1	認知 (想起) 情意 (受入)
28	7/15 (木) 3,4限	川尻 貴島 森 高木	ユニット4 歯面研磨・歯面清掃 (マネキン実習)	1) 歯面研磨・歯面清掃が実施できる。	(1) 歯面研磨・歯面清掃を行う器材を選択できる。 (2) 歯面研磨・歯面清掃方法を選択し、実施できる。	教科書1の「歯面研磨P218-223」を精読する 第25回の講義で配布した授業プリントを復習する 予習0.5時間・復習0.5時間×6	認知 (解釈) 情意 (反応) 精神運動 (模倣)
29			実習				
30	7/16 (金) 3,4限	川尻 黒木 森 高木	ユニット4 歯面研磨・歯面清掃 (2人一組:1人目 相互実習)				
31			実習				
32	7/21 (水) 3,4限	川尻 貴島 森 高木	ユニット4 歯面研磨・歯面清掃 (2人一組:2人目 相互実習)				
33			実習				
34	7/14 (水) 4限	川尻	ユニット5 シャープニング 講義	1) シャープニングについて理解できる。	(1) シャープニングの原則および目的を説明できる。 (2) シャープニングする各種スケーラーの形態と名称を説明できる。 (3) 砥石を説明できる。	1年前後期に学習したスケーラーの形態について、授業で配布されたプリントを復習する。 教科書1の「シャープニングP200-206」を精読する 予習0.5時間・復習0.5時間×1	認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
35	7/26 (月) 3,4限	川尻 貴島 森 高木	ユニット5 シャープニング2 シクルスケーラー 実習	1) シャープニングが実施できる。	(1) シクルスケーラーのシャープニングが実施できる。	第32回の講義で配布した講義プリントを復習する 予習0.5時間・復習0.5時間×4	認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
36							
37	8/2 (月) 3,4限	川尻 森 高木 永田	ユニット5 シャープニング3 キュレットスケーラー 実習	1) シャープニングが実施できる。	(1) キュレットスケーラーのシャープニングが実施できる。		
38							
39	8/4 (水) 3,4限	石井 後藤 高木	ユニット6-2 口腔内情報まとめ 発表	1) ユニット6-1でまとめた改善計画が発表できる。	(1) スケーリング前・後の口腔内の状況を比較し、説明できる。 (2) 歯周病のリスクを判断し、立案した改善計画の説明ができる。	教科書1の「歯科衛生過程P62-74」「歯周病介入の症例P305-310」を精読し、情報を整理し介入計画をまとめる 予習0.5時間・復習0.5時間×2	認知 (解釈) 情意 (反応) 精神運動 (コントロール)
40					授業評価アンケート実施		

歯科予防処置実習Ⅴ

開講時期： 2 年次後期
 授業時間数： 20 コマ；40 時間 1 単位
 受験資格要件： 4/5（16 コマ）以上の出席
 科目番号： DH021227
 評価責任者： 川尻 望
 担当者： 黒木まどか、森 沙耶香
 川尻 望

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するために必要な齲蝕予防法や歯周病予防法に関する知識や技術および態度、ならびに論理的思考の基礎を修得する。

2. 教育方法

実習を行う。

医療機関において歯科医師あるいは歯科衛生士として診療に携わった実務経験を活かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、PC、プロジェクター、各種実習器材

4. 学修方法

授業には、該当する指定の教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。実習中は、重要点など記録をすること。授業後は、アクティブラーニングとして事後学習（復習）を行い、技術を修得すること。教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。レポート課題は、締め切り期日を守ること。

本授業を理解する上で、保存修復学、歯周病治療学、口腔衛生学、口腔解剖学等の知識が必要であり、本授業は歯科予防処置実習、歯科診療補助実習、歯科保健指導実習の理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：20 時間】

5. 評価

【形成的評価】レポート・小テスト

【フィードバック】不十分な部分についてコメントを行う。場合によっては再提出を求める。

【総括的評価】記述試験（70%）・レポート（10%）・小テスト（10%）・授業参加状況（発問・質疑等授業への貢献度）（10%）

【フィードバック】以上を総合的に評価し、試験終了後に掲示する。

なお、詳細は各ユニット初日に説明する。

レポートは、ユニット1とユニット2にて課題を与える。ユニット2では、術式の小テストを行う。

6. 教科書

1. 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版 第2版 2020

7. 参考書

1. 新・歯科衛生士教育マニュアル 歯周病学 第2版 クインテッセンス出版 2020

2. 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 医歯薬出版 2017

3. 口腔衛生学-口腔保健統計を含む-第4版 学建書院 2020

4. 最新歯科衛生士教本 「小児歯科」 2019

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育 目標 領域
1	A： 10/13 (水) 1,2限	川尻 堀部 高木	ユニット1 超音波・エアスケーラーの準備、取り扱い (2人一組) 実習	1) 超音波スケーラーとエアスケーラーの準備と取り扱いができる。	(1) 超音波スケーラーの準備ができる。 (2) マネキン模型上で、超音波スケーラーを安全に操作できる。 (3) エアスケーラーの準備ができる。 (4) マネキン模型上で、エアスケーラーを安全に操作できる。	歯科予防処置論Ⅱ第2回目の講義で学習した内容を復習する 1時間	精神 運動 (模倣)
2	B： 10/15 (金) 1,2限						

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項 目と必要時 間	教育 目標 領域
3	A : 10/25 (月) 3,4限	川尻 力丸 堀部 高木	ユニット1 超音波・エアスケ ーラーを用いたス ケーリング操作 (3人一組 : 1人目) 実習	1) 超音波スケーラーと エアスケーラーを安全 に操作できる。	(1) 超音波スケーラーの準備ができる。 (2) 口腔内で、超音波スケーラーを安全に操作 できる。 (3) エアスケーラーの準備ができる。 (4) 口腔内で、エアスケーラーを安全に操作で きる。 (5) スケーリング後の患者説明ができる。	歯科予防処 置論Ⅱ第2 回目の講義 で学習した 内容を復習 する 1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (コント ロール)
4	B : 10/26 (火) 1,2限	川尻 力丸 黒木 高木					
5	A : 10/28 (木) 1,2限	川尻 力丸 森 高木	ユニット1 超音波・エアスケ ーラーを用いたス ケーリング操作 (3人一組 : 2人目) 実習	1) 超音波スケーラーと エアスケーラーを安全 に操作できる。	(1) 超音波スケーラーの準備ができる。 (2) 口腔内で、超音波スケーラーを安全に操作 できる。 (3) エアスケーラーの準備ができる。 (4) 口腔内で、エアスケーラーを安全に操作で きる。 (5) スケーリング後の患者説明ができる。	歯科予防処 置論Ⅱ第2 回目の講義 で学習した 内容を復習 する 1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (コント ロール)
6	B : 10/29 (金) 1,2限	川尻 黒木 森 高木					
7	A : 11/1 (月) 3,4限	川尻 力丸 黒木 高木	ユニット1 超音波・エアスケ ーラーを用いたス ケーリング操作 (3人一組 : 3人目) 実習	1) 超音波スケーラーと エアスケーラーを安全 に操作できる。	(1) 超音波スケーラーの準備ができる。 (2) 口腔内で、超音波スケーラーを安全に操作 できる。 (3) エアスケーラーの準備ができる。 (4) 口腔内で、エアスケーラーを安全に操作で きる。 (5) スケーリング後の患者説明ができる。	歯科予防処 置論Ⅱ第2 回目の講義 で学習した 内容を復習 する 1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (コント ロール)
8	B : 11/11 (木) 3,4限						
9	A : 12/1 (水) 1,2限	黒木 森 高木	ユニット2 PMTC① (マネキン) 実習	1) PMTCが実施できる。	(1) PMTCに必要な器具や材料が準備できる。 (2) 口腔内で、PMTCが安全に実施できる。 (3) PMTC後の手順が説明できる。	教科書1.の P223-228 を精読する 1時間	精神 運動 (模倣)
10	B : 12/3 (金) 1,2限	黒木 川尻 高木					
11	12/8 (水) 1,2限	黒木 川尻 森 高木	ユニット2 PMTC② 実習	1) PMTCが実施できる。	(1) PMTCに必要な器具や材料が準備できる。 (2) 口腔内で、PMTCが安全に実施できる。 (3) PMTC後の手順が説明できる。 (4) PMTC後の患者説明ができる。	教科書1.の P223-228 を精読する 1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (コント ロール)
12							
13	12/9 (木) 1,2限	黒木 森 川尻 高木	ユニット2 PMTC③ 実習	1) PMTCが実施できる。	(1) PMTCに必要な器具や材料が準備できる。 (2) 口腔内で、PMTCが安全に実施できる。 (3) PMTC後の手順が説明できる。 (4) PMTC後の患者説明ができる。	教科書1.の P223-228 を精読する 1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (コント ロール)
14							
15	12/10 (金) 1,2限	黒木 森 川尻 高木	ユニット2 PMTC④ 実習	1) PMTCが実施できる。	(1) PMTCに必要な器具や材料が準備できる。 (2) 口腔内で、PMTCが安全に実施できる。 (3) PMTC後の手順が説明できる。 (4) PMTC後の患者説明ができる。	教科書1.の P178-181 を精読する 1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (コント ロール)
16							
17	A : 1/13 (木) 1,2限	森 石井 川尻 高木	ユニット3 シーラント前 ラバーダム相互実 習 (対象歯の選択) 実習	1) シーラントの対象歯を 選択できる。 2) ラバーダム防湿法が実 施できる。	(1) 患者の口腔内において、シーラントの対象 歯を選択できる。 (2) シーラント対象歯において、ラバーダム防 湿法を安全に実施できる。	歯科診療補 助論Ⅱの第 8回目の講 義で配布さ れたプリン トを精読す る 1時間	精神 運動 (自動化)
18	B : 1/14 (金) 1,2限						
19	A : 1/19 (水) 1,2限	川尻 泉 石井 森 高木	ユニット3 シーラント 実習	1) 小窩裂溝填塞法が実 施できる。	(1) 患者に対し、小窩裂溝填塞法の事前説明が 実施できる。 (2) 小窩裂溝填塞法に必要な器具や材料が準備 できる。 (3) 小窩裂溝填塞法を安全に実施できる。 (4) 小窩裂溝填塞後に患者説明ができる。	教科書1.の P200-205、 教科書5.の P123-127 を精読する 1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (コント ロール)
20	B : 1/20 (木) 1,2限	川尻 後藤 石井 森 高木					

歯科保健指導論Ⅰ

開講時期： 2 年次前期
授業時間数： 10 コマ；20 時間 1 単位
受験資格要件： 2/3（7 コマ）以上の出席
科目番号： DH021231
評価責任者： 石井綾子
授業担当者： 松尾忠行、石井綾子、高木未沙稀

1. 一般目標

地域口腔保健活動を実施する中で対象者の生活の質（QOL）の向上を目的として、個人や特定の小集団が抱える問題を発見、解決するための知識を修得する。

2. 教育方法

講義・演習、相互学習・グループワーク等のアクティブ・ラーニングを行う。

医療機関において歯科衛生士・歯科医師として地域保健活動に関わった実務経験を生かした基礎教育並びに実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業を受講するに当たり、下記予習項目に記載の学修を行うこと。また、授業後は、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。事前・事後学修（予習・復習）を怠らず、また、授業中は真摯に臨み、理解できないことはその場で質問を行い解決すること。相互学習やグループワーク、症例検討等のアクティブラーニングについては、グループで協力して資料を作成し、発表に備えること。レポート課題を提示された場合には、期日までに仕上げる。

授業には、教科書と配布プリントを必ず持参すること。

本科目は他の主要3科目や関連科目で学習したことがベースとなるので、事前に理解を深めておくことが必要となる。準備学習を行うことにより他の科目との関連性を理解し、本科目に興味を持ち意欲的に取り組んでくれることを期待する。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：10時間】

5. 評価

[形成的評価]ミニテスト・レポート

[フィードバック]不十分な箇所にはコメントを加え、再提出を求める場合もある。

基本的にミニテストは、前回学修した内容の復習、または、講義内容の確認として授業開始直後・終了直前に実施する。

内容の振り返りは、その時間、または、次の回の講義時に答案の返却で行う。

[総括的評価]記述試験（75%）、ミニテスト・レポート（10%）、授業参加状況（予習・復習の実施状況含む）（15%）

[フィードバック] 総括的評価の結果（成績）は掲示する。

6. 教科書

1. 全国歯科衛生士教育協議会 監修 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 医歯薬出版 2020
2. 全国歯科衛生士教育協議会 監修 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 第2版 医歯薬出版 2019
3. 全国歯科衛生士教育協議会 監修 歯科衛生士テキスト 保健生態学 第3版 医歯薬出版 2019
4. 荒川浩久他 歯科衛生士テキスト 「口腔衛生学」 第4版

7. 参考書

1. 歯科衛生士国試対策研究会編 歯科衛生士国試対策集 2021年対応 クインテッセンス出版 2020
2. 全国歯科衛生士教育協議会 監修 歯科衛生学辞典 永末書店 2019

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	5/24 (月) 1限	松尾	オリエンテーション ユニット1-1 地域口腔保健活動 (集団対象)の基礎 知識1 講義	1) 地域口腔保健活動の変遷について理解する。	(1)地域保健の考え方の変遷について述べることができる。 ・プライマリーヘルスケア、ヘルスプロモーション、ノーマライゼーションなど (2)地域保健を担う組織の仕組みを述べることができる。 (3)地域口腔保健活動の目標について述べることができる。	教科書3. P216-231、 教科書4. P 141-148、 152-153、 160-163、 を精読し、プ ライマリー ヘルスケア、 ヘルスプロ モーション、 ノーマライ ゼーション についてま とめる。 事前学修 1時間	認知 (想起)
2	5/26 (水) 1限	松尾	ユニット1-2 地域口腔保健活動 (集団対象)の基礎 知識2 講義	2) 地域口腔保健活動の対象と地域の特性について理解する。 3) 地域口腔保健活動の対象者と現場で果たす歯科衛生士の役割を理解する。 4) 健康教育の進め方を理解する。	(1)地域口腔保健における健康教育の概要を述べる ことができる。 (2)地域口腔保健活動の進め方を述べる ことができる。 (3)地域口腔保健活動と関連法規を述べる ことができる。 (1)対象者の特性、ニーズの把握を踏まえた健康 教育の進め方について述べる ことができる。 (2)地域口腔保健活動で果たす歯科衛生士の役割 を述べる ことができる。 (1)PDCAサイクルについて以下の項目について 述べる ことができる。 ・目標と計画の立案 ・実施と評価、改善	教科書1. P390-412 教科書3. P232-247、 教科書4. P148-151 を精読し、 PDCAサイ クル、「健康 日本21」(第 2次)の6分 野について 調べる。 事前学修 1時間	認知 (想起)
3	5/26 (水) 2限	石井	ユニット2 歯科保健指導技術 (個人対象)の理 解 講義	1) 歯科保健行動への支援、並びに対象の把握と予防管理を理解する。 2) 健康教育の方法を理解する。	(1)オーラルセルフケアを成功させる方法として 以下の項目について説明できる。 ・ブラークコントロールプログラムの活用 ・指導型健康教育と学習援助型健康教育の違い ・プリシード/プロシードモデルの基本的特徴 (1)教育の方法と活用媒体について分類できる。 ・話の組み立て、媒体の活用、話法	教科書2 P1-22を精 読し、指導型 健康教育と 学習援助型 健康教育の 手法につい て調べる。 事前学修 1時間	認知 (想起)
4	5/28 (金) 3限	石井	ユニット3 歯科衛生教育活動 の現場の理解1 講義	1) 保健所、地域保健センターにおける歯科衛生士の役割を理解する。	(1)母子歯科保健の意義と歯科衛生士の果たす役 割として以下の項目について説明できる。 ・妊産婦健診における歯科の役割 ・妊産婦の特性 ・乳幼児健診における歯科の役割 ・乳幼児の特性	教科書3. P248-262、 教科書4. P164-173 を精読し、 1.6歳児、3 歳児のう蝕 罹患型の分 類と各指導 内容を調べ る。 事前学修 1時間	認知 (想起)
5	5/28 (金) 4限	石井	ユニット4-1 各ライフステージ 別の口腔保健管理 1 講義	1) 妊産婦期・新生児期における口腔保健管理について理解する。	(1)妊産婦期・新生児期における口腔保健管理と して以下の項目について説明できる。 ・一般的特徴と口腔の特徴 ・望ましい歯科保健行動 ・プロフェッショナルケアの目標 ・セルフケアの目標 ・食生活の特徴と指導	教科書1. P304-332 を精読し、妊 産婦期・新生 児期の口腔 の特徴と望 ましい歯科 保健行動に ついてまと める。 事前学修 1時間	認知 (解釈)
6	6/2 (水) 1限	石井	ユニット4-2 各ライフステージ 別の口腔保健管理 2 講義	2) 乳児期・幼児期における口腔保健管理について理解する。	(1)乳児期・幼児期における口腔保健管理として 以下の項目について説明できる。 ・一般的特徴と口腔の特徴 ・望ましい歯科保健行動 ・プロフェッショナルケアの目標 ・セルフケアの目標 ・食生活の特徴と指導	教科書1. P304-332 を精読し、乳 児期・幼児期 の口腔の特 徴と望まし い歯科保健 行動につい てまとめる。 事前学修 1時間	認知 (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
7	6/2 (水) 2限	石井	ユニット4-3 各ライフステージ 別の口腔保健管理 3 講義	3) 学童期・青年期における口腔保健管理について理解する。	(1) 学童期・青年期における口腔保健管理について説明できる ・一般的特徴と口腔の特徴 ・望ましい歯科保健行動 ・プロフェッショナルケアの目標 ・セルフケアの目標 ・食生活の特徴と指導	教科書 1、 P304-332 を精読し、学 童期・青年期 の口腔の特 徴と望まし い歯科保健 行動につい てまとめる。 事前学修 1時間	認知 (解釈)
8 9	6/30 (水) 1,2限	石井	ユニット4-4 対象者把握と理解 講義・演習、 相互学習	1) 対象者が抱える問題を理解する 2) 対象者に応じた支援法を修得する。	(1) 対象者が抱える問題を示すことができる。 (2) 対象者に合わせたコミュニケーションができる。 (3) 対象者に合わせたモチベーションを与えることができる。 (4) 媒体を活用し、対象者に合わせた支援ができる。	ユニット4- 1、2、3の対 象者が抱え る問題点を 抽出する。 事前学修 1時間 抽出した問 題点に対す る支援策を 考える。 (宿題) 事後学修 1時間	認知 (問題 解決) 態度 (受け 入れ)
10	8/4 (水) 2限	石井	ユニット4-5 各ライフステージ 別の口腔保健管理 のまとめ4 演習、 グループワーク	1) 対象者に合わせた支援を示す。	(1) 各ライフステージにおける対象者に合わせた支援法を実際に例示することができる。 ・妊産婦並びに新生児 ・乳幼児 ・学童(低学年) ・学童(高学年) 【授業アンケートの実施】	4症例の評 価をまとめ 提出する。 (宿題) 事後学修 1時間	認知 (問題 解決) 態度 (反応)

歯科保健指導論Ⅱ

開講時期： 2 年次後期
授業時間数： 9 コマ；18 時間 1 単位
受験資格要件： 2/3（6 コマ）以上の出席
科目番号： DH021232
評価責任者： 貴島聡子
授業担当者： 堀部晴美・カ丸哲也・松尾忠行・
泉喜和子・後藤加寿子・貴島聡子・
黒木まどか・石井綾子・南レイラ・
川尻 望・森沙耶香・、高木未沙稀

1. 一般目標

各ライフステージの特徴と生活習慣を把握し、その対象者が抱える問題について科学的思考をもって解決を図り、望ましい歯科保健行動に導くための手法として歯科衛生過程を学ぶ。また、口腔保健管理の実施記録（歯科衛生業務記録）の記載を修得する。

2. 教育方法

講義・演習、相互学習・グループワーク等のアクティブ・ラーニングを行う。

医療機関において歯科衛生士・歯科医師として地域保健活動に関わった実務経験を生かした基礎教育並びに実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業を受講するに当たり、下記予習項目に記載の学修を行うこと。また、授業後は、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。事前・事後学修（予習・復習）を怠らず、また、授業中は真摯に臨み、理解できないことはその場で質問を行い解決すること。相互学習やグループワーク、症例検討等のアクティブラーニングについては、グループで協力して資料を作成し、発表に備えること。レポート課題を提示された場合には、期日までに仕上げる。

授業には、教科書と配布プリントを必ず持参すること。

本科目は他の主要3科目や関連科目で学習したことがベースとなるので、事前に理解を深めておくことが必要となる。準備学習を行うことにより他の科目との関連性を理解し、本科目に興味を持ち意欲的に取り組んでくれることを期待する。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：9時間】

5. 評価

形成的評価：ミニテスト・レポート

フィードバック：不十分な箇所にはコメントを加え、再提出を求める場合もある。

基本的にミニテストは、前回学修した内容の復習、または、講義内容の確認として授業開始直後・終了直前に実施する。

内容の振り返りは、その時間、または、次の回の講義時に答案の返却で行う。

総括的評価：記述試験（75%）、ミニテスト・レポート（10%）、授業参加状況（予習・復習の実施状況含む）（15%）

フィードバック：総括的評価の結果（成績）は掲示する。

6. 教科書

1. 全国歯科衛生士教育協議会 監修 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 医歯薬出版 2020
2. 全国歯科衛生士教育協議会 監修 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 第2版 医歯薬出版 2018
3. 荒川浩久他 歯科衛生士テキスト「口腔衛生学」 第4版

7. 参考書

1. 歯科衛生士国試対策研究会編 歯科衛生士国試対策集 クインテッセンス出版 2021
2. 全国歯科衛生士教育協議会 監修 歯科衛生学辞典 永末書店 2019

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/27 (月) 3限	堀部 貴島 川尻 森	ユニット1-1 歯科衛生過程1 歯科衛生アセスメント	1) 歯科衛生過程に必要な情報を収集し、問題点を抽出する。	(1)相互実習で収集した情報から問題点を抽出することができる。 ・主観的情報と客観的情報 ・研究用模型、口腔内写真 ・口腔内の状況（歯式、EPP値、BOP値、PCR値、う蝕のリスク判定など）	教科書1. P77-129を参考に、収集した情報から問題点を抽出する。 長期目標と短期目標の違い、タイプ別診断について調べる。 事前学修 1時間 友達の情報から診断、目標の設定、計画を立案し、指導案を作成する。 (宿題) 事後学修 1時間	認知 (解釈) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
2	9/28 (火) 2限	堀部 貴島 川尻	ユニット1-2 歯科衛生過程2 歯科衛生診断、計画立案 講義・演習	2) 歯科衛生過程における診断・計画立案の手法について理解する。	(1)抽出した問題点を分析し、タイプ別診断による優先順位をつける。 ・実存型 ・リスク型 ・ヘルスプロモーション型 (2)診断から対象者の現状に沿った目標と計画を立案することができる。 ・長期目標、短期目標の設定 ・ケア計画、教育計画、観察計画		
3	10/7 (木) 3限	堀部 貴島 川尻 森	ユニット1-3 歯科衛生過程3 介入と評価 講義・演習	3) 介入結果から歯科衛生過程を評価する。 4) 評価の結果から目標、計画の立て直し、または目標、計画のステップアップを図る。	(1)介入した結果から立案した計画の妥当性を評価する。 家庭における自己介入の結果から評価する。 ・生活習慣の改善 ・PCR値の比較 ・短期目標、長期目標の達成状況 (1) 新たな目標の設定並びに計画の立案をすることができる。	モデルケース1（歯周疾患の管理）によるアセスメントから介入計画まで立案する。 (宿題) 事後学修 1時間	認知 (解釈) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
4	10/7 (木) 4限	堀部 貴島 川尻 森	ユニット1-4 歯科医療保険制度における歯科衛生介入の位置づけ 講義・演習 グループワーク	1) 歯科医療保険制度における歯科衛生介入について理解する。	(1) モデルケースを基に歯科衛生過程に沿った記録の記載ができる。 ・SOAPを活用した書面化 (2)モデルケース2（う蝕・歯周病の管理）による衛生過程の介入計画が作成できる。 ・アセスメントから介入計画まで立案する。	モデルケース1による保健指導案を作成する。 事前学修 0.5時間 モデルケース2による保健指導案を作成する。 (宿題) 事後学修 0.5時間	認知 (解釈) 情意 (反応) 精神運動 (模倣)
5	10/21 (木) 1限	石井	ユニット2 健康教育の手法 講義・演習 グループワーク 討論	1) 幼児・学童を対象とした集団に対する健康教育の手法を理解する。	(1)幼児・学童を対象とした集団に対する健康教育の内容を評価し、改善することができる。	幼児・学童を対象とした健康教育の改善を図る。 (宿題) 事後学修 1時間	認知 (問題解決) 情意 (反応) 精神運動 (コントロール)
6	12/6 (月) 2限	堀部 貴島 高木	ユニット1-5 歯科衛生過程における事例検討 講義・演習 グループワーク 討論	1) モデルケースから歯科衛生過程について検討する。	(1) 12/2(月)2限の歯科予防処置論で提示されたモデルケースを基に、歯科衛生過程のプレゼンテーションが作成できる。 ・口腔内の状況 ・望ましい歯科保健行動 ・セルフケアの目標 ・プロフェッショナルケアの目標 ・家庭での療養管理指導	モデルケースを基にアセスメントから介入計画まで立案する。 事前学修 1時間	認知 (解釈) 情意 (反応) 精神運動 (コントロール)
7 8	12/14 (火) 1,2限	堀部 高木	ユニット1-6 歯科衛生過程における事例発表 講義・演習 グループワーク 討論	1) モデルケースから歯科衛生過程について検討した内容を発表する。	(1) 検討した内容の発表ができる。 (2) 他者が発表した内容を評価し、アドバイスができる。 (ルーブリック等の評価用紙を活用して自己・他者を評価する。) (2) 他者からのアドバイスを参考にモデルケースの発表内容の改善が図れる。	モデルケースの発表内容を改善する。 (宿題) 事後学修 1時間	認知 (問題解決) 情意 (反応) 精神運動 (自動化)
9	1/13 (木) 4限	堀部	ユニット1-7 歯科衛生過程まとめ 講義・演習 グループワーク 討論	1) モデルケースの改善内容を検討する。	(1) モデルケースの改善内容を改めて評価することができる。 【授業アンケートの実施】	モデルケースの最終手直しを図る。 事前学修 1時間	認知 (問題解決) 情意 (反応) 精神運動 (自動化)

栄養学

開講時期： 2 年次前期
 授業時間数： 15 コマ；30 時間
 1 単位
 受験資格要件： 2/3（10 コマ）以上の出席
 科目番号： DH021233
 評価責任者： 中園栄里
 授業担当者： 中園栄里

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として対象者の生活の質（QOL）の向上ために、基本的な栄養学の知識と食事摂取基準や食生活に関連した制度を理論的に分析・考察する能力を修得する。

2. 教育方法

講義・演習

3. 教育教材

教科書、プリント、PC+プロジェクター、DVD。

4. 学修方法

授業は求められた予習項目を予習していることを前提に開始するので、授業開始までに予習しておくこと。先生の話している内容で、重要と思うことについてはできる限りメモすること。理解できないことについては質問すること。レポート課題は締切期日を守ること。本授業を理解する上で、口腔生化学の知識が必要であり、本授業は食育の理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価方法

〔形式的評価〕ミニテスト

〔フィードバック〕模範解答を示し、答案を返却する。

〔総括的評価〕記述試験（70%）・ミニテスト（20%）・授業参加状況（予習・復習の実施状況等）（10%）

〔フィードバック〕試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。

6. 教科書

1. 「最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能2 栄養と代謝」 全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版 2016

7. 参考書

1. 「日本人の食事摂取基準」佐々木 敏、伊藤貞嘉（監修）、第一出版、2020

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育目 標領域
1	4/8 (木) 3限	中園	オリエンテーション ユニット 1-1 栄養素の種類と働き (五大栄養素) (栄養素の消化・吸収) 〔講義〕	1) 五大栄養素の種類と概要を理解する。 2) 栄養素の消化・吸収の概要を理解する。	(1) 五大栄養素の種類を列挙できる。 (2) 栄養素の消化・吸収のしくみを列挙できる。	「五大栄養素とは何か」をレポート用紙に書く。 (復習1時間)	認知 (想起)
2	4/13 (火) 4限	中園	ユニット 1-2 栄養素の種類と働き (タンパク質) 〔講義〕	1) タンパク質の構造を理解する。 2) アミノ酸の種類を理解する。 3) タンパク質の働きを理解する。 4) タンパク質の不足と過剰による体への影響を理解する。	(1) タンパク質の構造を列挙できる。 (2) アミノ酸の種類を列挙できる。 (3) タンパク質の働きを列挙できる。 (4) タンパク質の不足と過剰による体への影響を述べるができる。	アミノ酸の種類を調べ、レポート用紙に書く。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育目 標領域
3	4/15 (木) 3限	中園	ユニット 1-3 栄養素の種類と働き (糖質) [講義]	1) 糖質の構造を理解する。 2) 糖質の種類を理解する。 3) 糖質の働きを理解する。 4) 糖質の不足と過剰による 体への影響を理解する。	(1) 糖質の構造を列挙できる。 (2) 糖質の種類を列挙できる。 (3) 糖質の働きを列挙できる。 (4) 糖質の不足と過剰による体への 影響を述べるができる。	糖質の種類を調べ、レポート用紙に書く。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
4	4/20 (火) 4限	中園	ユニット 1-4 栄養素の種類と働き (脂質) [講義]	1) 脂質の構造を理解する。 2) 脂肪酸の種類と特徴を理解する。 3) 脂質の働きを理解する。 4) 脂質の不足と過剰による 体への影響を理解する。	(1) 脂質の構造を列挙できる。 (2) 脂肪酸の種類と特徴を列挙できる。 (3) 脂質の働きを列挙できる。 (4) 脂質の不足と過剰による体への 影響を述べるができる。	脂質の種類を調べ、レポート用紙に書く。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
5	4/22 (木) 3限	中園	ユニット 1-5 栄養素の種類と働き (ビタミン) [講義]	1) ビタミンの種類を理解する。 2) ビタミンの働きを理解する。 3) ビタミンの過剰症を理解する。 4) ビタミンの欠乏症を理解する。	(1) ビタミンの種類を列挙できる。 (2) ビタミンの働きを列挙できる。 (3) ビタミンの過剰症を述べる ことができる。 (4) ビタミンの欠乏症を述べる ことができる。	ビタミンの種類を調べ、レポート用紙に書く。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
6	4/27 (火) 4限	中園	ユニット 1-6 栄養素の種類と働き (ミネラル) [講義]	1) ミネラルの種類を理解する。 2) ミネラルの働きを理解する。 3) ミネラルの不足と過剰による 体への影響を理解する。	(1) ミネラルの種類を列挙できる。 (2) ミネラルの働きを列挙できる。 (3) ミネラルの不足と過剰による 体への影響を述べるができる。	ミネラルの種類を調べ、レポート用紙に書く。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
7	5/6 (木) 3限	中園	ミニテスト ユニット 2 水分、核酸、フィ トケミカルの働き [講義]	ユニット1に関する知識習得 を確認する。 1) 水分の働きを理解する。 2) 核酸の体への影響を理解 する。 3) フィトケミカルの体への 影響を理解する。	ユニット1に関する重要な栄養素の種 類と働きを確認することができる。 (1) 水分の働きを列挙できる。 (2) 核酸の体への影響を述べる ことができる。 (3) フィトケミカルの体への影響 を述べることができる。	ユニット1の復 習をする。 (予習0.5時間・ 復習0.5時間)	認知 (想起)
8	5/11 (火) 4限	中園	ユニット 3 食中毒の予防 [講義・DVD]	1) 食中毒の種類を理解する。 2) 食中毒の症状を理解する。 3) 食中毒の予防を理解する。	(1) 食中毒の種類を列挙できる。 (2) 食中毒の症状を述べる ことができる。 (3) 食中毒の予防を列挙できる。	食中毒とはなにかをレポート用紙に書く。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
9	5/13 (木) 2限	中園	ユニット 4-1 食品の分類と表示 (食品成分表・食 品の分類・保健機 能食品) [講義]	1) 食品成分表を理解する。 2) 食品の分類（三分類、四 分類、六分類）を理解する。 3) 保健機能食品の分類を理 解する。	(1) 食品成分表を列挙できる。 (2) 食品の分類（三分類、四 分類、六分類）を列挙できる。 (3) 保健機能食品の分類を列挙 できる。	保健機能食品の 種類を調べ、レ ポート用紙に書 く。 (予習0.5時間・ 復習0.5時間)	認知 (想起)
10	5/18 (火) 4限	中園	ユニット 4-2 食品の分類と表示 (栄養成分表示・ 食物アレルギー) [講義]	1) 栄養成分表示を理解する。 2) 食物アレルギー患者の健 康被害を防止するための 「食品表示基準」を理解する。	(1) 栄養成分表示を列挙できる。 (2) 食物アレルギー患者の健康被害 を防止するための「食品表示基準」 を列挙できる。	3大食物アレルギーを調べ、レ ポート用紙に書 く。 (予習0.5時間・ 復習0.5時間)	認知 (想起)
11	5/25 (火) 4限	中園	ユニット 4-3 食品の分類と表示 (代用甘味料) [講義]	1) 代用甘味料の種類を理解 する。 2) 代用甘味料の特徴を理解 する。	(1) 代用甘味料の種類を列挙でき る。 (2) 代用甘味料の特徴を列挙でき る。	代用甘味料が使 われている食品 や飲料を調べ、 レポート用紙に 書く。 (予習0.5時間・ 復習0.5時間)	認知 (想起)
12	6/1 (火) 4限	中園	ユニット 5-1 食生活指導 (食生活と健康の 関連) [講義]	1) 食生活の変遷と疾病構造 の変化を理解する。 2) 健康日本21（第2次）の 食生活についての目標を理 解する。	(1) 食生活の変遷と疾病構造の 変化を列挙できる。 (2) 健康日本21（第2次）の食生活 についての目標を列挙できる。	教科書P178- 183を熟読。講 義内で口頭試問 する。 (予習0.5時間・ 復習0.5時間)	認知 (想起)
13	6/8 (火) 4限	中園	ユニット 5-2 食生活指導 (国民健康・栄養 調査) [講義・演習]	1) 国民健康・栄養調査の目 的を理解する。 2) 国民健康・栄養調査の結 果から現在の日本人の食生 活を考察する。	(1) 国民健康・栄養調査の目的を 列挙できる。 (2) 国民健康・栄養調査の結果から 現在の日本人の食生活を述べる ことができる。	教科書P184を熟 読。講義内で口 頭試問する。 (予習0.5時間・ 復習0.5時間)	認知 (想起) 精神運動 (模倣)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育目 標領域
14	6/15 (火) 4限	中園	ユニット 5-2 食生活指導 (日本人の食事摂 取基準) [講義]	1) 「日本人の食事摂取基 準」を理解する。 2) 「日本人の食事摂取基 準」の活用方法を理解す る。	(1) 「日本人の食事摂取基準」を列 挙できる。 (2) 「日本人の食事摂取基準」の活 用方法を述べることができる。	食事摂取基準と はなにか？をレ ポート用紙に書 く。 (予習0.5時間・ 復習0.5時間)	認知 (想起)
15	6/22 (火) 4限	中園	ユニット 5-2 食生活指導 (食事バランスガ イドの活用) [講義・演習]	1) 食事バランスガイドを理 解する。 2) 食事バランスガイドを活 用し、自分の食事内容を書 き出し、問題点を調べる。	(1) 食事バランスガイドを列挙でき る。 (2) 食事バランスガイドを活用し、 自分の食事内容の問題点を述べるこ とができる。 (3) 自分の食事内容の問題点から改 善できることを示す。	自分の1日の食 事を記録する。 (予習0.5時間・ 復習0.5時間)	認知 (想起) 精神運動 (模倣) 情意 (受入)

食育

開講時期： 2 年次後期
 授業時間数： 12 コマ；24 時間
 1 単位
 受験資格要件： 2/3（8 コマ）以上の出席
 科目番号： DH021234
 評価責任者： 中園栄里
 授業担当者： 中園栄里

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として対象者の生活の質（QOL）の向上ために、新生児期から老年期に至るまでのライフステージ別の食生活の問題や健康を維持するためのエネルギーや栄養素摂取、また食生活に関する施策を理論的に分析・考察する能力を修得する。

2. 教育方法

講義・演習。

3. 教育教材

教科書、プリント、PC+プロジェクター。

4. 学修方法

授業は求められた予習項目を予習していることを前提に開始するので、授業開始までに予習しておくこと。先生の話している内容で、重要と思うことについてはできる限りメモすること。理解できないことについては質問すること。レポート課題は締切期日を守ること。本授業を理解する上で、栄養学の知識が必要である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：12時間】

5. 評価方法

〔形成的評価〕ミニテスト

〔フィードバック〕模範解答を示し、答案を返却する。

〔総括的評価〕記述試験（70%）・ミニテスト（20%）・授業参加状況（予習・復習の実施状況等）（10%）

〔フィードバック〕模範解答を示す。

6. 教科書

1. 「最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論」第2版全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版 2020

7. 参考書

1. 「最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能2 栄養と代謝」全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版 2016

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1	10/4 (月) 1限	中園	オリエンテーション ユニット 1 食育とは [講義]	1) 食育基本法を理解する。 2) 食育推進計画の目標を理解する。	(1) 食育基本法を列挙できる。 (2) 食育推進計画の目標を述べる ことができる。	食育推進計画の 重点項目をレポ ート用紙に書 く。 (復習1時間)	認知 (想起)
2	10/11 (月) 1限	中園	ユニット 2 妊産婦の食育 [講義]	1) 妊産婦期の体の特徴を理解する。 2) 妊産婦期の食生活の問題を理解する。 3) 妊産婦期の食生活指導を理解する。	(1) 妊産婦期の体の特徴を列挙できる。 (2) 妊産婦期の食生活の問題を列挙 する。 (3) 妊産婦期の食生活指導を述べる ことができる。	妊産婦の食事バ ランスガイドを レポート用紙に 書く。 (予習0.5時間・ 復習0.5時間)	認知 (想起)
3	10/25 (月) 1限	中園	ユニット 3 新生児期・乳児期 の食育 [講義]	1) 新生児期・乳児期の体の特徴を理解する。 2) 新生児期・乳児期の食生活の問題を理解する。 3) 新生児期・乳児期の食生活指導を理解する。	(1) 新生児期・乳児期の体の特徴を 列挙できる。 (2) 新生児期・乳児期の食生活の問題 を列挙する。 (3) 新生児期・乳児期の食生活指導 を述べる。	教科書の新生児 期・乳児期の項 目を熟読する。 講義内で口頭試 問する。 (予習0.5時間・ 復習0.5時間)	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
4	11/1 (月) 1限	中園	ユニット 3 新生児期・乳児期 の食育 [講義]	3) 離乳までの栄養摂取を理解する。 4) 授乳・離乳の支援を理解する。 5) 離乳期の食生活指導を理解する。	(1) 離乳までの栄養摂取を列挙できる。 (2) 授乳・離乳の支援を列挙できる。 (3) 離乳期の食生活指導を述べることができる。	離乳食の進め方の目安をレポート用紙に書く。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
5	11/8 (月) 1限	中園	ユニット 4 幼児期の食育 [講義]	1) 幼児期の体の特徴を理解する。 2) 幼児期の食生活の問題を理解する。 3) 幼児期の食生活指導を理解する。	(1) 幼児期の体の特徴を列挙できる。 (2) 幼児期の食生活の問題を列挙する。 (3) 幼児期の食生活指導を述べることができる。	教科書の幼児期の項目を熟読する。講義内で口頭試問する。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
6	11/15 (月) 1限	中園	ユニット 5 学齢期の食育 [講義・演習]	1) 学齢期の体の特徴を理解する。 2) 学齢期の食生活の問題を理解する。 3) 学齢期の食生活指導を理解する。 4) 演習問題を考える。	(1) 学齢期の体の特徴を列挙できる。 (2) 学齢期の食生活の問題を列挙する。 (3) 学齢期の食生活指導を述べることができる。 (4) 演習問題を記述する。	教科書の学齢期の項目を熟読する。講義内で口頭試問する。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起) 精神領域 (模倣)
7	11/22 (月) 1限	中園	ユニット 6 青年期の食育 [講義・演習]	1) 青年期の体の特徴を理解する。 2) 青年期の食生活の問題を理解する。 3) 青年期の食生活指導を理解する。 4) 自分の食生活の問題を見つける。	(1) 青年期の体の特徴を列挙できる。 (2) 青年期の食生活の問題を列挙する。 (3) 青年期の食生活指導を述べることができる。 4) 自分の食生活の問題を示す。	自分の食生活の問題をレポート用紙に書く。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起) 情意 (受入)
8	12/6 (月) 1限	中園	ユニット 7 成人期 [講義・演習]	1) 成人期の食生活の問題を理解する。 2) 成人期の食生活指導を理解する。	(1) 成人期の食生活の問題を列挙できる。 (2) 成人期の食生活指導を列挙できる。	教科書の成人期の項目を熟読する。講義内で口頭試問する。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起) 精神領域 (模倣)
9	12/13 (月) 1限	中園	ユニット 7 成人期 [講義]	4) 生活習慣病・メタボリックシンドロームと食生活の関連を理解する。 5) 生活習慣病予防のための食生活を理解する。	(1) 生活習慣病・メタボリックシンドロームと食生活の関連を列挙できる。 (2) 生活習慣病予防のための食生活を述べることができる。	メタボリックシンドロームの診断基準をレポート用紙に書く。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
10	12/20 (月) 1限	中園	ユニット 8 老年期 [講義]	1) 老年期の体の特徴を理解する。 2) 老年期の食生活の問題を理解する。 3) 老年期の食生活指導を理解する。	(1) 老年期の体の特徴を列挙できる。 (2) 老年期の食生活の問題を列挙する。 (3) 老年期の食生活指導を述べることができる。	教科書の老年期の項目を熟読する。講義内で口頭試問する。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
11	1/17 (月) 1限	中園	ユニット 8 老年期 [講義・演習]	1) 老年期の咀嚼・嚥下機能を理解する。 2) 嚥下食を理解する。	(1) 老年期の咀嚼・嚥下機能を列挙できる。 (2) 嚥下食を分類する。	嚥下食の種類をレポート用紙に書く。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起) 精神領域 (模倣)
12	1/17 (月) 2限	中園	ユニット 9 スポーツ栄養 [講義・演習]	1) スポーツ時の代謝を理解する。 2) スポーツアスリートに必要な栄養素を理解する。 3) スポーツアスリートの食育の問題点を考える。	(1) スポーツ時の代謝を列挙できる。 (2) スポーツ時に必要な栄養素を列挙できる。 (3) スポーツ時の食育の問題点を記述する。	事例を熟読。講義内で口頭試問する。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起) 精神領域 (模倣)

歯科保健指導実習Ⅲ

開講時期： 2 年次前期
授業時間数： 15 コマ；30 時間 1 単位
受験資格要件： 4/5（12 コマ）以上の出席
科目番号： DH021237
評価責任者： 石井綾子
授業担当者： 堀部晴美、松尾忠行、石井綾子
後藤加寿子、泉喜和子、森沙耶香
高木未沙稀、川尻 望

1. 一般目標

3 年次に実施する臨床・臨地実習の中で各診療科における患者指導が実践できることを目的に、う蝕や歯周疾患のリスクに応じた口腔保健管理を実施するために必要な資料の収集・媒体の作成・支援の手法を修得する。また、対象者にあわせたコミュニケーションが図れる能力を獲得する。

2. 教育方法

講義・演習、実習・相互学習・グループワーク・討論等のアクティブラーニングを行う。

医療機関において歯科衛生士・歯科医師として地域保健活動や臨床に従事した実務経験を生かした基礎教育並びに実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業を受講するに当たり、下記予習項目に記載の学修を行うこと。また、授業後は、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。事前・事後学修（予習・復習）を怠らず、また、授業中は真摯に臨み、理解できないことはその場で質問を行い解決すること。相互学習やグループワーク、症例検討等のアクティブラーニングについては、グループで協力して資料を作成し、発表に備えること。レポート課題を提示された場合には、期日までに仕上げる。

授業には、教科書と配布プリントを必ず持参すること。

本科目は他の主要3科目や関連科目で学習したことがベースとなるので、事前に理解を深めておくことが必要となる。準備学習を行うことにより他の科目との関連性を理解し、本科目に興味を持ち意欲的に取り組んでくれることを期待する。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価

[形成的評価] ミニテスト・レポート

[フィードバック] 不十分な箇所にはコメントを加え、再提出を求める場合もある。

基本的にミニテストは、前回学修した内容の復習、または、講義内容の確認として授業開始直後・終了直前に実施する。

内容の振り返りは、その時間、または、次の回の講義時に答案の返却で行う。

[総括的評価] 記述試験（70%）、ミニテスト・レポート（10%）、授業参加状況（予習・復習の実施状況含む）（20%）

[フィードバック] 総括的評価の結果（成績）は掲示する。

6. 教科書

1. 全国歯科衛生士教育協議会 監修 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版 医歯薬出版 2020
2. 全国歯科衛生士教育協議会 監修 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 第2版 医歯薬出版 2019
3. 荒川浩久他 歯科衛生士テキスト 「口腔衛生学」 第4版

7. 参考書

1. 全国歯科衛生士教育協議会 監修 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 医歯薬出版 2018
2. 全国歯科衛生士教育協議会 監修 最新歯科衛生士教本 歯科材料学 第2版 医歯薬出版 2019
3. 歯科衛生士国試対策研究会編 歯科衛生士国試対策集2020年対応 クインテッセンス出版 2020
4. 全国歯科衛生士教育協議会 監修 歯科衛生学辞典 永末書店 2019

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	5/31 (月) 1限	松尾	オリエンテーション ユニット 1-1 口腔保健管理に必要な用具の理解1 【講義】	1) 補助的清掃用具による口腔清掃効果の違いを理解する。	(1) 補助的清掃用具による口腔清掃効果の違いを説明できる。 ・デンタルフロス ・ポイントブラシ ・歯間ブラシ ・ラバーチップ ・電動歯ブラシ ・音波ブラシ ・ジェット水流洗口器	補助的清掃用具の特徴について調べる。 【事前学修 1時間】	認知 (解釈)
2 3	6/2 (水) 3,4限	松尾 泉 森 高木	ユニット 1-2 口腔保健管理に必要な用具の理解2 【実習】	2) 補助的清掃用具による口腔清掃効果の違いを評価する。	(1) 補助的清掃用具による口腔清掃効果の違いを評価することができる。 ・デンタルフロス ・ポイントブラシ ・歯間ブラシ ・ラバーチップ ・電動歯ブラシ ・音波ブラシ ・ジェット水流洗口器	補助的清掃用具の清掃効果の違いをまとめる。 (宿題) 【復習1時間】	認知 (問題解決) 精神運動 (模倣) 情意(受け入れ)
4	6/7 (月) 1限	石井	ユニット 2-1 個人指導用媒体の作成1 【実習】	1) 妊産婦・新生児対象の指導媒体を作成する。	(1) 妊産婦・新生児対象の指導媒体を活用し、以下の項目についてまとめることができる。 ・一般的特徴と口腔の特徴 ・望ましい歯科保健行動 ・セルフケアの目標 ・食生活の特徴と指導	妊産婦・新生児対象の指導媒体を作成するための資料を収集する。 【予習1時間】	認知 (解釈) 精神運動 (コントロール)
5	6/9 (水) 2限	石井	ユニット 2-2 個人指導用媒体の作成2 【実習】	1) 乳幼児対象の指導媒体を作成する。	(1) 乳幼児対象の指導媒体を活用し、以下の項目についてまとめることができる。 ・一般的特徴と口腔の特徴 ・望ましい歯科保健行動 ・セルフケアの目標 ・食生活の特徴と指導	乳幼児対象の指導媒体を作成するための資料を収集する。 【予習1時間】	認知 (解釈) 精神運動 (コントロール)
6	6/14 (月) 1限	石井	ユニット 2-3 個人指導用媒体の作成3 【実習】	1) 学童(低学年・高学年)対象の指導媒体を作成する。	(1) 学童(低学年・高学年)対象の指導媒体を活用し、以下の項目についてまとめることができる。 ・一般的特徴と口腔の特徴 ・望ましい歯科保健行動 ・セルフケアの目標 ・食生活の特徴と指導	学童(低学年・高学年)対象の指導媒体を作成するための資料を収集する。 【予習1時間】	認知 (解釈) 精神運動 (コントロール)
7 8	6/23 (水) 1,2限	石井 後藤	ユニット 2-4 個人指導用原稿の作成 【実習】	1) 妊産婦・新生児対象の指導原稿を作成する。 2) 乳幼児対象の指導原稿を作成する。 3) 学童(低学年・高学年)対象の指導原稿を作成する。	(1) 各対象に合わせた指導原稿を以下の項目に沿って作成し、それを活用して説明ができる。 ・一般的特徴と口腔の特徴 ・望ましい歯科保健行動 ・セルフケアの目標 ・食生活の特徴と指導	各対象の指導原稿を作成するための資料を収集する。 【復習1時間】	認知 (解釈) 精神運動 (コントロール)
9 10	7/5 (月) 1限 7/7 (水) 1限	石井 川尻 森 高木	ユニット 3-1 媒体を活用した指導の実際1 グループワーク 討論 【実習】	1) 妊産婦・新生児対象の指導媒体を活用して指導する。	(1) 妊産婦・新生児対象の個人指導ができる。 (2) 相手の指導内容を評価し、アドバイスができる。(ルーブリック等の評価用紙・視覚媒体を活用して自己・他者を評価する。) (3) アドバイスを参考に実施した指導内容の改善が図れる。	指導媒体・原稿の手直し。 (宿題) 【復習1時間】	認知(問題解決) 精神運動 (自動化) 情意 (反応)
11 12	7/28 (水) 3,4限	石井 貴島 川尻 森	ユニット 3-2 媒体を活用した指導の実際2 グループワーク 討論 【実習】	1) 乳幼児対象の指導媒体を活用して指導する。	(1) 乳幼児対象の個人指導ができる。 (2) 相手の指導内容を評価し、アドバイスができる。 (3) 相手の指導内容を評価し、アドバイスができる。(ルーブリック等の評価用紙・視覚媒体を活用して自己・他者を評価する。) (3) アドバイスを参考に実施した指導内容の改善が図れる。	指導媒体・原稿の手直し。 (宿題) 【復習1時間】	認知(問題解決) 精神運動 (自動化) 情意 (反応)
13 14	7/30 (金) 3,4限	石井 川尻 森 高木	ユニット 3-3 媒体を活用した指導の実際3 グループワーク 討論 【実習】	1) 学童(低学年・高学年)対象の指導媒体を活用して指導する。	(1) 学童(低学年・高学年)対象の個人指導ができる。 (2) 相手の指導内容を評価し、アドバイスができる。相手の指導内容を評価し、アドバイスができる。(ルーブリック等の評価用紙・視覚媒体を活用して自己・他者を評価する。) (3) アドバイスを参考に実施した指導内容の改善が図れる。	指導媒体・原稿の手直し。 (宿題) 【復習1時間】	認知(問題解決) 精神運動 (自動化) 情意 (反応)
15	8/2 (月) 1限	石井 高木	ユニット 3-4 媒体を活用した指導の実際4 グループワーク 討論 【実習】	1) 手直し後の媒体・原稿の検討	(1) 手直しをした媒体・原稿を用いて各グループで検討し、優れたものを選択し、保健指導論Ⅱのユニット 4-5 で発表するための準備をする。 【授業アンケートの実施】	媒体・原稿の必要な箇所の改善を図る。 (宿題) 【事後学修 1時間】	認知(問題解決) 精神運動 (自動化) 情意 (内面化)

歯科保健指導実習Ⅳ

開講時期： 2 年次後期
授業時間数： 15 コマ；30 時間 1 単位
受験資格要件： 4/5（12 コマ）以上の出席
科目番号： DH021238
評価責任者： 石井綾子
授業担当者： 堀部晴美 石井綾子 川尻 望
森沙耶香 高木未沙稀

1. 一般目標

将来、地域保健活動の中で対象者のQOLの向上を図るためには、個人や集団の特性を理解し、対象者に合わせた口腔保健管理を主体とする健康教育のプレゼンテーションが実施できる技能を修得する。

2. 教育方法

講義・演習、実習・相互学習・グループワーク・討論等のアクティブラーニングを行う。

医療機関において歯科衛生士・歯科医師として地域保健活動や臨床に従事した実務経験を生かした基礎教育並びに実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業を受講するに当たり、下記予習項目に記載の学修を行うこと。また、授業後は、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。事前・事後学修（予習・復習）を怠らず、また、授業中は真摯に臨み、理解できないことはその場で質問を行い解決すること。相互学習やグループワーク、症例検討等のアクティブラーニングについては、グループで協力して資料を作成し、発表に備えること。レポート課題を提示された場合には、期日までに仕上げる。

授業には、教科書と配布プリントを必ず持参すること。

本科目は他の主要3科目や関連科目で学習したことがベースとなるので、事前に理解を深めておくことが必要となる。準備学習を行うことにより他の科目との関連性を理解し、本科目に興味を持ち意欲的に取り組んでくれることを期待する。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価

[形成的評価] ミニテスト・レポート

[フィードバック] 不十分な箇所にはコメントを加え、再提出を求める場合もある。

基本的にミニテストは、前回学修した内容の復習、または、講義内容の確認として授業開始直後・終了直前に実施する。

内容の振り返りは、その時間、または、次の回の講義時に答案の返却で行う。

[総括的評価] 記述試験（70%）、ミニテスト・レポート（10%）、授業参加状況（予習・復習の実施状況含む）（20%）

[フィードバック] 総括的評価の結果（成績）は掲示する。

6. 教科書

1. 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版 医歯薬出版 2020
2. 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 第2版 医歯薬出版 2018
3. 荒川浩久他 歯科衛生士テキスト「口腔衛生学」 第4版

7. 参考書

1. 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 医歯薬出版 2018
2. 最新歯科衛生士教本 歯科材料学 第2版 医歯薬出版 2019
3. 歯科衛生士国試対策集 歯科衛生士国試対策研究会編、クインテッセンス出版 2019
4. 全国歯科衛生士教育協議会 監修 歯科衛生学辞典 永末書店 2019

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/30 (木) 3限	石井 森	オリエンテーシ ョン ユニット1-1 幼児・学童を対象 とした集団指導 講義・演習	1) 幼児・学童を対象とし た集団に対する健康教育 を理解する。	(1)幼児・学童を対象とした集団に対する健康 教育の項目を説明できる。 ・対象とする集団の特性 ・話の組み立て ・媒体の活用 ・話法	幼児・学童を対 象とした集団指 導を実施するた めの資料を収集 する 【予習0.5時間 復習0.5時間】	認知 (解釈) 精神運動 (コントロ ール) 情意 (受入)
2 3	10/8 (金) 1,2限	石井 後藤 川尻 森	ユニット1-2 幼児・学童を対象 とした集団指導 講義・演習	1) 幼児・学童を対象とし た集団に対する健康教育 を理解する。	(2)幼児・学童を対象とした集団に対する健康 教育に必要な媒体を作成することができる。 (3)幼児・学童を対象とした集団に対する健康 教育に必要な原稿を作成することができる。	幼児・学童を対 象とした集団指 導の原稿を作成 するために必要 な資料を収集す る 【予習0.5時間 復習0.5時間】	認知 (解釈) 精神運動 (コントロ ール) 情意 (受入)
4	10/19 (火) 1限	石井 森 高木	ユニット1-2 幼児・学童を対象 とした集団指導 講義・演習 グループワーク	1) 幼児・学童を対象とし た集団に対する健康教育 を実施する。	(4)幼児・学童を対象とした集団に対する健康 教育を作成した媒体を活用して実施するこ とができる。 (5)他者が作成した幼児・学童を対象とした集 団に対する健康教育を検討することができる。	幼児・学童を対 象とした集団指 導の改善を図 る。 (宿題) 【復習1時間】	認知 (問題解 決) 精神運動 (コントロ ール) 情意 (受入)
5 6 7 8	11/18 (木) 1～4限	石井 力丸 松尾 後藤 貴島 黒木 川尻 森 高木	ユニット1-2 幼児・学童を対象 とした集団指導 グループワーク 討論	1) 幼児・学童を対象とし た集団に対する健康教育 を実施する。	(6) 検討した内容の発表ができる。 (7) 他者が発表した内容を評価し、アドバイ スができる。 (ループリック等の評価用紙を活用して 自己・他者を評価する。) (8) 他者からのアドバイスを参考に発表内容 の 改善が図れる。	幼児・学童を対 象とした集団指 導を仕上げる。 (宿題) 【復習1時間】	認知 (問題解 決) 精神運動 (自動化) 情意(反 応)
9	11/22 (月) 3限	石井 高木	ユニット2-1 成人・有病者を対 象とした集団指 導 講義・演習	1) 成人・有病者を対象と した集団に対する健康教 育を理解する。	(1)成人・有病者に対する歯科的支援を説明で きる。 ・歯周病と全身疾患の関連 メタボ、糖尿病、喫煙者、妊娠婦、誤 嚥性肺炎 ・話の組み立て ・媒体の活用 ・話法	成人・有病者を 対象とした集団 指導を実施する ための資料を収 集する。 【予習0.5時間 復習0.5時間】	認知 (解釈) 精神運動 (コントロ ール) 情意 (受入)
10 11	11/25 (木) 1,2限	石井 中園 川尻 高木	ユニット2-2 成人・有病者を対 象とした集団指 導 演習	1) 成人・有病者を対象と した集団に対する健康教 育を理解する。	(2)成人・有病者に対する健康教育に必要な媒 体を作成することができる。 (3)成人・有病者を対象とした集団に対する健 康教育に必要な原稿を作成することができる。	成人・有病者を 対象とした集団 指導の原稿を作 成するために必 要な資料を収集 する。 【予習0.5時間 復習0.5時間】	認知 (解釈) 精神運動 (コントロ ール) 情意 (受入)
12 13 14	12/16 (木) 1～3限	石井 力丸 松尾 後藤 貴島 黒木 川尻 森	ユニット2-3 成人・有病者を対 象とした集団指 導 グループワーク 討論	1) 健康教育の方法を理解 する。	(4)成人・有病者を対象とした集団に対する健 康教育の内容を発表する。 (5) 他者が発表した内容を評価し、アドバイ スができる。 (ループリック等の評価用紙を活用して 自己・他者を評価する。) (6) 他者からのアドバイスを参考に発表内容 の 改善が図れる。	成人・有病者を 対象とした集団 指導を仕上げ る。 (宿題) 【復習1時間】	認知 (問題解 決) 精神運動 (自動化) 情意(反 応)
15	1/24 (月) 2限	川尻 森 高木	ユニット3 シーラント患者 への指導 演習	1) シーラント処置後の指 導を理解する。	(1) シーラント処置後の指導ができる。 ・患者本人に対する指導 ・保護者に対する指導 【授業アンケートの実施】	シーラント処置 後に必要な指導 をまとめる。 【予習0.5時間 復習0.5時間】	認知 (問題解 決) 精神運動 (自動化) 情意 (反応)

歯科診療補助論Ⅱ

開講時期： 2 年次後期
 授業時間数： 12 コマ； 24 時間 1 単位
 受験資格要件： 2/3 (8 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH021242
 評価責任者： 力丸哲也
 授業担当者： 森本太一朗 森田 浩光 力丸 哲也
 泉 喜和子 後藤加寿子
 貴島 聡子 森 沙耶香

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として多様な対象者を支援するために、専門歯科領域ごとの歯科診療補助業務における歯科衛生士の役割についての知識を修得する。

2. 教育方法

講義を行う。

大学病院等において、歯科医師として歯科治療に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

大学病院等において、歯科衛生士として歯科診療補助業務に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業には、該当する指定の教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取る。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。レポート課題は、締め切り期日を守る。授業は定刻に始まるので遅刻は欠席になる。本授業を理解するうえで、口腔外科学、材料学、歯科補綴学、保存修復学、歯内治療学、歯周病治療学、解剖学、高齢者歯科学の理解が必要となる。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：11.5時間】

5. 評価方法

[総括的評価]：記述試験（80%）・確認テスト（20%）ユニット4で実施する。

[フィードバック]：試験結果ならびに正解例は、試験終了後に掲示する。

6. 教科書

- 1 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論第2版 医歯薬出版 2018
- 2 新・歯科衛生士教育マニュアル 歯周病学 クインテッセンス出版 2018
- 3 新・歯科衛生士教育マニュアル 歯内治療 クインテッセンス出版 2020
- 4 新・歯科衛生士教育マニュアル 保存修復 クインテッセンス出版 2018
- 5 最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴 医歯薬出版 2020
- 6 歯科衛生士が知っておきたい よくわかる口腔インプラント 医歯薬出版 2012
- 7 新・歯科衛生士教育マニュアル 口腔外科学・歯科麻酔学 クインテッセンス出版 2013
- 8 最新歯科衛生士教本 歯科機器 医歯薬出版 2017

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/30 (木) 4限	力丸	ユニット1 保存修復治療時における診療補助業務 [講義]	1) 保存修復治療時における歯科診療補助業務の内容を理解する。	(1) 保存修復治療の特徴を説明できる。 (2) 保存修復治療の手順を説明できる。 (3) 処置後の患者への説明事項を列挙できる。	教科書1. の P111-120、教科書4. の指定された項目を精読する (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
2	10/5 (火) 2限	力丸	ユニット2 歯内治療・歯周治 療時における診療 補助業務 [講義]	1) 歯内治療・歯周治療 時における歯科診療補助 業務の内容を理解する。	(1) 歯内治療・歯周治療の特徴を説明できる。 (2) 歯内治療・歯周治療の手順を説明できる。 (3) 処置後の患者への説明事項を列挙できる。	教科書1. の P125-137、 教科書2・3. の指定された 項目を精読す る (予習0.5時 間・復習0.5 時間)	認知 (解釈)
3	10/6 (水) 2限	後藤	ユニット3 補綴治療時におけ る診療補助業務 [講義]	1) 補綴治療時における 歯科診療補助業務の内 容を理解する。	(1) 補綴治療の特徴を説明できる。 (2) 補綴治療の手順を説明できる。 (3) 処置後の患者への説明事項を列挙できる。	教科書1. の P138-148、 教科書5. の 関連項目を精 読する (予習0.5時 間・復習0.5 時間)	認知 (解釈)
4	10/7 (木) 2限	森本	ユニット3 インプラント治療 時における診療補 助業務① [講義]	1) インプラント治療に ついて理解する。	(1) インプラント治療の概要を述べることがで きる。 (2) インプラント治療の手順が説明できる。 (3) インプラント治療時の役割を説明できる。	教科書1. の P149-152、 教科書6. の 指定された項 目、 教科書8.の P172-181を 精読する (予習0.5時 間・復習0.5 時間)	認知 (想起)
5	10/14 (木) 4限	後藤	ユニット3 精密印象材の取り 扱い [講義]	1) 合成ゴム質印象材に ついて理解する。 2) 歯肉圧排について理解 する。 3) 暫間被覆冠について理 解する。	(1) 合成ゴム質印象材による精密印象採得の手 順を説明できる。 (2) 合成ゴム質印象材による精密印象採得で用 いる器具・材料・用途を説明できる。 (3) 歯肉圧排法と手順について説明できる。 (4) 暫間被覆冠の作成手順が説明できる。	教科書1. の P204-210、 P106-109、 教科書5. の 関連項目 を精読する (予習0.5時 間・復習0.5 時間)	認知 (解釈)
6	10/12 (火) 2限	泉	ユニット5 口腔外科治療時 における診療補助業 務 [講義]	1) 口腔外科治療時にお ける歯科診療補助業務 の内容を理解する。	(1) 口腔外科治療の特徴と流れを説明できる。 (2) 普通抜歯・難抜歯の手順と必要器材を列挙 できる。 (3) 局所麻酔で用いる器材について列挙でき る。 (4) 口腔外科治療における歯科衛生士の役割を 説明できる。	教科書1.のP 153-164、教 科書7.のP 153-173を精 読する (1.0時間)	認知 (解釈)
7	A:10/14 (木) 1限 B:10/14 (木) 2限	森本	ユニット3 インプラント治療 時における診療補 助業務② [講義]	1) インプラント治療時 における歯科診療補助 業務の内容を理解す る。	(1) 手術における術前・術中・術後の歯科衛生 士の対応を説明できる。 (2) インプラント治療における口腔健康管理を 説明できる。	教科書1. の P149-152、 教科書6. の 指定された項 目、 教科書8.の P172-181を 精読する (予習0.5時 間・復習0.5 時間)	認知 (想起)
8	10/28 (木) 3限	森	ユニット4 ラバーダム防湿法 [講義]	1) ラバーダム防湿法に ついて理解する。	(1) ラバーダム防湿法の目的が説明できる。 (2) ラバーダム防湿法で用いる器具の用途を説 明できる。 (3) ラバーダム防湿の術式を列挙できる。	教科書1.の P99-105を精 読する (予習0.5時 間・復習0.5 時間)	認知 (解釈)
9	11/4 (木) 3限	森田	ユニット6 歯科訪問時におけ る診療補助業務 [講義]	1) 歯科訪問診療時にお ける歯科診療補助業務 の内容を理解する。	(1) 歯科訪問診療の概要を述べることができ る。 (2) 必要な器材・薬剤と治療の流れを説明でき る。 (3) 診療時の適切な患者対応を説明できる。 (4) 訪問診療における感染予防対策を説明でき る。 (5) 訪問診療における口腔健康管理を説明でき る。	教科書1.の P292-305、 教科書8.の P 182-186を 精読する (予習0.5時 間・復習0.5 時間)	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
10	11/8 (月) 4限	森	ユニット7 トレーセッティン グ [講義・演習]	1) インレー修復処置の手順と必要な器材の用途について理解する。 2) 歯髄処置の手順と必要な器材の用途について理解する。 3) 全部鋳造冠作成の手順と必要な器材の用途について理解する。 4) 総義歯作成の手順と必要な器材の用途について理解する。 5) 普通抜歯処置の手順と必要な器材の用途について理解する。 6) 難抜歯処置の手順と必要な器材の用途について理解する。	(1)インレー修復処置の手順と使用器材の用途について説明できる。 (2)歯髄処置の手順と使用器材の用途について説明できる。 (3)全部鋳造冠作成の手順と使用器材の用途について説明できる。 (4)総義歯作成の手順と使用器材の用途について説明できる。 (5)普通抜歯処置の手順と使用器材の用途について説明できる。 (6)難抜歯処置の手順と使用器材の用途について説明できる。	事後学修教科書1.2.3.4.5.7.8.を参考にして作成したプリントの各処置の手順と使用器材を確認する。 (復習1時間)	認知 (解釈)
11	11/9 (火) 2限	泉	ユニット5 周術期における口腔機能管理 [講義]	1) 周術期における口腔機能管理の内容を理解する。	(1) 周術期における口腔機能管理を概説できる。 (2) 周術期の病態とその治療法を説明できる。 (3) 周術期の歯科治療時の役割を説明できる。 (4) 手術における術前・術中・術後の歯科衛生士の対応を説明できる。	教科書1.のP286-291を精読する (0.5時間)	認知 (解釈)
12	12/7 (火) 2限	貴島	ユニット1 歯の漂白時における診療補助業務 [講義]	1) 歯の漂白時における歯科診療補助業務の内容を理解する。	(1) 生活歯漂白法の手順を説明できる。 オフィスブリーチ法とホームブリーチ法 (2) 漂白法で用いる器具や薬剤の用途を説明できる。	教科書1. のP121-124、教科書4. のP146-157を精読する (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (解釈)

歯科診療補助実習Ⅲ

開講時期： 2 年次前期
 授業時間数： 20 コマ；40 時間 1 単位
 受験資格要件：実習 4/5(20 コマ中 16 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH021246
 評価責任者： 後藤加寿子
 授業担当者： 力丸哲也、後藤加寿子、貴島聡子
 石井綾子、森沙耶香、高木末沙稀

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するために必要な口腔内の情報収集を実施するための知識や技術を修得する。また、多様な対象者を支援するために必要な歯科診療における共同動作を修得する。

2. 教育方法

講義・演習を行う。

大学病院等において、歯科医師、歯科衛生士として治療に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC+プロジェクター、各種実習器材

4. 学修方法

実習には、該当する指定の教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。実習中は、重要点など記録すること。実習後は、アクティブラーニングとして事後学習（復習）を行い、技術を修得すること。レポート課題は、締め切り期日を守ること。授業は定刻に始まるので遅刻は欠席になる。本授業を理解するうえで、歯科材料学、歯科補綴学、保存修復学の理解が必要となる。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：20時間】

5. 評価

〔形成的評価〕 確認テスト・レポート

〔フィードバック〕 不十分な部分についてコメントを行う。場合によっては再提出を求める。

〔総括的評価〕 記述試験（80%）、小テスト・レポート・授業態度（20%）

6. 教科書

- 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 医歯薬出版 2018
- 最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴 第2版 医歯薬出版 2020
- 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 医歯薬出版 2020
- 最新歯科衛生士教本 歯科機器 医歯薬出版 2018
- 最新歯科衛生士教本 歯科材料 医歯薬出版 2018

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	課題	石井	ユニット1 スタディモデル 〔講義〕	1) 印象採得・咬合採得について理解できる。 2) 歯科用石膏について理解できる。	(1) 印象採得・咬合採得の手順を説明できる。 (2) 印象採得・咬合採得で用いる器材と用途を説明できる。 (3) 歯科用石膏の特徴・種類・用途を説明できる。	教科書 1 の P192-202、 P 214-221、 教科書5のP 59-71を精読 する。 復習1時間	認知 (解釈)
2	6/3 (木) 3,4限	石井 後藤 貴島 森 高木	ユニット1 スタディモデルの 作成1 アルジネート 印象材練和の復習 〔実習〕	1) アルジネート印象材の取り扱いについて理解できる。	(1) アルジネート印象材を練和し、トレーに盛り付けすることができる。	第1回目の講義で配布された資料と、教科書の関連項目を精読する。 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (コントロール)
3							

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
4	6/4 (金) 3,4限	後藤 泉 石井 森 高木	ユニット1 スタディモデルの 作成2 印象採得・咬合採 得(3人一組：1人 目) [実習]	1) 印象採得と咬合採得 を実施できる。	(1) 印象採得とその対応を実施できる。	第1回目の講義 で配布された 資料と教科書 の関連項目を 精読する。 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (コント ロール)
5							
6	6/9 (水) 3,4限	後藤 貴島 石井 森 高木	ユニット1 スタディモデルの 作成3 印象採得・咬合採 得(3人一組：2人 目) [実習]	1) 印象採得と咬合採得 を実施できる。	(1) 印象採得とその対応を実施できる。	第1回目の講義 で配布された 資料と教科書 の関連項目を 精読する。 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (コント ロール)
7							
8	6/23 (水) 3,4限	後藤 森 高木	ユニット1 スタディモデルの 作成4 印象採得・咬合採 得(3人一組：3人 目) [実習]	1) 印象採得と咬合採得 を実施できる。	(1) 印象採得とその対応を実施できる。	第1回目の講義 で配布された 資料と教科書 の関連項目を 精読する。 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (コント ロール)
9							
10	6/24 (木) 3,4限	後藤 貴島 森 高木	ユニット1 スタディモデルの 作成5 印象採得・咬合採 得、模型の作成 [実習]	1) 印象採得と咬合採得 を実施し、石膏を用 いて模型が作成でき る。	(1) 印象採得とその対応を実施できる。 (2) 歯科用石膏の練和と管理を実施できる。	教科書1のP 214-221、教 科書5のP 59- 71を精読す る。 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (コント ロール)
11							
12	7/7 (水) 2限	カ丸	ユニット4 成形歯冠修復材の 取り扱い (レジン充填・ 隔壁法) [講義]	1) レジン充填について 理解する。 2) 隔壁法について理解 する。	(1) レジン充填に必要な器具や材料を説明でき る。 (2) レジン充填の手順が説明できる。 (3) 隔壁法に必要な器具や材料を説明できる。 (4) 隔壁法の手順が説明できる。 (5) レジン充填後の患者への説明事項を列挙 できる。	教科書1の P111-114教 科書4の P90-92を精読 する。 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈)
13	7/14 (水) 2限	後藤	ユニット3 寒天印象材の取り 扱い [講義]	1) 寒天-アルジネート 連合印象について理 解できる。	(1) 寒天-アルジネート連合印象の手順を説明 できる。 (2) 寒天-アルジネート連合印象で用いる器具と 用途を説明できる。	教科書1のP 203-204、教 科書5のP43- 49を精読す る。 復習1時間	認知 (解釈)
14	7/19 (月) 1限	森 高木	ユニット2 パステクニック [講義]	1) 器具の取り扱いや受 け渡しについて理解 できる。	(1) 器具の受け渡しの注意点を説明できる。 (2) 器具の受け渡しに適している位置を説明でき る。 (3) ペングリップとバームグリップによる受け 渡しを説明できる。 (4) 小器具等の取り扱いを説明できる。 【確認テスト】授業で配布された資料を復習す ること。	教科書1の P 69-71 を精読する。 復習1時間	認知 (解釈)
15	A : 7/9 (金) 3,4限	カ丸 泉	ユニット4 成形歯冠修復材の 取り扱い (レジン充填・ 隔壁法) [実習]	1) レジン充填が実施で きる。 2) 隔壁法が実施でき る。	(1) レジン充填に必要な器具や材料が準備でき る。 (2) レジン充填が実施できる。 (3) 隔壁法に必要な器具や材料が準備できる。 (4) 隔壁法が実施できる。 (5) レジン充填後の患者説明ができる。	12回の講義で 配布されたプ リントを精読 する。 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (模倣)
16	B : 7/14 (水) 3,4限						
17	7/21 (水) 3,4限	後藤 松尾 川尻	ユニット2 寒天印象材の取り 扱い [実習]	1) 寒天-アルジネート 連合印象採得が実施 できる。	(1) マネキン模型上で、寒天-アルジネート連合 印象採得が実施できる。	13回目の講義 で配布された 資料と、教科 書1のP 203- 204、教科書5 のP43-49を精 読する。 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (コント ロール)
18							
19	7/29 (木) 3,4限	森 貴島 川尻 石井 高木	ユニット2 パステクニック [実習]	1) 安全に器具の取り扱 いや受け渡しができ る。	(1) マネキン模型上で、安全に器具の取り扱い が実施できる。	教科書1の P 69-71 を精読する。 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (模倣)
20							

歯科診療補助実習Ⅳ

開講時期： 2 年次後期
 授業時間数： 20 コマ；40 時間 1 単位
 受験資格要件： 4/5（16 コマ）以上の出席
 科目番号： DH021247
 評価責任者： 森 沙耶香
 授業担当者： 堀部晴美、カ丸哲也、
 泉喜和子、後藤加寿子、
 石井綾子、南レイラ、
 森 沙耶香

1. 一般目標

歯科衛生士として多様な対象者を支援するために、専門歯科領域ごとの歯科診療補助業務に関する知識・技術・態度を修得する。

2. 教育方法

講義・演習・実習を行う

3. 教育教材

教科書、プリント、PCプロジェクター

大学病院等において、歯科医師、歯科衛生士として治療に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

4. 学修方法

授業には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取る。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。レポート課題は、締め切り期日を守ること。本授業を理解するうえで、口腔外科学、材料学、歯科補綴学、歯科保存学、保存修復学、解剖学、小児歯科学の理解が必要となる。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：20時間】

5. 評価

〔形成的評価〕 確認テスト・レポート

〔フィードバック〕 不十分な部分についてコメントを行う。場合によっては再提出を求める。

〔総括的評価〕 記述試験（70%）、実技試験（20%）、小テスト・レポート・授業態度（10%）

〔フィードバック〕 以上を総合的に評価し、定期試験終了後に掲示する。

尚、詳細は各ユニットの初日に説明する。

6. 教科書

- 1 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論第2版 医歯薬出版 2018

7. 参考書

- 1 新・歯科衛生士教育マニュアル 歯周病学 クインテッセンス出版 2018
- 2 新・歯科衛生士教育マニュアル 歯内治療 クインテッセンス出版 2020
- 3 新・歯科衛生士教育マニュアル 保存修復 クインテッセンス出版 2018
- 4 最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴 医歯薬出版 第2版 2020
- 5 新・歯科衛生士教育マニュアル 口腔外科学・歯科麻酔学 クインテッセンス出版 2013
- 6 最新歯科衛生士教本 歯科機器 医歯薬出版 2017
- 7 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版 第2版 2020

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	A:10/13 (水) 1,2限	後藤 泉 森	ユニット2 義歯の取り扱い [実習]	1) 義歯の取り扱いを説明できる。 2) 義歯の保管方法について説明できる。	(1) 義歯の取り扱いを説明できる。 (2) 義歯の保管方法について説明できる。 (3) 義歯の洗浄を実施できる。	参考書4 P 131-144, 参考書7 P 281-282を 精読する 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
2	B:10/15 (金) 1,2限						

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
3	A:10/23 (水) 1,2限	泉 川尻 高木	ユニット1 口腔外科器具の取 扱い [演習]	1) 口腔外科治療時に おける歯科診療補助業 務が実施できる。	(1) 抜歯時のスタンダードプレコーションにつ いて説明できる。 (2) 局所麻酔に必要な器材を列挙できる。 (3) 普通抜歯・難抜歯に必要な器材を準備で きる。 (4) 抜歯術後の管理、患者指導について説明で きる。	教科書1の P153-172を 精読する 1時間 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (模倣)
4	B:10/22 (金) 1,2限						
5	A:11/11 (木) 1,2限	後藤 サンメデ ィカル 森 高木	ユニット5 Tec (テンボラリ ークラウン) の作 製 [実習]	1) テンボラリークラウ ンが作製できる。	(1) マネキン模型上で、テンボラリークラウン が作製できる。	参考書4のP 84-85を精読 する 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (コント ロール)
6	B:11/11 (木) 3,4限						
7	11/10 (水) 1,2限	後藤 川尻 森 高木	ユニット4 精密印象材の取り 扱い [実習]	1) 合成ゴム質印象材に ついて理解する。 2) 歯肉圧排について理解 する。	(1) 合成ゴム質印象材による精密印象採得で必 要な器具・材料が準備できる。 (2) 合成ゴム質印象材による精密印象採得が実 施できる。 (3) 歯肉圧排法で必要な器具・材料が準備でき る。 (4) 歯肉圧排法が実施できる。	歯科診療補 助論Ⅱの第7 回目の講義 で配布され たプリント と教科書1の P106-109、 P204-210を 精読する 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (コント ロール)
8							
9	11/4 (木) 1,2限	森 堀部 川尻 高木	ユニット6 ラバーダム防湿法 (1歯露出) [実習]	1) ラバーダム防湿法が 実施できる。	(1) ラバーダム防湿法で必要な器具が準備でき る。 (2) ラバーダム防湿法の手順を説明できる。 (3) マネキン模型上で、1歯露出のラバーダム防 湿法が実施できる。 【確認テスト】 事前講義 (歯科診療補助論Ⅱの 第8回目の講義で配布されたプリ ント) を復習すること。	ラバーダム 防湿法の講 義で配布さ れたプリント を精読する 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (コント ロール)
10							
11	11/16 (火) 1,2限	森 堀部 川尻 高木	ユニット6 ラバーダム防湿法 (多数歯露出) [実習]	1) ラバーダム防湿法が 実施できる	(1) ラバーダム防湿法で必要な器具が準備でき る。 (2) ラバーダム防湿法の手順を説明できる。 (3) マネキン模型上で、多数歯露出のラバーダ ム防湿法が実施できる。 【確認テスト】 事前講義 (歯科診療補助論Ⅱの 第8回目の講義で配布されたプリ ント) を復習すること。	ラバーダム 防湿法の講 義で配布さ れたプリント を精読する 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (コント ロール)
12							
13	11/26 (金) 1,2限	石井 川尻 泉 高木	ユニット7 トレーセッティ ング① 保存修復治療 歯内治療 [実習]	1) インレー修復治療の準 備ができる。 2) 根管治療・根管充填の 準備ができる	(1) インレー修復に必要な器具や材料が準備でき る。 (2) インレー修復処置後の患者説明ができる。 (3) 根管治療・根管充填に必要な器具や材料が 準備できる。 (4) 根管治療・根管充填後の患者説明ができ る。	教科書1. の P115-120、 参考書3. の P96-113を 精読する 教科書1. の P125-132、 参考書2. の P55-61、 P82-101、 参考書6の P92-102を 精読する 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (自動 化)
14							
15	11/19 (金) 1,2限	森 後藤 川尻 高木	ユニット5 Tec (テンボラリ ークラウン) 装着 時の準備、余剰セ メントの除去 (2人一組) [実習]	1) テンボラリークラウ ン装着時の対応ができ る。	(1) 仮着時に必要な器材が準備できる。 (2) マネキン模型上で、テンボラリークラウン を仮着できる。 (3) 余剰セメントの除去を確実に実施できる。	教科書1. の P144-148を 精読する 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (コント ロール)
16							
17	11/30 (火) 1,2限	後藤 森 石井 川尻 高木	ユニット7 トレーセッティ ング② 補綴治療 [実習]	1) FMC作成および合 着の準備が出来る。 2) 義歯の作成および装 着の準備ができる。	(1) FMC形成および合着に必要な器材や材料 の準備が出来る。 (2) 義歯の作成および装着に必要な器材や材料 の準備が出来る。 (3) 補綴治療時における患者説明が出来る。 【確認テスト】 事前講義 (歯科診療補助論Ⅱの 第10回目の講義内容とレポート) を復習すること。当日実習 内容から出題する。	教科書1の P138-148 を精読する 参考書4の P78-92、 P111-131 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神運動 (自動 化)
18							

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
19	1/18 (火) 1,2限	力丸	ユニット3 エックス線写真撮 影時の診療補助業 務 [演習]	1) 画像検査法とその補助 について理解でき る。	(1) エックス線写真撮影装置と方法について説 明できる。 (2) 基本的な病変のエックス線所見を概説でき る。 授業評価アンケート実施	教科書1. の P 66-68、P 94-96 参考書6. の P 28, P 74- 77, P 100- 101 を精読する 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (模倣)
20							

実技試験は、ユニット 12 以降に行なう。(実施日:)

口腔介護論

開講時期： 2 年次後期
授業期間数： 15 コマ；30 時間 1 単位
受験資格要件： 2/3（10 コマ）以上の出席
科目番号： DH021251
評価責任者： 泉喜和子
授業担当者： 堀部晴美、松尾忠行、泉喜和子、
黒木まどか、南レイラ、古野みはる
秋竹 純

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として、居宅や介護保険施設に入所している精神的・身体的な能力の不全を有した障害者や要介護者、また、認知症や終末期にある対象者の生活の質（QOL）の向上を図るため、口腔介護の必要性とその支援システム並びに口腔介護に関わる歯科衛生士の役割を理解する。また、多職種と連携・協働し、根拠や理論に基づいた口腔介護（口腔衛生管理および口腔機能管理）の提供ができる能力を修得することを到達目標とする。

2. 教育方法

講義・演習、相互学習・グループワーク等のアクティブ・ラーニングを行う。

医療・保健・福祉等機関において歯科衛生士・歯科医師・看護師・介護福祉士・社会福祉士として高齢・障害者等の支援に関わった実務経験を生かした基礎教育並びに実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC+プロジェクター

4. 学修方法

解剖学、生理学、口腔衛生学、高齢・障害者歯科学、全身疾患の病態生理、さらに主要3科目で学修した内容がベースとなる。授業を受講するに当たり、下記予習項目に記載の学修を行うこと。授業には、教科書と配布プリントを必ず持参し、授業後は、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。事前・事後学修（予習・復習）を怠らず、また、授業中は真摯に臨み、理解できないことはその場で質問を行い解決すること。グループワークや症例検討等については、グループで協力して資料を作成し、発表に備えること。レポート課題を提示された場合には、期日までに仕上げる。また本授業は臨床実習、臨地実習と関連があり、理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価

〔形成的評価〕ミニテスト・レポート

基本的にミニテストは、前回学修した内容の復習、または、授業内容の確認として授業開始直後・終了直前に実施する。

〔総括的評価〕記述試験（80%）、ミニテスト・レポート（10%）、授業参加状況（10%）

〔フィードバック〕ミニテスト、レポートは、その授業時、または次回の授業時に答案を返却する。内容の不十分な箇所にはコメントを加え、再提出を求める場合もある。

総括的評価の結果（成績）は掲示する。

（教科書）

- 1 本間和代 編集 はじめて学ぶ 歯科衛生士のための歯科介護 第3版 医歯薬出版 2014
- 2 野原幹司 編著 認知症患者の摂食・嚥下リハビリテーション 南山堂 2018

（参考書）

- 1 菊谷 武 監修 基礎から学ぶ口腔ケア 学習研究社 2018
- 2 菊谷 武 監修 「食べる」介護がまるごとわかる本 メディカ出版 2018

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目 標領域
1	9/21 (火) 2限	古野	ユニット 1-1 高齢者・要介護者 の理解 1 〔講義〕	加齢に伴う身体的・精神的変化を理解する。 高齢者が服用することが多い薬剤とその相互作用について理解する。	・高齢者の全身状態の変化について説明できる。 ・高齢者の精神・心理的变化について説明できる。 ・高齢者の全体像を説明できる。 ・サルコペニア、フレイルについて説明できる。 ・服薬管理の重要性について説明できる。 ・薬剤による口腔乾燥への改善方法について提言できる。	加齢に伴う全身的变化・心理的变化について調べる。 (予習0.5時間) 高齢者の服薬の留意点をまとめる。 (復習0.5時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)
2	9/22 (水) 1限	古野	ユニット 1-2 高齢者・要介護者 の理解 2 〔講義〕	高齢者・要介護者の状態に関する各種評価法を理解する。	・生活機能の評価について説明できる。 ・認知機能の評価について説明できる。 ・栄養評価について説明できる。 ・栄養摂取の方法について説明できる。	高齢者等の心身の状態をアセスメントする評価法について調べる。 (予習1時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)
3	9/22 (水) 2限	古野	ユニット1-3 高齢者・要介護者 の理解 3 〔講義〕	高齢者に関わる医療と介護に関する法制度について理解する。	・介護保険制度の概要について説明できる。 ・高齢者の居住する場所と設備の特徴について説明できる。 ・施設介護と在宅介護における多職種との連携について説明できる。 ・地域包括ケアに期待される歯科衛生士の役割について説明できる。	施設・在宅介護で果たす歯科衛生士の役割について考えをまとめる。 (予習0.5時間) 在宅医療における多職種連携の重要性について考えをまとめる。 (復習0.5時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)
4	9/28 (火) 1限	古野	ユニット 1-4 中途障害の理解 〔講義〕	要介護高齢者における脳血管障害後遺症・認知症について理解する。	・脳血管障害が及ぼす全身機能並びに口腔機能に対する障害の特徴について説明できる。 ・障害の受容過程を説明できる。 ・認知症が及ぼす全身及び口腔への影響について説明できる。 ・要介護高齢者(脳血管障害後遺症・認知症)のQOLの向上のためにどのような支援が必要か、自分の考えを述べるができる。	脳血管障害の原因について調べる。 (予習0.5時間) 要介護高齢者(脳血管障害後遺症・認知症)の口腔の特徴をまとめる。 (復習0.5時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)
5	9/29 (水) 1限	泉 川尻 森	ユニット2-1 食機能の理解 1 〔講義〕	摂食嚥下機能を理解する。	・口腔機能の発達過程と正常な食機能の形成について説明できる。 ・発達過程で障害を受けた場合の機能の再形成への支援について説明できる。 ・摂食嚥下障害の評価法について説明できる。 ・直接訓練・間接訓練の種類と特徴、適応者について説明ができる。	直接訓練・間接訓練の特徴と種類について調べる。 (予習 1時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)
6	9/29 (水) 2限	泉 川尻 森	ユニット2-2 食機能の理解 2 〔講義〕	摂食嚥下障害の評価と対応法を理解する。 高次脳機能障害・認知症を抱える要介護高齢者に対する支援方法を理解する。	・摂食嚥下の各期における障害に対する対応法について説明できる。 ・障害に合わせた食支援法(食器具・食形態・環境など)の選択について説明できる。	ADL、IADL、BDR指標、HDS-R、MMSEの各評価法を調べる。 (予習 1時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)
7	9/30 (木) 1限	黒木 高木	ユニット 3-1 口腔ケア概論 1 〔講義〕	専門的口腔ケアを理解する。	・器質的口腔ケアと機能的口腔ケアについて説明できる。 ・口腔ケア実施による効果について説明できる。 ・対象者の評価法(ADL、IADL、BDR指標、HDS-R、MMSE)について説明できる。	口腔ケア実施による効果についてまとめる。(宿題) (復習 1時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)
8	9/30 (木) 2限	黒木 高木	ユニット 3-2 口腔ケア概論 2 〔講義〕	効果的な口腔ケアについて理解する。	・口腔観察のポイントと手順について説明できる。 ・口腔ケアの手順と使用器材について説明できる。	口腔観察のポイントと手順についてまとめる。(宿題) (復習 1時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)
9	10/11 (月) 3限	黒木	ユニット 3-3 口腔ケア概論 3 〔講義〕	対象者に合わせた口腔ケアを理解する。	・対象者(片麻痺、脳性麻痺児・者、認知症)に合わせた介入法(姿勢の保持、使用器材の選択、感染予防対策)について説明できる。	認知症、終末期への身体的・精神的支援法を調べる。 (予習 1時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)
10	10/12 (火) 1限	黒木	ユニット 3-4 口腔ケア概論 4 〔講義〕	対象者に合わせた口腔ケアを理解する。	・対象者(周術期、終末期)に合わせた介入法(姿勢の保持、使用器材の選択、感染予防対策)について説明できる。	ユニット3をまとめる。(宿題) (復習 1時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目 標領域
11	10/21 (木) 2限	古野	ユニット4-1 介護予防への取り組み 〔講義〕	対象者の生活を支える仕 組みを理解する。	・地域包括ケアシステムのなかで地 域支援事業における歯科衛生士の役 割について説明できる。	介護保険の地域支援 事業について調べ る。 (予習1時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)
12	11/8 (月) 3限	泉 貴島 堀部	ユニット 5-1 口腔ケア概論5 (オーラルフレ イルと口腔機能低下 症) 〔講義・演習〕	オーラルフレイルと口腔 機能低下症との関連を理 解する。	・オーラルフレイルの概念(4つのフ ェーズ)を説明できる。 ・口腔機能低下症の特徴を説明でき る。 ・口腔機能低下症の診断項目と検査 法を提示できる。 ・口腔機能低下の症状と管理方法を 説明できる。 ・口腔機能低下症に対する指導を提 示できる。 ・口腔機能管理における多職種連携 について説明できる。	オーラルフレイルの 4つのフェーズと口 腔機能低下症の特徴 について調べる。 (予習 0.5時間) 口腔機能低下症に対 する患者説明の原稿 を作成する。 (復習 0.5時間)	認知 (問題解 決)
13	12/2 (木) 1限	秋竹	ユニット 4-2 介護予防への取組 み2(レクリエー ション) 〔講義・演習(事 例を基にグルー プワーク)〕	対象者のQOLを支えるた めのレクリエーションの 具体的な方策を提案す る。	・要介護高齢者に対する身体介護、 生活介護の視点から口腔機能向上支 援のためのレクリエーションを立案 することができる。	レクの具体案を作成 する。(宿題) (復習 1時間)	認知 (問題解 決) 精神・運 動 (コント ロール) 情意 (受入)
14	12/15 (水) 2限	堀部 川尻 森	ユニット 5-2 口腔介護計画の立 案 〔講義〕	訪問歯科で果たす歯科衛 生士の役割と多職種との 連携を理解する。	・歯科のない総合病院における歯科 衛生士の役割について説明できる。 ・地域における歯科衛生士の役割に ついて説明できる。 ・施設における歯科衛生士の役割に ついて説明できる。 ・症例に合わせた介護計画を立案す る。	病院・施設で働く多 職種について調べ る。 (予習 0.5時間) 症例に合わせた介護 計画を完成させる。 (宿題) (復習 0.5時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)
15	1/13 (木) 2限	古野	ユニット 5-3 倫理観の確立 〔講義・演習(事 例を基にグルー プワーク)〕	歯科衛生士としての職業 倫理について理解する。	・専門職の価値や倫理について説明 できる。 ・要介護高齢者(認知症高齢者含 む)、終末期、災害時における対象 者のQOL向上のための介入や支援に 対する歯科衛生士の役割について、 自分の考えを述べることができる。	倫理の意味を調べ る。 (予習0.5時間) 目指す歯科衛生士像 を具体的にまとめ る。 (復習0.5時間)	認知 (問題解 決) 精神・運 動 (自動 化) 情意 (内面 化)

口腔介護技術

開講時期： 2 年次後期
授業期間数： 22 コマ；44 時間 1 単位
受験資格要件： 2/3（15 コマ）以上の出席
科目番号： DH021252
評価責任者： 泉喜和子
授業担当者： 堀部晴美、力丸哲也、松尾忠行、
泉喜和子、後藤加寿子、貴島聡子、
黒木まどか、石井綾子、南レイラ、
川尻 望、森沙耶香、
秋竹 純、高木未沙稀

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として、居宅や介護保険施設に入所している精神的・身体的な能力の不全を有した障害者や要介護者、また、認知症や終末期にある対象者の生活の質（QOL）の向上を図るため、多職種と連携・協働し、根拠や理論に基づいた口腔介護（口腔衛生管理および口腔機能管理）の支援ができる技術を修得する。

2. 教育方法

講義・演習、相互実習・相互学習・グループワーク等のアクティブ・ラーニングを行う。

医療・保健・福祉等機関において歯科衛生士・歯科医師・看護師・介護福祉士・社会福祉士として高齢・障害者等の支援に関わった実務経験を生かした基礎教育並びに実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC+プロジェクター

4. 学修方法

本授業を理解するためには、人体の構造と機能、歯・口腔の構造と機能、口腔衛生学、臨床歯科医学、さらに主要 3 科目で学修した知識が必要である。授業を受講するに当たり、下記予習項目に記載された事前学修（予習）を行うこと。授業後は、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行い、事後学修（復習）を怠らないこと。また、授業には、教科書と配布プリントを必ず持参し、授業中は真摯に臨み、理解できないことはその場で質問を行い解決すること。グループワークや症例検討等については、グループで協力して資料を作成し、発表に備えること。レポート課題を提示された場合には、期日までに仕上げる。また本授業は臨床実習、臨地実習と関連があり、理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：22時間】

5. 評価

〔形成的評価〕ミニテスト・レポート

基本的にミニテストは、前回学修した内容の復習、または、授業内容の確認として授業開始直後・終了直前に実施する。

〔総括的評価〕記述試験（70%）、ミニテスト・レポート（10%）、授業参加状況（20%）

〔フィードバック〕ミニテスト、レポートは、その授業時、または次回の授業時に答案を返却する。内容の不十分な箇所にはコメントを加え、再提出を求める場合もある。

総括的評価の結果（成績）は掲示する。

6. 教科書

- 1 本間和代 編集 はじめて学ぶ 歯科衛生士のための歯科介護 第3版 医歯薬出版 2014
- 2 野原幹司 編著 認知症患者の摂食・嚥下リハビリテーション 南山堂 2018

7. 参考書

- 1 菊谷 武 監修 基礎から学ぶ口腔ケア 学習研究社 2018
- 2 菊谷 武 監修 「食べる」介護がまるごとわかる本 メディカ出版 2018

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育目標 領域
1 2	10/21 (木) 3・4限	黒木 中園 貴島 高木	ユニット 1-1 嚥下のメカニズム の理解 (食べる・飲み込む) 〔演習〕	1) 食形態の違いから摂食嚥 下機能を理解する。	(1) 嚥下のメカニズムについて説明できる。 ・先行期 ・準備期 ・口腔期 ・咽頭期 ・食道期 (2) 食形態の違いからメカニズムの対応を 説明できる。 (3) 安全な服薬方法について説明できる。	教科書 1 P 56-62、 109-112 嚥 下のメカニ ズムを調べ る。 (予習 1 時 間)	認知 (解釈) 精神・運動 (コントロール) 情意 (受入)
3 4	A:11/1 (木) 1・2限 B:10/28 (木) 1・2限	堀部 貴島 黒木 秋竹	ユニット2-2 食事介助と口腔ケ ア2 〔演習、相互実 習〕	1) 安全な食事介助の手順に ついて理解する。	(1) 嚥下に関する問診事項を説明できる。 (2) 食事の際の身体所見採取項目を説明で きる。 (3) 摂食嚥下の各期における食事の観察ボ イントを説明できる。 (4) 食後の口腔ケアができる。	教科書2 P37-58 に ついてまと める。 (予習 1 時 間)	認知 (解釈) 精神・運動 (模倣) 情意 (受入)
5 6	A:10/27 (水) 1・2限 B:11/1 (月) 3・4限	秋竹 貴島 森	ユニット3-2 生活介護技術(車 椅子操作) 〔演習、相互実 習〕	1) 生活介護について理解す る。	(1) 車いすの操作について説明できる。 ・安全に車いすの操作ができる。 ・車いすからユニットへの移乗ができ る。 ・安全にガイドヘルプができる。 実技試験：車いすの取り扱い	車いすの各 部の名称、 操作法につ いて調べ る。 (予習 1 時 間)	認知 (解釈) 精神・運動 (模倣) 情意 (受入)
7 8	A:11/2 (火) 1・2限 B:10/27 (水) 1・2限	泉 堀部 貴島 川尻 高木 専攻科AT	ユニット3-3 リスク管理 〔演習、相互実 習〕	1) リスク管理について理解 する。	(1) 緊急時の対応について説明し、適切な 対処を実施できる (2) 身体的対応ができる。 ・救急蘇生(BLS)・AEDの取り扱い ・誤嚥、窒息への対応 (3) バイタルの測定ができる。 ・バイタルサインを理解する ・測定器具の取り扱いができる。 (血圧計・パルスオキシメーター) 実技試験：バイタルの測定 AEDの取り扱い	バイタルの 測定方法、 救急蘇生 (BLS)、AED の取り扱い について調 べる。 (予習 1 時 間)	認知 (解釈) 精神・運動 (模倣) 情意 (受入)
9 10	11/12 (金) 1・2限	石井 川尻 森 高木	ユニット 2-1 口腔ケア1 〔演習、相互実 習〕	1) スポンジブラシの操作法 並びに介助磨きを理解す る。	(1) 器質的口腔ケアについて説明できる。 (2) 誤嚥に注意してスポンジブラシの操作 ができる。 (3) 要介護高齢者に負担をかけずに安全に 介助磨きの介入ができる。 ・口腔周囲筋のマッサージによるリラク ゼーションができる。 ・口腔内の観察ができる。 実技試験：スポンジブラシの取り扱い	介助磨きの 手順をまと める。 (復習 1 時 間)	認知 (解釈) 精神・運動 (模倣) 情意 (受入)
11 12	A:11/17 (水) 1・2限 B:11/24 (水) 1・2限	黒木 川尻 秋竹 高木	ユニット2-3 口腔ケア3 ベッド上のケア 〔演習、相互実 習〕	1) 全介助(視覚・聴覚障害) における口腔ケアの介入法 について理解する。	(1) 全介助における口腔ケア介入時の注意 点を説明できる。 ・安全な姿勢の保持ができる。 ・口腔内の観察ができる。 ・ベッド上でのうがいができる。 ・口腔乾燥に対する対応ができる。 ・適切な保湿剤の使用ができる。	全介助にお ける口腔ケ アの介入に ついてまと める。 (復習 1 時 間)	認知 (問題解決) 精神・運動 (コントロール) 情意 (反応)
13 14	A:11/24 (水) 1・2限 B:11/17 (水) 1・2限	泉 貴島 堀部 森	ユニット3-1 口腔機能低下症の 理解 〔演習、相互実 習〕	1) 口腔機能低下症を理解す る。	(1) 口腔機能低下症に対するスクリーニン グ検査について説明できる。 ・RSST、水飲みテスト、頸部聴診法、オ ーラルディアドコネシス、保湿度 (2) 間接訓練について説明できる。 ・健口体操、パタカラ、嚥下体操、アイ スマッサージ、唾液腺マッサージ (3) 直接訓練について説明できる。	教科書 1 P 158-1 73 口腔リハ ビリの手法 について調 べる。 (予習 1 時 間)	認知 (問題解決) 精神・運動 (コントロール) 情意 (反応)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育目標 領域
15 16	A:12/3 (金) 1・2限 B:12/1 (水) 1・2限	泉 貴島 堀部 森	ユニット3-2 口腔機能低下症に 対する対応の実際 〔演習、相互実習 (A.L) 〕	1) 口腔機能低下症の検査法 を理解し実施する 2) 口腔機能低下の症状と管 理(介入)方法を理解する。 3) 口腔機能低下症に対する 指導法を理解し実施する。	(1) 口腔機能低下症の検査の実施と評価が できる。 ・口腔衛生状態の不良、口腔乾燥、咬合 力低下、舌口唇運動機能低下、低舌 圧、咀嚼機能低下、嚥下機能低下、 EAT-10、自記式質問票 (2) 口腔機能低下症の管理(介入)方法を説明 できる。 ・全身状態、栄養状態、口腔衛生状態不 良、口腔乾燥、口唇の運動機能の低 下、舌の運動機能の低下、舌の筋力の 低下、咬合力・咀嚼機能の低下、嚥下 機能の低下 (3) 口腔機能低下症に対する指導ができ る。 ・口腔介護論11で作成した資料を活用し て患者指導を相互で行う。 (ルーブリック等の評価用紙を活用して自 己・他者を評価する。)	口腔機能低 下症の検査 と評価法に ついて調べ る (予習1時 間) 今回のまと め (復習1時 間)	認知 (問題解決) 精神・運動 (コントロール) 情意 (反応)
17	12/2 (木) 2限	秋竹	ユニット4-1 レクの企画・作成 〔相互学習、グル ープワーク〕	1) 生活支援に着目したレク リエーションの手法を理解 する。	(1) 生活支援に着目したレクリエーション の企画ができる。 ・身体機能並びに口腔機能の向上 個人→ グループでの立案 グループワーク	症例に応じ たレクの立 案をまとめ る (復習1時 間)	認知 (問題解決) 精神・運動 (コントロール) 情意 (反応)
18 19	12/22 (水) 1・2限	秋竹 堀部 力丸 松尾 後藤 貴島 黒木 石井 川尻 森 高木	ユニット4-2 コミュニケーション レク発表会 〔相互学習、グル ープワーク (A.L) 〕	1) 生活支援に着目したレク リエーションの手法を理解 する。	(1) 身体機能並びに口腔機能の促進に着目 したレクリエーションの発表ができ る。 (ルーブリック等の評価用紙を活用して 自己・他者を評価する。)	発表内容の 事前リハー サルの実施 (1時間)	認知 (問題解決) 精神・運動 (コントロール) 情意 (反応)
20	1/11 (火) 2限	堀部 川尻 森	ユニット4-3 ケアプランの作成 口腔介護計画の企 画・作成 〔相互学習、グル ープワーク (A.L) 〕	1) 対象者のQOLを支える ための口腔介護計画を理解 する。	(1) 症例に応じた口腔介護計画を立案でき る。 ・対象者のQOLを支える計画が立案でき る。(個人作成、アシスタントティ チャー)	症例に応じ た口腔介護 計画の立案 をまとめる (予習1時 間)	認知 (問題解決) 精神・運動 (コントロール) 情意 (反応)
21 22	1/21 (金) 1・2限	堀部 川尻 森	ユニット4-4 口腔介護計画検討 会 〔相互学習、グル ープワーク (A.L) 〕	1) 対象者に合わせた口腔介 護計画を理解する。 2) 口腔介護技術のまとめに ついて理解する。	(1) 症例に応じた口腔介護計画を小グル ープ内で発表する。 ・発表者の内容について検討できる。 ・検討会をもとに口腔介護計画を修正 し、完成させる。 (2) 口腔介護技術の学習内容を整理し、対象 者に合わせた支援について理解でき る。	発表内容の 事前リハー サルの実施 (1時間) 事後のまと め (復習1時 間)	認知 (問題解決) 精神・運動 (コントロール) 情意 (反応)

コミュニケーションスキル

開講時期： 2 年次後期
 授業時間： 15 コマ ; 30 時間 2 単位
 受験資格要件： 2 / 3 (10 コマ)以上の出席
 科目番号： DH022301
 評価責任者： 堀部 晴美
 担当教員： 長野 奈穂美

1. 一般目標

将来、社会生活を営み、良好な人間関係を構築し、社会で活躍していくための、「自己表現」「相手への働きかけ力」「情報交換、共有」の手法を学ぶ事で、コミュニケーション能力を修得する。

2. 教育方法

講義・演習・グループワーク・実践

3. 教育教材

教科書・プリント・DVD

4. 学修方法

授業には、指定教科書を持参すること。演習・実践は積極的に行い身につけること。

講義内容を日常生活に活かすこと。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価

〔形成的評価〕出席状況、授業態度（挨拶・発問・質疑・グループワークでの取り組む姿勢など）20%

ミニテスト：1回実施 30%

〔総括的評価〕レポート：50%

〔フィードバック〕不十分な部分についてコメントを付して返却し、場合によっては再提出を求める

6. 教科書

コミュニケーション技法 株式会社ウイネット出版 2020

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育目標 領域
1	9/24 (金) 4限	長野	オリエンテーショ ン ユニット1 講義概要の説明 自己紹介・他人紹 介 講義	1) コミュニケーション の基本を理解する	(1) 自分自身を知り、効果的に良さを相手に 伝えることができる (2) 他人の良さを認め、その良さを他者に 伝えることができる	教科書 P9-14を 精読する 復習 1 時間	認知 (解釈)
2	10/1 (金) 4限	長野	ユニット2 ノンバーバルコミ ュニケーションの 説明 講義・実践	1) 第一印象の重要性を 理解する	(1) 自己の与える印象を自覚することができ る (2) 表情・態度・挨拶が感じよくできる	教科書 P15-36を 精読する 復習 1 時間	認知 (解釈)
3	10/8 (金) 4限	長野	ユニット3 話す能力 きれいな発音・発 声・発話 講義・実践	1) 話す能力を育成する	(1) 話し方の癖を知ること、改善に繋げる (2) 呼吸法・発生方法・活舌・アクセント・ イントネーションの方法を知る	教科書 P38-52を 精読する 復習 1 時間	情意 (反応)
4	10/15 (金) 4限	長野	ユニット4 現在の日本語（会 話）を考える 講義・演習	1) 正しい言葉遣いの必 要性を理解する 2) 敬語の役割と種類を 知る	(1) 正しい言葉遣いの必要性と種類を知り、 使い分けができる	教科書 P53-59を 精読する 復習 1 時間	認知 (解釈)
5	10/22 (金) 4限	長野	ユニット5 職場の方、お客様へ の対応 講義・演習	1) 正しい日本語（敬 語）を身につける	(1) 場面に応じた敬語と接遇用語が使える (2) 職場の方へ、正しい日本語で報連相がで きる	教科書 P60-68を 精読する 復習 1 時間	認知 (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育目標 領域
6	10/29 (金) 4限	長野	ユニット6 接客についてのグループワーク 講義・演習	1) 患者様に接するための意識を持つ 2) 医療現場の敬語を身につける	(1) 敬語を使い、患者様への対応ができる (2) 心配りを示す言葉遣いで信頼関係を築くことができる	プリント 復習 1 時間	認知 (解釈)
7	11/5 (金) 4限	長野	ユニット7 社会人としての会話 講義・実践	1) コミュニケーションに占める「聞くこと」の重要性を理解する 2) 聞き手の理解を考えた話し方を意識する	(1) 相手や状況により、話題や話し方を変えることができる (2) 効果的な聴き方（聴く態度）を身につける	教科書 P122-134を 精読する 復習 1 時間	認知 (解釈)
8	11/12 (金) 4限	長野	ユニット8 社会人としての聞き方の説明 患者様への対応 講義・実践・演習	1) 「聞くことも表現である」を理解し、手法を知る 2) 相手の話を引き出すための方法を知る 「積極的傾聴訓練」 …患者様への対応 3) 患者様の気持ちを考えることができる	(1) 相手の立場、価値観を理解し、注意点を知る (2) 相手に興味を持ち、認める (3) 患者様の気持ちを考えた聞き方ができる	教科書 P136-142を 精読する プリント 復習1時間	精神運動 (コントロール)
9	11/19 (金) 4限	長野	ユニット9 状況対応能力の実践① 電話対応 講義	1) 電話対応の基本を知る 2) 医療機関での電話対応を身につける	(1) 一般的なビジネス用語を知る (2) 患者様や外部からの電話の対応ができる (3) 対面と電話とのコミュニケーションの取り方の違いについて理解する	プリント 復習 1 時間	認知 (解釈)
10	11/26 (金) 4限	長野	ユニット10 状況対応能力の実践② 苦情対応 ※確認テスト 講義・演習	1) 患者様の心理を理解した対応を身につける	(1) 苦情対応の基本を理解できる (2) 苦情対応の正しい言動ができる	プリント 復習 1 時間 これまでの復習 (確認テスト対策)	精神運動 (コントロール) 情意 (受入)
11	12/2 (金) 4限	長野	ユニット11 プレゼンテーションの説明 講義・実践	1) 現状の自分のコミュニケーション能力を確認する 2) 話す前の心構え、準備を理解する	(1) 現状の自分の話し方を確認する (2) 話す前の準備ができる (3) その場にふさわしい話す内容を見つめる	教科書 p 70-80を 精読する 復習 1 時間	認知 (解釈)
12	12/9 (金) 4限	長野	ユニット12 プレゼンテーションの実践① 講義・実践	1) 自己の考えを簡潔にまとめ、伝えるための工夫ができる 2) 話の構成技術を理解する	(1) 効果的な伝え方を知る (2) 表情・態度・挨拶・言葉遣い・話し方を意識できる	教科書 P82-98を 精読する 復習 1 時間	認知 (解釈) 精神運動 (反応)
13	12/17 (金) 4限	長野	ユニット13 プレゼンテーションの実践② 講義・実践	1) 「言葉以外のもの」が聞き手に影響を与えることを再認識し実践できる 2) 準備したことを駆使して相手の心をつかむ	(1) 効果的な表現方法を身につける (2) 以前の自分よりも上手くなっていることが自覚できる	教科書 P100-120を 精読する 復習 1 時間	認知 (問題解決)
14	1/14 (金) 4限	長野	ユニット14 「ツナゲルチカラ」DVD視聴 講義・グループワーク	1) 自分の考えを発表し、他者の意見を聴く。他者との違いを意識することに意味があることを理解する 2) 自分の働く姿を想像し、コミュニケーションの取り方を考えられる	(1) 発言力だけでなく、他の人から聴き出す力（傾聴力）が大事であり、このような力が社会で通用するコミュニケーションスキルだと知る (2) 仕事はみんなでやるものであり、一人で勝手にやるものではないことを自覚する	リアクションペーパーを見ながらDVDを振り返る 復習 1 時間	認知 (問題解決) 精神運動 (コントロール)
15	1/12 (金) 4限	長野	ユニット15 まとめ グループでゲームを実施 講義	1) 知識の確認と、知識の活かし方を理解する	(1) コミュニケーションの重要性を理解し行動ができる (2) 感謝の心を言葉にできる (3) これまで学んだことを生かして行動できる	全講義振り返り 復習 1 時間	認知 (問題解決) 情意 (受入)

接遇

開講時期： 2 年次後期
 授業時間数： 15 コマ；30 時間 2 単位
 受験資格要件： 2/3（10 コマ）以上の出席
 科目番号： DH022302
 評価責任者： 堀部 晴美
 担当教員： 藏田 純子

1. 一般目標

本授業は将来歯科衛生士として活躍する為に、豊かな教養と人間性を備え周りから信頼される人間形成を目指す。多様な対象者に対し感じの良い対応をする為に必要な接遇能力を習得する。常に「相手がしてほしい事」を観察し、一歩先の「想像力」を働かせプラスαの心遣いを添えた接遇力を身につける。

2. 教育方法

講義、演習、ペアワーク、ロールプレイング、グループディスカッション

3. 教育教材

教科書、プリント

4. 学修方法

授業には指定教科書とノートを持参する。配布プリントは綴って保管する。事前学習として下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読み、主体性をもって授業に臨むこと。授業中個人作業ではノートを取り不明な点は積極的に質問する。共同作業では協調性を意識した上で積極的に発言し、相手の言動を尊重する。授業はその日のうちに授業内容の復習をし、学んだことは日常生活に取り入れ習慣化する。【単位修得に必要な授業外修時間：15時間】

5. 評価方法

【形成的評価】小テスト

【フィードバック】小テストは次回に授業で返却して振り返りをする。特に間違いが多かった箇所は改めて説明する。

【総括的評価】記述試験（70%）、小テスト・授業態度（30%）

【フィードバック】試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。

6. 教科書

歯科スタッフのマナーと実践マニュアル（第2版）編集・発行 一般財団法人 口腔保健協会

7. 参考書

なし

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/24 (金) 3限	藏田	ユニット1 接遇の基本と意義 【講義・グループ ディスカッション】	1) 接遇の基本と意義 を理解する	(1) 明るい挨拶ができる（自己紹介）	1) 接遇の基本と 意義を理解する	認知 (想起) 情意 (受入)
2	10/1 (金) 3限	藏田	ユニット2 デンタルスタッフ の一員として1 【講義・ペアワー ク・グループディ スカッション】	1) 職種ごとの仕事の 内容や役割を理解 する 2) 患者が感じる印象 について理解する	(1) 何を患者が求めているのかを理解し 行動できる (2) 患者から感じがよいと思われる行動 を理解し、行動できる (3) 感謝の気持ちを持ち、表現すること ができる	教科書P2～P7を 精読する 日常生活で習慣化 する 1時間	認知 (想起) 情意 (受入)
3	10/8 (金) 3限	藏田	ユニット2 デンタルスタッフ の一員として2 【講義・ペアワー ク・ロールプレイ ング】	1) 職場での人間関係 について理解する 2) 命令の受け方と報 告の仕方を理解す る	(1) 報告・連絡・相談の重要性を理解 し、行動化することができる (2) 素直な態度で注意を受けることがで きる (3) 迅速かつ簡潔な報告ができる (5W3Hを理解している)	教科書P8～12を精 読する 日常生活で習慣化 する 1時間	認知 (解釈) 情意 (受入)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育 目標 領域
4	10/15 (金) 3限	藏田	ユニット3 社会人としての基本的なマナー 1 【講義・ペアワーク・グループディスカッション】	1) 社会や職場で求められるマナーについて理解する	(1) 社会人と学生の違いを説明できる (2) 欠勤、早退、遅刻などの注意点を理解し、社会人として適切な行動ができる (3) 職場での適切な身だしなみを心掛けることができる (清潔感・調和・機能性)	教科書P14～P19を精読する 日常生活で習慣化する 1時間	認知 (解釈) 情意 (受入) 精神 運動 (模倣)
5	10/22 (金) 3限	藏田	ユニット3 社会人としての基本的なマナー 2 【講義・演習・ペアワーク】	1) 第一印象の重要性について理解する 2) 好印象を与える5原則について理解する	(1) 明るい笑顔で挨拶ができる (2) 清潔感のある身だしなみができる (3) 正しい立ち方ができる (4) 正しい姿勢でお辞儀ができる	プリント使用 1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (模倣)
6	10/29 (金) 3限	藏田	ユニット3 社会人としての基本的なマナー 3 【講義・演習】	1) 敬語の種類について理解する 2) 好感の持たれる話し方について理解する	(1) 敬語の種類を理解し、立場や状況を考えて話し方ができる (2) 社会人として求められる適切な敬語で話せる (3) 相手に合わせたスピードや声量で話せる	教科書P18～P19を精読する 日常生活で習慣化する 1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (自動化)
7	11/5 (金) 3限	藏田	ユニット3 社会人としての基本的なマナー 4 【講義・演習】	1) 状況に応じた言葉遣いを理解する	(1) 改まった接客用語が使える (2) 接遇者としての感じの良い適切な言い回しができる (3) クッション言葉を遣い、優しく安心感を与える話し方ができる	教科書P20～P21を精読する 日常生活で習慣化する 1時間	情意 (受入) 精神 運動 (自動化)
8	11/12 (金) 3限	藏田	ユニット3 社会人としての基本的なマナー 4 【講義・ペアワーク】	1) 来客へお応対の基本を理解する 2) お茶接待の基本を理解する	(1) TPOに合わせたお辞儀ができる(会釈・敬礼・最敬礼) (2) 名刺の正しい受け方ができる (3) 案内の基本を理解し実践することができる(廊下での案内・ドア操作など) (4) 迅速・安全かつ丁寧なお茶出しができる	プリント使用 1時間	情意 (受入) 精神 運動 (自動化)
9	11/19 (金) 3限	藏田	ユニット4 一日の仕事の流れ 1 【講義・演習・ペアワーク】	1) 院内点検と診療室の準備を理解する 2) 受付の仕方を理解する	(1) 整理・整頓を意識し、相手の立場に立った点検ができる (2) 安心感を与える爽やかな笑顔で受付ができる (3) クッション言葉や依頼形を遣った優しい話し方ができる	教科書P26～P31を精読する 日常生活で習慣化する 1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (自動化)
10	11/26 (金) 3限	藏田	ユニット4 一日の仕事の流れ 2 【講義・ロールプレイング】	1) 患者の誘導案内と診療補助について理解する 2) 次の予約からまでを理解する	(1) 安心感を与える明るい表情で案内誘導できる (2) 薬の知識を理解し、分かりやすく説明する事ができる (3) 間違いのない会計が迅速にできる	教科書のP36-51を精読する。 (予習0.5時間・復習0.5時間)	情意 (受入) 精神 運動 (自動化)
11	12/3 (金) 3限	藏田	ユニット5 患者との対応例 1 【講義・ペアワーク・グループディスカッション】	1) 患者の立場に立った対応を理解する 2) 初診、再診、子供の受付の違いを理解する	(1) すべての患者に対して公平かつ平等に対応することができる (2) 初診、再診、子供に対して分かりやすく適切な言葉遣いで対応することができる	教科書P42～P45までを精読する 日常生活で習慣化する1時間	情意 (受入) 精神 運動 (自動化)
12	12/10 (金) 3限	藏田	ユニット5 患者との対応例 2 【講義・ロールプレイング】	1) 診療室での対応を理解する 2) 診療後の対応を理解する	(1) 診療開始から終了まで優しい言葉で患者に安心感を与える声掛けができる (2) 次の予約から会計まで適切な接遇用語で説明することができる (3) 薬を丁寧に受け渡す事ができる	教科書P46～P49までを精読する 日常生活で習慣化する 1時間	情意 (受入) 精神 運動 (自動化)
13	12/17 (金) 3限	藏田	ユニット5 患者との対応例 3 【講義・ロールプレイング】	1) ユニバーサルマナーについて理解する 2) パーソナルスペースについて理解する	(1) 泣き叫ぶ子供の対応が説明できる(患者の目線に合わせた対応) (2) 高齢者の対応が説明できる (3) 身体の不自由な患者の対応が説明できる(視覚、聴覚、妊婦、子供連れなど)	教科書P50～P51を精読する 日常生活で習慣化する 1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (コントロール)
14	1/14 (金) 3限	藏田	ユニット5 患者との対応例 4 【講義・ペアワーク】	1) 電話対応の基本を理解する 2) 電話の受け方、取り次ぎ方を理解する	(1) 明るい声や表情で対応ができる (2) 予約や予約変更の対応ができる (3) 予約キャンセルの対応ができる (4) 院長やスタッフへの取次ができる	教科書P52～P59を精読する 1時間	情意 (受入) 精神 運動 (コントロール)
15	1/21 (金) 3限	藏田	ユニット5 患者との対応例 4 【講義・演習】	1) 電話のかけ方を理解する 2) 苦情電話について理解する	(1) 患者宅へ電話をかける事ができる (2) 苦情電話を迅速にかつ誠実に処理する事ができる	教科書P52～P59を精読する 1時間	認知 (解釈) 精神 運動 (コントロール)

中国語

開講時期： 2年次後期
 授業時間数： 15コマ；30時間2単位
 受験資格要件： 2/3（10コマ）以上の出席
 科目番号： DH022303
 評価責任者： 堀部晴美
 授業担当者： 張 璐（チョウ ロ）

1. 一般目標

初心者として、中国語の発音の仕方を習得し、基本的な文法の仕組みを理解する。将来、初歩的な中国語によるコミュニケーションを行うための基礎作りを目標とする。

2. 教育方法

講義・ペアワーク・グループワークを行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、プロジェクター

4. 学修方法

授業には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中は発音練習などに積極的に参加すること。授業後は、教科書にあるCDを聴き、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。レポート課題は、締め切り期日を守ること。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価

【形成的評価】確認テスト・レポート・授業態度（発問・質疑・ペアワークでの暗誦や協力等）（40%）

確認テストは、各ユニットの終了時に行う。授業時間内においてミニテストを5～6回実施する予定。

【フィードバック】採点后、答案を返却し、模範解答を示し、解説を行う。

【総括的評価】定期試験：記述試験（60%）

【フィードバック】試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。尚、詳細は講義の初日に説明する。

6. 教科書

<最新版> 『1年生のコミュニケーション中国語』劉穎 著、白水社、2014

7. 参考書

なし

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/22 (水) 3限	張	オリエンテーション ユニット1 中国、中国語 講義・グループワーク・ビデオ供覧	1、映像資料（DVD）を通して、中国の概要を理解する。 2、発音の特徴を理解する。	1、中国について関心を持ち、基本的な事情を述べることができる。 2、中国語の発音の特徴を理解し、真似して発音できる。	教科書にあるCDを聴きながら、p6を読む 復習1時間	認知 (想起) 精神運動 (模倣)
2	9/29 (水) 3限	張	ユニット2 発音編1～3・簡体字 講義・グループワーク・ビデオ供覧	1、単母音、声調、子音の発音の仕組みを理解する。 2、映像資料（DVD）を通して、中国語の漢字（簡体字）と日本語の漢字の違いを理解する。	1、練習を通して、中国語の発音の仕方を理解し、発音記号を判別し、正確に発音できる。 2、簡体字を正しく書くことができる。	教科書にあるCDを聴きながら、p6～7を読む 復習1時間	精神運動 (模倣) 認知 (想起)
3	10/6 (水) 3限	張	ユニット3 発音編3～5・第1課自己紹介 講義・ペアワーク	1、子音、複母音、鼻母音の発音の仕組みを理解する。 2、名前の言い方、「知って便利な呼び方」を理解する。	1、練習を重ねて、中国語の発音の仕方を理解し、発音記号を判別し、正確に発音できる。 2、自己紹介や人を紹介する文の構造を理解し、正しく簡体字で書くことができる。	教科書にあるCDを聴きながら、p7～8とp10～13を読む 復習1時間	精神運動 (模倣) 認知 (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
4	10/13 (水) 3限	張	ユニット4 発音編5-8・第1 課人称代名詞、動 詞の「是」 講義・ペアワー ク・ビデオ供覧	1、鼻母音、軽声、声調 の変化、「儿化」音の 発音の仕組みを理解す る。 2、人称代名詞、「是」 の文を理解する。	1、練習を重ねて、中国語の発音の仕方を理解 し、発音記号を判別し、自分の名前などを中 国語で正確に発音できる。 2、例文の和訳や練習問題を通して、人称代名 詞と「是」の文を正しく書くことができる。	教科書にある CDを聴き ながら、p8 -9と12- 15を読む 復習1時間	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
5	10/20 (水) 3限	張	ユニット5 第1課会話、助詞 「呢」、副詞 「也」、「清」 講義・ペアワーク	1、会話本文の意味と助 詞「呢」、副詞 「也」、「清」の使い 方を理解する。 2、本文や練習問題の文 を真似して文を作る。	1、例文練習を通して、助詞「呢」、副詞 「也」、「清」を使って、正しい文を書くこ とができる。 2、ペアを組んで、初対面の場面での会話がで きる。	教科書にある CDを聴き ながら、 p12-15を 読む 復習1時間	認知 (解釈) 精神運動 (自動化)
6	10/27 (水) 3限	張	ユニット6 第2課指示代名詞 (1)、疑問詞 「吗」、否定の副 詞「不」 講義・ペアワー ク・ビデオ供覧	1、指示代名詞(1)、 疑問詞「吗」、副詞 「不」を使う動詞述語 の否定文の仕組みを理 解する。 2、会話本文の内容を真 似して文を作る。	1、例文の和訳を通して、指示代名詞(1)、 疑問詞「吗」、副詞「不」を使う動詞述語の 否定文を正しく使うことができる。 2、ペアを組んで、会話文本文を真似して作っ た文を言うことができる。	教科書にある CDを聴き ながら、 p16-18を 読む 復習1時間	認知 (解釈) 精神運動 (自動化)
7	11/10 (水) 3限	張	ユニット7 第2課疑問詞「什 么」、…の… 「的」 講義・ペアワー ク・グループワー ク	1、疑問詞「什么 (何)」を使う文や、 …の…(「的」)の表 現を理解する。 2、練習問題を活用す る。	1、例文の和訳を通して、疑問詞「什么」や、 …の…(「的」)を使って正しい文を書くこ とができる。 2、リスニングの練習を重ねて、中国語の単語 や文を正確に書き取ることができる。	教科書にある CDを聴き ながら、 p16-19を 読む 復習1時間	認知 (解釈) 精神運動 (コン ト ロール)
8	11/17 (水) 3限	張	ユニット8 第3課指示代名詞 (2)、形容詞述 語文 講義・ペアワー ク・ビデオ供覧	1、指示代名詞(2)の 使い方や、形容詞述語 文の仕組みを理解す る。 2、会話本文の内容を真 似して文を作る。	1、例文の和訳を通して、指示代名詞を正しく 使うことと、形容詞述語文を活用することが できる。 2、ペアを組んで、会話文本文を真似して作っ た文を言うことができる。	教科書にある CDを聴き ながら、 p20-22を 読む 復習1時間	認知 (解釈) 精神運動 (自動化)
9	11/24 (水) 3限	張	ユニット9 第3課形容詞述語 文、疑問詞「怎么 样」 講義・ペアワー ク・グループワー ク	1、形容詞述語文の仕組 みを確認し、疑問詞 「怎么样」の使い方を 理解する。 2、練習問題を活用す る。	1、例文の和訳を通して、形容詞述語文と、疑 問詞「怎么样」を使って、事物の様態を評価 し、活用することができる。 2、リスニングの練習を重ねて、中国語の単語 や文を正確に書き取ることができる。	教科書にある CDを聴き ながら、 p20-23を 読む 復習1時間	認知 (解釈) 精神運動 (自動化)
10	12/1 (水) 3限	張	ユニット10 第4課数詞、助詞 「吧」 講義・ペアワー ク・ビデオ供覧	1、日本語の数詞との違 いを理解し、助詞 「吧」を使う文の意味 を理解する。 2、会話本文の内容を真 似して文を作る。	1、例文の和訳を通して、「吧」を使う文を正 しく書くことができる。 2、中国語で数を言うことができ、日付や時刻 を数字で言える。 3、ペアを組んで、会話文本文を真似して作っ た文を言うことができる。	教科書にある CDを聴き ながら、 p24-26を 読む 復習1時間	認知 (解釈) 精神運動 (自動化)
11	12/8 (水) 3限	張	ユニット11 第4課数量を表わす 語、数詞、人民元 の数え方 講義・ペアワーク	1、数詞と数量を表わす 語の組み合わせの仕方 や、人民元に関する知 識を理解する。 2、練習問題を活用す る。	1、例文の和訳を通して、物の数や金額を正確 に言うことができる。 2、リスニングの練習を重ねて、数詞や金額な どを正確に書き取ることができる。	教科書にある CDを聴き ながら、 p24-27を 読む 復習1時間	認知 (解釈) 精神運動 (コン ト ロール)
12	12/15 (水) 3限	張	ユニット12 第5課場所指示代名 詞、動詞「在」 講義・ペアワー ク・ビデオ供覧	1、場所指示代名詞の使 い方や、動詞「在」の 文の仕組みを理解す る。 2、会話本文の内容を真 似して文を作る。	1、例文の和訳を通して、場所指示代名詞を活 用することと、動詞「在」の文を正確に書く ことができる。 2、ペアを組んで、会話文本文を真似して作っ た文を言うことができ、人や物の所在につい て説明できる。	教科書にある CDを聴き ながら、 p28-30を 読む 復習1時間	認知 (解釈) 精神運動 (自動化)
13	12/22 (水) 3限	張	ユニット13 第5課動詞「在」、 助動詞「想」、方 位詞 講義・ペアワーク	1、方位詞を使って、動 詞「在」の文の仕組み を再確認し、助動詞 「想」の使い方を理解 する。 2、練習問題を活用す る。	1、例文の和訳を通して、動詞「在」の文と助 動詞「想」を使う文を活用することができる。 2、リスニングの練習を重ねて、場所を示す部 分を聞き分けることができる。	教科書にある CDを聴き ながら、 p28-31を 読む 復習1時間	認知 (解釈) 精神運動 (自動化)
14	1/12 (水) 3限	張	ユニット14 第6課動詞「有」、 何の～(「什么」 +名詞) 講義・ペアワー ク・ビデオ供覧	1、動詞「有」の文の仕 組みや、何の～(「什 么」+名詞)の使い方 を理解する。 2、会話本文の内容を真 似して文を作る。	1、例文の和訳を通して、動詞「有」の文を正 確に書くことと、(「什么」+名詞)を活用 することができる。 2、ペアを組んで、会話文本文を真似して作っ た文を言うことができる。	教科書にある CDを聴き ながら、 p32-34を 読む 復習1時間	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
15	1/19 (水) 4限	張	ユニット15 第6課助数詞、総合 復習 講義・ペアワーク	1、日本語にある助数詞 との違いを理解する。 2、練習問題を活用す る。 3、第1-6課の学習ポ イントをまとめる。	1、助数詞の表現を動詞「有」の文に組み入れ て、ものを数えることができる。 2、リスニングの練習を重ねて、助数詞を示す 部分や「有り・なし」の意味を聞き分けるこ とができる。	教科書にある CDを聴き ながら、 p32-35を 読む 復習1時間	認知 (解釈) 精神運動 (コン ト ロール)

韓国語

開講時期： 2年次後期
 授業時間数： 15コマ；30時間2単位
 受験資格要件： 2/3（10コマ）以上の出席
 科目番号： DH022304
 評価責任者： 堀部晴美
 授業担当者： 朴明美

1. 一般目標

韓国語の〔講義〕を通じて異文化を理解し、幅広いコミュニケーション能力の修得とともに歯科衛生士としての豊かな教養と人間性を修得する。

2. 教育方法

〔講義〕・演習・グループワークを行う。

3. 教育教材

プリント等

4. 学修方法

授業は、プリントを使って、韓国語を学び、そして、YouTubeを使って韓国歴史、事情、文化などについて学ぶ。授業には必ず前に配ったプリントを持参すること。事前学修としては、復習と予習を怠らないこと（特に、復習）。授業中はノートを取ること。授業後は、配布プリント等で〔講義〕内容の確認をその日のうちに行うこと。レポート課題は、締め切り期日を守ること。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15 時間】

5. 評価方法

〔形成的評価〕授業態度（宿題、読み、小テスト、グループ発表など）

〔フィードバック〕都度振り返りを行う。

〔総括的評価〕定期試験：平常点50%，記述と口述試験（50%）

〔フィードバック〕試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。注意：毎回の授業はとても大切です。無断欠席しないこと（無断欠席の場合は、出席点数20点から減点3点）。欠席した場合は必ずその理由を報告すること。特に、最初の文字を習う段階では必ず出席すること。

6. 教科書は使用せず、下記のプリントを使う。

『すぐに読めるハングル文字』 朴明美 著

7. 参考書

辞書（自由。日/韓又は、韓/日辞典）

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/22 （水） 4 限	朴	韓国語について 〔講義〕	1) 韓国語について理解する。 2) 基本母音字を習う	1. 文字がわからなくても会話ができる。ハングルの仕組み、基本母音を覚える。 2. 会話練習：「～は～です。」 「ここは～です。」など。	学んだことを復習 復習1時間	認知 （想起） 情意 （受入）
2	9/29 （水） 4 限	朴	文字と発音 1 〔講義〕	1) 二重母音字を習う 2) 基本子音字を習う 3) 「子音+母音」構造の読み方を理解する。	前の週の会話の復習 1. 簡単な挨拶ができる。 2. 会話練習「～があります」	学んだことをまとめる。 復習1時間	認知 （想起） 情意 （受入）
3	10/6 （水） 4 限	朴	ユニット 2-2 文字と発音 2 〔講義〕	日本語の固有名詞をハングルで書く	1. 「子音+母音」構造の文字が読め、発音できる。 2. 前の週の会話の復習 3. 会話：「～は～にあります」を覚える。	学んだことをまとめる。 復習1時間	認知 （想起） 情意 （受入）
4	10/13 （水） 4 限	朴	ユニット 2-3 文字と発音 3 〔講義〕	「子音+母音+子音」構造の読み方を理解する。	1. 自分の名前と日本語の固有語をハングルで書く。 2. 数字を覚える。	学んだことをまとめる。 復習1時間	認知 （解釈） 情意 （受入）
5	10/20 （水） 4 限	朴	ユニット 2-4 まとめ 〔講義〕	復習1時間目に習った会派の「～は～です」の韓国語の文章を書く。	1. 自己紹介ができる。 ・確認テストの実施 2. 曜日を覚える	学んだことをまとめる。 復習1時間	認知 （解釈） 情意 （受入）

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
6	10/27 (水) 4 限	朴	ユニット 3-1 肯定文 [講義]	1) 肯定文と疑問文を理解する。	1. 肯定文を用いて会話ができる。 ・「～は～です/～は～ですか」	学んだことを まとめる。 復習1時間	認知 (解釈) 情意 (受入)
7	11/10 (水) 4 限	朴	ユニット 3- 2 自己紹介と挨拶 [講義]	1) 「－세요」を応用して「～してください」を習う。	1. 会話:「～は～がすきです」	学んだことを まとめる。 復習1時間	認知 (解釈) 情意 (受入)
8	11/17 (水) 4 限	朴	ユニット 4-1 否定文 [講義]	1) 否定文について理解する	1. 否定文を用いての会話。	学んだことを まとめる。 復習1時間	認知 (解釈) 情意 (受入)
9	11/24 (水) 4 限	朴	ユニット 4-2 漢数詞 [講義]	1) 日にちと曜日	2. 漢数詞文を用いて会話ができる。 「今日は何月何日です」 「今日は何曜日です」	学んだことを まとめる。 復習1時間	認知 (解釈) 情意 (受入)
10	12/ 1 (水) 4 限	朴	ユニット 4-3 まとめ 韓国豆知識 1 [講義]	1) 動詞を習う	1. 動詞を使つての文章を作る。 ・確認テストの実施	学んだことを まとめる。 復習1時間	認知 (解釈) 情意 (受入)
11	12/ 8 (水) 4 限	朴	ユニット 5-1 打ち解けた丁寧形 1 [講義]	1) 動詞と形容詞	1. 動詞と形容詞を使った文章を作る。	学んだことを まとめる。 復習1時間	認知 (問題解決) 情意 (受入)
12	12/15 (水) 4 限	朴	ユニット 5-2 打ち解けた丁寧形 2 [講義]	1) 動詞の進行形	1. 現在進行形の文章を作る ・「韓国語を習っています。」	学んだことを まとめる。 復習1時間	認知 (問題解決) 情意 (受入)
13	12/22 (水) 4 限	朴	ユニット 5-3 まとめ 韓国豆知識 2 [講義]	1) 希望形	1. 「私は～がしたいです」パターンの文章を作る。	学んだことを まとめる。 復習1時間	認知 (解釈) 情意 (受入)
14	1/12 (水) 4 限	朴	ユニット 6-1 [講義]	1) ～が好きです	1. 「～は～が好きです」 2. 「～は～が好きではありません。」	学んだことを まとめる。 復習1時間	認知 (解釈) 情意 (受入)
15	1/19 (水) 4限	朴	ユニット 6-2 まとめ [講義]	1) まとめ	定期試験に向けて復習	学んだことを まとめる。 復習1時間	認知 (問題解決) 情意 (受入)

心 理 学

開講時期： 2 年次前期
 授業時間数： 15 コマ；30 時間 2 単位
 受験資格要件： 2/3（10 コマ）以上の出席
 科目番号： DH022307
 評価責任者： 堀部晴美
 授業担当者： 石橋孝明

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として、豊かな教養と人間性を備えるとともに、人の心の仕組みやストレス等を理解して多様な対象者との幅広いコミュニケーションを図り、対人関係能力を身につけた治療技術を行行使するため、心理学の基礎知識を修得する。

2. 教育方法

教科書を用いて配布プリントによるノート作成を行い、その後、パワーポイントによる説明・解説を行う。

3. 教育教材

教科書、ノート作成用プリント、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業には、指定教科書を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中は配布したプリントでノート作成をすること。授業後は、教科書や作成したノート等で〔講義〕内容の確認をその日のうちに行うこと（事後学修・復習）。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価方法

〔形成的評価〕ノート作成（30%）観察記録・授業態度（発問・質疑等）（10%）

〔総括的評価〕記述・語群選択試験（60%）

〔フィードバック〕試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。尚、詳細は〔講義〕の初日に説明する。

6. 教科書

『最新歯科衛生士教本 心理学』医歯薬出版 2017

7. 参考書

- 1 杉田峰康 著、「交流分析のすすめ—人間関係に悩むあなたへ」、日本文化科学社、1990
- 2 渡辺俊之 著 「ケアの心理学—癒しとささえの心をさがして」、ベスト新書、2001
- 3 平木典子 著、「改訂版 アサーショントレーニング—さわやかな自己表現のために」、2009

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1	4/8 (木) 1限	石橋	オリエンテーション ユニット1 見る・聞く・感じる ところ 〔講義〕	1) 知覚の成立を知る 2) 知覚の特徴を学ぶ 3) 知覚への影響要因を知る	1) 知覚がどのように成立しているか述べる ことができる。 2) 知覚の特徴を述べる ことができる 3) 知覚への影響要因を述べる ことができる	教科書の P2-14を精 読する 復習 1 時間	認知 (想起)
2	4/15 (木) 1限	石橋	ユニット2 学ぶ・覚える ところ 〔講義〕	1) 学習の成立を知る 2) 記憶の構造や過程を理 解する 3) 記憶の病理やゆがみに ついて学ぶ	1) 学習がどのように成立しているか述べる ことができる 2) 記憶の構造や過程について述べる ことができる 3) 記憶の病理やゆがみについて述べる ことができる	教科書の P16-26を精 読する 復習 1 時間	認知 (想起)
3	4/22 (木) 1限	石橋	ユニット3 やる気の心 理 〔講義〕	1) 動機のパラダイムを知る 2) 動機づけの種類を知る 3) 欲求の種類と特徴を理 解する	1) 動機のパラダイムについて述べる ことができる 2) 動機づけの種類について述べる ことができる 3) 欲求の種類と特徴について述べる ことができる	教科書の P28-37を精 読する 復習 1 時間	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
4	5/6 (木) 1限	石橋	ユニット4 喜怒哀楽のこころ 〔講義〕	1) 感情の種類とメカニズムを知る 2) 欲求選択の葛藤のタイプについて知る 3) フラストレーションについて理解する 4) ストレスの対処について知る	1) 感情の種類とそのメカニズムについて述べることができる 2) 欲求選択の葛藤のタイプについて述べることができる 3) フラストレーションについて説明し、どのようにすれば耐えられるかを述べることができる 4) ストレスに対処することができる	教科書のP40-52を精読する 復習 1 時間	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
5	5/13 (木) 1限	石橋	ユニット5 その人らしさの心理 〔講義〕	1) パーソナリティの特徴を知る 2) パーソナリティの調べ方を理解する 3) パーソナリティ障害について知る	1) パーソナリティの特徴について述べることができる 2) パーソナリティについて調べることができる 3) パーソナリティ障害について述べることができる	教科書のP54-65を精読する 復習 1 時間	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
6	5/20 (木) 1限	石橋	ユニット6 かしこさの心理 〔講義〕	1) 知能とその構造について知る 2) 知能の測定方法を学ぶ 3) 知能障害の仕組みについて理解する	1) 知能とはどのようなもので、その構造はどうなっているかを述べることができる 2) 知能の測定方法について説明できる 3) 知能障害の仕組みについて説明できる	教科書のP68-80を精読する 復習 1 時間	認知 (解釈)
7	5/27 (木) 1限	石橋	ユニット7 考えるこころ 〔講義〕	1) 考えるとはどういうことが理解する 2) 問題解決方法について知る 3) 創造する過程とその方法について学ぶ	1) 考えるとはどういうことかを説明できる 2) 問題解決方法について説明できる 3) 創造する過程とその方法について説明できる	教科書のP82-92を精読する 復習 1 時間	認知 (解釈)
8	6/3 (木) 1限	石橋	ユニット8 発達するこころ (1) 〔講義〕	1) 発達に影響する要因を知る 2) 発達課題について学ぶ 3) 乳幼児から児童期の発達の姿を理解する	1) 発達に影響する要因について述べることができる 2) それぞれの時期の発達課題について述べることができる 3) 乳幼児から児童期にかけての発達の姿について述べることができる	教科書のP94-110を精読する 復習 1 時間	認知 (解釈)
9	6/10 (木) 1限	石橋	ユニット9 発達するこころ (2) 〔講義〕	1) 青年期について理解する 2) 成人期と中年期について理解する 3) 高齢期について理解する	1) 子どもからおとなへと成長していく過程について説明することができる 2) 人生の充実期と転換期について説明することができる 3) 喪失と衰退、成熟と充実の両過程について説明することができる	教科書のP112-124を精読する 復習 1 時間	認知 (解釈)
10	6/17 (木) 1限	石橋	ユニット10 人と関わる心理 〔講義〕	1) 他者の特徴の捉え方と印象形成について知る 2) 自他の行動原因の捉え方について理解する 3) 人を好きになる要因を知る	1) 他者の特徴をどのように捉え、印象を形成しているのか説明することができる 2) 自他の行動原因の捉え方について説明できる 3) 人を好きになる要因について説明することができる	教科書のP126-134を精読する 復習 1 時間	認知 (解釈)
11	6/24 (木) 1限	石橋	ユニット11 人と集うこころ 〔講義〕	1) 集団の特徴を知る 2) リーダーシップについて理解する 3) 集団が人の行動に及ぼす影響について学ぶ	1) 集団の特徴はどのようなものがあるか述べることができる 2) リーダーシップについて説明することができる 3) 集団が人の行動に及ぼす影響についてどのようなものがあるか説明することができる	教科書のP136-148を精読する 復習 1 時間	認知 (解釈)
12	7/1 (木) 1限	石橋	ユニット12 健康なこころ 〔講義〕	1) こころの健康状態について知り、その測定方法を知る 2) こころの健康が損なわれると生じる状態について学ぶ 3) 心理的問題の専門的援助方法について理解する	1) こころの健康状態とその測定方法について説明することができる 2) こころの健康が損なわれると生じる状態について説明することができる 3) 心理的問題の専門的援助方法について述べることができる	教科書のP150-164を精読する 復習 1 時間	認知 (解釈)
13	7/8 (木) 1限	石橋	ユニット13 カウンセリングのこころ 〔講義〕	1) 歯科医療におけるコミュニケーションの意義を理解する 2) 歯科医療におけるロジャーズの基本姿勢を理解する 3) 患者さんへの支援の意義を理解する	1) 歯科医療におけるホスピタリティに富んだコミュニケーションの意義について説明できる 2) 歯科医療におけるロジャーズの基本姿勢について説明することができる 3) 患者さんへの支援の意義について述べることができる	教科書のP166-182を精読する 復習 1 時間	認知 (問題解決)
14	7/15 (木) 1限	石橋	ユニット14 思いを伝え合うこころ 〔講義〕	1) 歯科医療におけるコミュニケーションの意義を理解する 2) 信頼関係の構築の仕方を学ぶ 3) 傾聴姿勢について学ぶ 4) 共感姿勢について学ぶ	1) 歯科医療におけるコミュニケーションの意義について説明することができる 2) 信頼関係の構築を身につける 3) 傾聴姿勢を身につける 4) 共感姿勢を身につける	教科書のP184-198を精読する 復習 1 時間	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
15	7/29 (木) 1限	石橋	ユニット15 心理学の歩と研究法 〔講義〕	1) 心理学の歴史を学ぶ 2) 心理学の方法について知る 3) 結果分析の手法を知る	1) 心理学は何を明らかにしようとしてきたか説明することができる 2) 心理学の方法について述べることができる 3) 結果の分析の手法について述べることができる	教科書のP200-208を精読する 復習 1 時間	認知 (問題解決)

倫理学

開講時期： 2 年次前期
 授業時間数： 15 コマ；30 時間 2 単位
 受験資格要件： 2/3（10 コマ）以上の出席
 科目番号： DH022308
 評価責任者： 堀部晴美
 授業担当者： 永嶋哲也

1. 一般目標

医療人としての自覚と倫理観を得るために、「尊厳」と生命倫理学の観点からそれらの問題の前提や原理について学び、豊かな教養と人間性を持つための基礎を得ることによって、日常のさまざまな事柄や医療における倫理的問題について自分の意見を持つことを到達目標とする。

2. 教育方法

板書中心の講義形式

3. 教育教材

黒板、プリント、DVD、iPad+プロジェクター

4. 学修方法

授業では説明内容を集中して聞くこと。板書はノートに書き写し、他に重要と思われる点をそこに書き加えること。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15 時間】

5. 評価方法

〔形式的評価〕

〔フィードバック〕

〔総括的評価〕記述試験（80%）、授業参加状況（20%）（授業出席状況と、私語や居眠りをしないなどの受講態度とによる）

〔フィードバック〕中間試験では模範解答を次週講義時に提示する。

6. 教科書

使用せず。授業において適宜プリントが詳細資料として配付される。

7. 参考書

参考文献は講義中に適宜紹介される。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 〔授業方法〕	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1	4/8 (木) 2 限	永嶋	ユニット 1 はじめに 〔講義〕	1) 倫理学とはどういう学問か理解する	(1) 倫理学の成り立ちについて説明できる	「倫理」「道徳」の意味・用い方を調べる [1.0 時間]	認知 (解釈)
2	4/15 (木) 2 限	永嶋	ユニット 2 尊厳と尊厳死 〔講義〕	1) 尊厳について基本的人権との関連から理解する	(1) 「尊厳」の意味について歴史的変遷を説明できる	「尊厳」を調べる [1.0 時間]	認知 (解釈)
3	4/22 (木) 2 限	永嶋	ユニット 2 尊厳と尊厳死 〔講義・動画供覧〕	1) 安楽死と自殺幇助の違いとの関係について理解する	(1) 安楽死について説明できる (2) 自殺幇助について説明できる (3) 日本での「尊厳死」の意味について説明できる	「自殺幇助」「終末期の治療停止」を調べる [1.0 時間]	認知 (想起)
4	5/6 (木) 2 限	永嶋	ユニット 2 尊厳と尊厳死 〔講義〕	1) 自然死と尊厳死について理解する	(1) アメリカの自然死法と尊厳死法について説明できる	CA 州「自然死法」、OR 州「尊厳死法」を調べる [1.0 時間]	認知 (想起) 情意

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
5	5/13 (木) 2 限	永嶋	ユニット 2 尊厳と尊厳死 [講義]	1) 尊厳死について積極的 安楽死との関連から理 解する	(1) ヨーロッパでの尊厳死法、事前 指示法、自己決定権法について 説明できる	ヨーロッパでの尊 厳死合法化状況に ついて調べる [1.0 時間]	認知 (想起) 情意
6	5/20 (木) 2 限	永嶋	ユニット 2 尊厳と尊厳死 [講義]	1) 尊厳死について自己決 定権との関連から理解 する	(1) 尊厳死と自己決定について説明 できる	「積極的安楽死」 「囑託殺人」を調べ る [1.0 時間]	認知 (想起)
7	5/27 (木) 2 限	永嶋	ユニット 3 中間試験 [講義]	1) ユニット 1、2 に関する 知識習得を確認する	(1) ユニット 1、2 に関する重要な 事項について説明できる	ユニット 1、2 を復 習する [1.0 時間]	認知 (想起)
8	6/3 (木) 2 限	永嶋	ユニット 2 尊厳と尊厳死 [講義・DVD 供覧]	1) 映画を通して尊厳死に ついて理解する	(1) ロックドイン・シンドロームに ついて説明できる (2) 尊厳について自己実現との関係 から説明できる	映画『潜水服は蝶の 夢を見る』を調べる [1.0 時間]	認知 (解釈)
9	6/10 (木) 2 限	永嶋	ユニット 4 生命倫理学 [講義]	1) 生命倫理学の始まりに ついて理解する	(1) 伝統的な医療倫理と新しい生命 倫理との関係について説明でき る	「生命倫理学」と “Bioethics”を調べ る [1.0 時間]	認知 (想起) 情意
10	6/17 (木) 2 限	永嶋	ユニット 4 生命倫理学 [講義]	1) 生命の始まりの倫理に ついて理解する	(1) 人工妊娠中絶について生命の尊 厳との関連から説明できる (1) 人工妊娠中絶について自己決定 の尊重との関連から説明できる	母体保護法につい て調べる [1.0 時間]	認知 (想起) 情意
11	6/24 (木) 2 限	永嶋	ユニット 4 生命倫理学 [講義]	1) 生命の始まりの倫理に ついて理解する	(1) 出生前診断と選択的中絶につい て説明できる	「出生前診断」「選 択的中絶」を調べる [1.0 時間]	認知 (想起)
12	7/1 (木) 2 限	永嶋	ユニット 4 生命倫理学 [講義]	1) 医の倫理原則について 理解する	(1) 与益、無加害、正義、自律尊重 原則について説明できる	「生命医学倫理の 四原則」について調 べる [1.0 時間]	認知 (想起)
13	7/8 (木) 2 限	永嶋	ユニット 4 生命倫理学 [講義]	1) 正義原則について理解 する	(1) 医療資源の公平配分についてに ついて正義原則との関連から説 明できる (2) トリアージについて人間の尊厳 との関連から説明できる	「トリアージ」を調 べる [1.0 時間]	認知 (解釈)
14	7/15 (木) 2 限	永嶋	ユニット 4 生命倫理学 [講義]	1) インフォームドコンセ ントについて理解する	(1) インフォームドコンセントにつ いて自律尊重原則との関連から 説明できる	“informed-consen t”を調べる [1.0 時間]	認知 (解釈)
15	7/22 (木) 2 限	永嶋	ユニット 4 生命倫理学 [講義]	1) プライバシーについて 理解する	(1) プライバシーについて自律尊重 原則との関連から説明できる	“privacy”を調べる [1.0 時間]	認知 (解釈)

介護研修Ⅰ

開講時期： 2 年次前期
 授業時間数： 12 コマ；24 時間
 2 単位
 受験資格要件： 2/3（8 コマ）以上の出席
 科目番号： DH022309
 評価責任者： 古野 みはる
 授業担当者： 古野 みはる

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として必要な高齢者や障害者を支援するための基礎的知識や技術（身体介護・生活援助・多様な対象者とのコミュニケーション技術、医療的ケア）を理解することで、対象者のQOLの向上支援を行う視点を身に付ける。また、地域共生社会の実現に向けて、社会や他者のために責任ある行動がとれる能力を修得する。

2. 教育方法

講義・演習（福岡県の「介護福祉士実務者研修」事業の指定を受けた内容に基づいて実施する）

行政機関等で介護福祉士、社会福祉士として高齢者や障害者の支援に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、PC+プロジェクター。

4. 学修方法

授業は求められた予習項目を予習していることを前提に開始するので、授業開始までに予習しておくこと。授業中はノートを取ること。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認と復習をその日のうちに行うこと。課題がある場合は締め切り期日を守ること。

本授業は、高齢者・障害者歯科学、口腔介護論、口腔介護技術と密接な関係があり、臨床実習での患者や利用者理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：12時間】

5. 評価方法

【総括的評価】課題提出（80%）、授業参加状況（予習・復習の実施状況等）（20%）

【フィードバック】成績は、評価終了後に掲示する。

※介護福祉士実務者研修修了を目指す者は、①決められた期日までに課題を提出し、60点以上を取得すること、②介護研修Ⅰ～Ⅴまで終了後に修了試験を行うので、60点以上を取得すること。

6. 教科書

1. 「介護職員実務者研修テキスト第1巻人間と社会」中央法規出版、2020年3月

7. 参考書

特になし

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
1	4/8 (木) 1限	古野	ユニット 1 介護における尊厳の 保持・自立支援 〔講義〕	オリエンテーション 1) 人権と尊厳を支える介護に ついて理解する。	1) 人権、尊厳をめぐる歴史的 経緯について説明できる。 2) 介護における自立の意味を 説明できる。 3) 介護職に求められる権利擁 護の視点を列挙できる。 4) 虐待防止法における虐待の 種類と内容を説明できる。	「権利擁護」の意 味と具体例を調べ ノートにまとめ る。 (予習0.5時間) 自由権と社会権の 定義をレポートに まとめる。 (復習0.5時間)	認知 (想起)
2 3	4/8 (木) 2限 4/16 (木) 1限	古野	ユニット2 介護・福祉サービ スの理解と医療との連 携 〔講義〕	1) 介護保険制度について理解 する。	1) 介護保険制度創設の背景に ついて説明できる。 2) 介護保険制度の概要を説明 できる。	少子高齢化の背景 を調べノートにま とめる。 (予習1時間) 介護保険の基本理 念をレポートにま とめる。 (復習1時間)	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
4 5	4/15 (木) 2限 4/22 (木) 1限	古野	ユニット2 介護・福祉サービスの 理解と医療との連携 〔講義〕	2) 障害者総合支援制度及びそ の他の制度について理解す る。	1) 障害者総合支援法の概要を 説明できる。 2) 生活保護の8つの扶助を列 挙できる。 3) 成年後見制度の概要を説明 できる。	障害者の定義を調 べてノートにまと める。 (予習1時間) 成年後見人等が行 う保護や支援の内 容をレポートにま とめる。 (復習1時間)	認知 (想起)
6 7	4/22 (木) 2限 5/6 (木) 1限	古野	ユニット3 介護の基本 〔講義〕	1) 介護職の役割、専門性と多 職種との連携を理解する。 2) 介護職の職業倫理を理解す る。	1) 介護職の役割を説明でき る。 2) 介護職に必要な倫理的態度 を示すことができる。	「介護に関わる職 種」を調べてノー トに写す。 (予習1時間) 倫理綱領に記載の 職業倫理をレポー トにまとめる。 (復習1時間)	認知 (想起)
8 9	5/6 (木) 2限 5/13 (木) 1限	古野	ユニット3 介護の基本 〔講義〕	3) 介護における安全の確保と リスクマネジメントを理解す る。 4) 介護職の安全について理解 する。	1) 介護における安全を説明で きる。 2) リスクが生じる要因を列举 できる。 3) 介護職が心身の健康を保つ 必要性を説明できる。 4) 感染対策・予防について説 明できる。	介護現場で起こり やすい事故を調べ ノートにまとめる。 (予習1時間) 感染症発生時の具 体的対応をレポー トにまとめる。 (復習1時間)	認知 (想起)
10 11	5/13 (木) 2限 5/20 (木) 1限	古野	ユニット4 介護におけるコミュ ニケーション技術 〔講義〕	1) 介護におけるコミュニケー ション技術を理解する。	1) コミュニケーションの意 義、目的、役割を説明でき る。 2) 利用者の状況・状態に応じ たコミュニケーション技術を 説明できる。	言語的・非言語的 コミュニケーションの種 類を調べノートに まとめる。 (予習1時間) 利用者の意欲を引 き出す留意点につ いてレポートにま とめる。 (復習1時間)	認知 (想起)
12	5/20 (木) 2限	古野	ユニット4 介護におけるコミュ ニケーション技術 〔講義〕	2) 介護におけるチームのコミ ュニケーションを理解する。	1) 記録における情報の共有化 の意義を説明できる。 2) チームにおける報告・連 絡・相談の必要性を説明でき る。	介護現場での記録 の種類を調べノー トにまとめる。 (予習0.5時間) 報告・連絡・相談 の留意点をレポー トにまとめる。 (復習0.5時間)	認知 (想起)

介護研修Ⅱ

開講時期： 2 年次前期
 授業時間数： 16 コマ；32 時間
 2 単位
 受験資格要件： 2/3（11 コマ）以上の出席
 科目番号： DH022310
 評価責任者： 古野 みはる
 授業担当者： 古野 みはる、末松 美保子

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として必要な高齢者や障害者を支援するための基礎的知識や技術（身体介護・生活援助・多様な対象者とのコミュニケーション技術、医療的ケア）を理解することで、対象者のQOLの向上支援を行う視点を身に付ける。また、地域共生社会の実現に向けて、社会や他者のために責任ある行動がとれる能力を修得する。

2. 教育方法

講義・演習（福岡県の「介護福祉士実務者研修」事業の指定を受けた内容に基づいて実施する）

高齢者施設、医療機関、行政機関等で看護師、社会福祉士として高齢者や障害者の支援に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、PC+プロジェクター。

4. 学修方法

授業は求められた予習項目を予習していることを前提に開始するので、授業開始までに予習しておくこと。授業中はノートを取る。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認と復習をその日のうちに行うこと。課題がある場合は締め切り期日を守ること。

本授業は、高齢者・障害者歯科学、口腔介護論、口腔介護技術と密接な関係があり、臨床実習での患者や利用者理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：16時間】

5. 評価方法

【総括的評価】課題提出（80%）、授業参加状況（予習・復習の実施状況等）（20%）

【フィードバック】成績は、評価終了後に掲示する。

※介護福祉士実務者研修修了を目指す者は、①決められた期日までに課題を提出し、60点以上を取得すること、②介護研修Ⅰ～Ⅴまで終了後に修了試験を行うので、60点以上を取得すること。

6. 教科書

1. 「介護職員実務者研修テキスト第4巻こころとからだのしくみ」中央法規出版、2020年3月

7. 参考書

特になし

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
1 2	5/27 (木) 1,2限	古野	オリエンテーション ユニット1 発達と老化の理解Ⅰ 〔講義〕	1) 老化に伴うこととからだ の変化と日常を理解する。	1) 老年期の発達と老化に伴う 心身の変化の特徴を列挙でき る。 2) 老化に伴う日常生活への影 響について説明できる。	エリクソンの発達 段階を調べてノー トにまとめる。 (予習1時間) マズローの欲求階 層をレポートにま とめる。 (復習1時間)	認知 (想起)
3 4	6/3 (木) 1,2限	古野	ユニット2 発達と老化の理解Ⅱ 〔講義〕	2) 高齢者の心身の健康につい て理解する。	1) 高齢者の症状・疾患の特徴 を列挙できる。 2) 高齢者に多い病気と日常生 活上の留意点を説明できる。	生活習慣病の種類 と原因を調べノー トにまとめる。 (予習1時間) 要介護状態と高齢 者の心理について レポートにまとめ る (復習1時間)	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
5 6	6/10 (木) 1,2限	古野	ユニット3 認知症の理解Ⅰ 〔講義〕	1) 認知症を取り巻く状況（環境）を理解する。 2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理について理解する。	1) 認知症ケアの理念を説明できる。 2) 認知症の原因疾患とその形態を列挙できる。	「新オレンジプラン」を調べてノートにまとめる。 (予習1時間) 認知症のBPSDについてレポートにまとめる。 (復習1時間)	認知 (想起)
7 8	6/17 (木) 1,2限	古野	ユニット4 認知症の理解Ⅱ 〔講義〕	1) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活について理解する。 2) 認知症の家族への支援について理解する。	1) 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴を説明できる。 2) 家族へのレスパイトケアの種類や方法について説明できる。	「認知症カフェ」について調べノートにまとめる。 (予習1時間) レスパイトケアについてレポートにまとめる。 (復習1時間)	認知 (想起)
9 10	6/24 (木) 1,2限	古野	ユニット5 障害の理解Ⅰ 〔講義〕	1) 国際障害分類と国際生活機能分類の違いを理解する。 2) 障害による生活障害、心理・行動の特徴を理解する。 3) 障害児・者の家族へのかかわり、支援について理解する。	1) 障害の概念とICFについて説明できる。 2) 障害の受容過程を説明できる。 3) 家族の理解と障害の受容支援の意義を説明できる。	「医学モデル」と「生活モデル」の違いをノートにまとめる。 (予習1時間) ICIDHとICFの特徴についてレポートにまとめる。 (復習1時間)	認知 (想起)
11 12	7/1 (木) 1,2限	古野	ユニット6 障害の理解Ⅱ 〔講義〕	1) 障害種別毎の医学的理解をする。 2) 地域におけるサポート体制を理解する。	1) 障害種別毎の医学的特徴を説明できる。 2) 地域のサポート体制（社会資源）を列挙できる。	身体障害者を障害毎に分類しノートにまとめる。 (予習1時間) ICIDHとICFの特徴についてレポートにまとめる。 (復習1時間)	認知 (想起)
13 14	7/8 (木) 1,2限	末松	ユニット7 こころとからだのしくみⅠ 〔講義〕	1) 介護に関連するからだのしくみを理解する。	1) 移動・移乗に関連するからだのしくみを説明できる。 2) 食事に関連するからだのしくみを説明できる。 3) 入浴・清潔・排泄に関連するからだのしくみを説明できる。 4) 着脱・整容・口腔清潔に関連するからだのしくみを説明できる。 5) 睡眠に関するからだのしくみを説明できる。	口腔の主な働きをノートにまとめる。 (予習1時間) 摂食・嚥下の5分類による食事動作の段階をレポートにまとめる。 (復習1時間)	認知 (想起)
15 16	7/15 (木) 1,2限	末松	ユニット8 こころとからだのしくみⅡ 〔講義〕	1) 心身の構造・機能と介護における観察のポイントを理解する。	1) 人体の構造と機能を説明できる。 2) 移動・移乗における観察のポイントを説明できる。 3) 食事における観察のポイントを理解できる。 4) 入浴・清潔・排泄における観察のポイントを理解できる。 5) 着脱・整容・口腔清潔における観察のポイントを理解できる。 6) 睡眠における観察のポイントを説明できる。	介護をする際の観察のポイントをノートにまとめる。 (予習1時間) 睡眠不足が及ぼす影響についてレポートにまとめる。 (復習1時間)	認知 (想起)

介護研修Ⅲ

開講時期： 2 年次後期
 授業時間数： 12 コマ：24 時間
 2 単位
 受験資格要件： 2/3（8 コマ）以上の出席
 科目番号： DH022311
 評価責任者： 秋竹 純
 授業担当者： 秋竹 純

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として必要な高齢者や障害者を支援するための基礎的知識や技術（身体介護・生活援助・多様な対象者とのコミュニケーション技術、医療的ケア）を理解することで、対象者のQOLの向上支援を行う視点を身に付ける。また、地域共生社会の実現に向けて、社会や他者のために責任ある行動がとれる能力を修得する。

2. 教育方法

講義・演習（福岡県の「介護福祉士実務者研修」事業の指定を受けた内容に基づいて実施する）
 高齢者施設で、介護福祉士として高齢者や障害者の支援に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、PC+プロジェクター。

4. 学修方法

授業は求められた予習項目を予習していることを前提に開始するので、授業開始までに予習しておくこと。授業中はノートを取る。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認と復習をその日のうちに行うこと。課題がある場合は締め切り期日を守ること。

本授業は、高齢者・障害者歯科学、口腔介護論、口腔介護技術と密接な関係があり、臨床実習での患者や利用者理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：12時間】

5. 評価方法

〔総括的評価〕課題提出（80%）、授業参加状況（予習・復習の実施状況等）（20%）

〔フィードバック〕成績は、評価終了後に掲示する。

※介護福祉士実務者研修修了を目指す者は、①決められた期日までに課題を提出し、60点以上を取得すること、②介護研修Ⅰ～Ⅴまで終了後に修了試験を行うので、60点以上を取得すること。

6. 教科書

1. 「介護職員実務者研修テキスト第2巻介護Ⅰ」中央法規出版、2020年3月

7. 参考書

特になし

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
1 2	9/22 (水) 1,2限	秋竹	オリエンテーション ユニット1 生活支援技術Ⅰ 〔講義〕	1) 自立に向けた介護の方法を理解する。	1) ICFの視点でアセスメントできる。 2) 居住環境の整備と福祉用具の活用について説明できる。	介護保険の対象となっている福祉用具を調べてノートにまとめる。 (予習1時間) 生活場面で福祉用具を活用する視点についてレポートにまとめる。 (復習1時間)	認知 (想起)
3 4	9/24 (金) 1,2限	秋竹	ユニット1 生活支援技術Ⅰ 〔講義〕	1) 自立に向けた介護の方法を理解する。	3) 自立に向けた移動・移乗の介護技術の基本を説明できる。 4) 自立に向けた食事の介護技術の基本を説明できる。 5) 自立に向けた入浴・清潔・排泄の介護技術の基本を説明できる。	ボディメカニクスの基本原理を調べてノートにまとめる。 (予習1時間) 排泄の介助を行う際の留意点をレポートにまとめる。 (復習1時間)	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
5 6	9/29 (水) 3,4限	秋竹	ユニット1 生活支援技術Ⅰ 〔講義〕	1) 自立に向けた介護の方法を 理解する。	6) 自立に向けた着脱・整容・ 口腔清潔の介護技術の基本を 説明できる。 7) 自立に向けた家事援助の基 本を説明できる。	着脱・整容の介助 を行う際の留意点 を調べてノートに まとめる。 (予習1時間) 自立に向けた家事 援助を行う際の留 意点をレポートに まとめる。 (復習1時間)	認知 (想起)
7 8	10/1 (金) 3,4限	秋竹	ユニット2 生活支援技術Ⅱ 〔演習〕	1) 利用者の心身の状況に応じ た介護の方法を身に付ける。	1) 心身の状況に応じた移動・ 移乗の介助の基本を実践でき る。 2) 心身の状況に応じた食事の 介助の基本を実践できる。	安楽な体位につい て調べてノートに まとめる。 (予習1時間) 食事に適した姿勢 についてレポート にまとめる。 (復習1時間)	認知 (想起) 精神・運 動 (模倣)
9 10	10/6 (水) 3,4限	秋竹	ユニット2 生活支援技術Ⅱ 〔演習〕	1) 利用者の心身の状況に応じ た介護の方法を身に付ける。	3) 心身の状況に応じた入浴・ 清潔・排泄の介助の基本を実 践できる。 4) 心身の状況に応じた着脱・ 整容・口腔清潔の介助の基本 を実践できる。	褥瘡の原因、好発 部位、予防のボー イントを調べてノ ートにまとめる。 (予習1時間) 一部介助を要する 利用者への介助方 法をレポートにま とめる。 (復習1時間)	認知 (想起) 精神・運 動 (模倣)
11 12	10/8 (金) 3,4限	秋竹	ユニット2 生活支援技術Ⅱ 〔演習〕	1) 利用者の心身の状況に応じ た介護の方法を身に付ける。	5) 睡眠の介助 6) 人生の最終段階における介 護	睡眠薬の副作用、 禁断症状について 調べてノートにま とめる。 (予習1時間) 終末期の利用者や 家族に対する支援 の留意点について レポートにまとめ る。 (復習1時間)	認知 (想起) 精神・運 動 (模倣)

介護研修Ⅳ

開講時期： 2 年次後期
 授業時間数： 30 コマ：60 時間
 3 単位
 受験資格要件： 2 / 3 （20 コマ）以上の出席
 科目番号： DH022312
 評価責任者： 秋竹 純
 授業担当者： 秋竹 純

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として必要な高齢者や障害者を支援するための基礎的知識や技術（身体介護・生活援助・多様な対象者とのコミュニケーション技術、医療的ケア）を理解することで、対象者のQOLの向上支援を行う視点を身に付ける。また、地域共生社会の実現に向けて、社会や他者のために責任ある行動がとれる能力を修得する。

2. 教育方法

講義・演習・ロールプレイ（福岡県の「介護福祉士実務者研修」事業の指定を受けた内容に基づいて実施する）
 高齢者施設等で介護福祉士として高齢者や障害者の支援に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、PC+プロジェクター。

4. 学修方法

授業は求められた項目の予習をしていることが前提で開始される為、必ず予習をしておくこと。授業中はノートを取る。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認と復習をその日のうちに行うこと。課題がある場合は締め切り期日を守る。

本授業は、高齢者・障害者歯科学、口腔介護論、口腔介護技術と密接な関係があり、臨床実習での患者や利用者理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：30時間】

5. 評価方法

〔総括的評価〕課題提出（80%）、授業参加状況（予習・復習の実施状況等）（20%）

〔フィードバック〕成績は、評価終了後に掲示する。

※介護職員実務者研修修了を目指す者は、①決められた期日までに課題を提出し、60点以上取得すること、②本授業（介護研修Ⅳ：介護過程）については、全授業時間を出席すること、③介護研修Ⅰ～Ⅴまで終了後、修了試験で、60点以上を取得すること。

6. 教科書

1. 「介護職員実務者研修テキスト第3巻介護Ⅱ」中央法規出版、2020年3月

7. 参考書

特になし

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
1 2	10/13 (水) 3,4限	秋竹	オリエンテーション ユニット1 介護過程Ⅰ 〔講義〕	1)介護過程の目的・意義、展開等の概要を理解する	1)介護過程の必要性について述べるができる 2)介護過程を展開する手順や経過を説明できる	介護過程のフローチャートをノートにまとめる〔予習時間1時間・復習時間1時間〕	認知 (想起)
3 4	10/15 (金) 3,4限	秋竹	ユニット1 介護過程Ⅰ 〔講義〕	2)チームで介護過程を展開するための情報共有の方法、各職種の役割を理解する	1)個別援助計画とチームアプローチの関係性について説明できる 2)カンファレンスについて説明できる	障害高齢者の自立度判定基準、認知症高齢者の自立度判定基準をノートにまとめる〔予習時間1時間・復習時間1時間〕	認知 (想起)
5 6	10/20 (水) 3,4限	秋竹	ユニット2 介護過程Ⅱ 〔講義〕	1)情報収集、アセスメント、介護計画立案までの具体的方法が理解できる	1)利用者の全体像を捉えICFの視点と関係づけることができる 2)ICFの構成図が記述できる。 3)ICFとICIDHの違いについて説明できる。	ICFの構成図をノートに書く〔予習時間1時間・復習時間1時間〕	認知 (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
7 8	10/22 (金) 3,4限	秋竹	ユニット2 介護過程Ⅱ 〔講義〕	2)介護計画立案に必要な生活課題の抽出方法を修得する	1)アセスメントした内容を整理し記述できる 2)生活ニーズとは何か説明できる	情報の関連図をノートに書く〔予習時間1時間・復習時間1時間〕	認知 (解釈)
9 10	10/27 (水) 3,4限	秋竹	ユニット2 介護過程Ⅱ 〔講義〕	3)介護計画の立案方法が理解できる	1)生活課題に優先順位をつけた上で、その理由を述べる ことができる 2)長期目標、短期目標を立案する時の注意点について説明できる	特性シートに記入する情報をノートに書き出す〔予習時間1時間・復習時間1時間〕	認知 (解釈)
11 12	10/29 (金) 3,4限	秋竹	ユニット3 介護過程Ⅲ 〔講義・演習〕	1)介護計画実施に必要なとなる 具体的援助方法とは何か理解 できる	1)具体的援助方法に必要な項目と内容が列記できる	5W1Hとは何か調べノートにまとめる〔予習時間1時間・復習時間1時間〕	認知 (想起)
13 14	11/5 (金) 3,4限	秋竹	ユニット3 介護過程Ⅲ 〔講義・演習〕	2)モニタリングを行う際の視 点が理解できる	1)モニタリングする際のスケールや視点を説明できる 2)モニタリングした内容を再度アセスメント、介護計画に反映する理由が説明できる	モニタリングについて熟読しノートにまとめる〔予習時間1時間・復習時間1時間〕	認知 (想起)
15 16	11/10 (水) 3,4限	秋竹	ユニット3 介護過程Ⅲ 〔講義・演習・ロール プレイ〕	1)-1利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開ができる 事例1 「片麻痺のある高齢者の夢の実現に向けた支援」	1)知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身状況に応じた介護過程の展開が創造できる 2)介護計画立案に向け、生活課題の抽出などグループ内で討議できる	事例1を熟読し重要な箇所にラインを引く〔予習時間1時間・復習時間1時間〕	認知 (想起) 情意 (反応) 精神運動 (コントロール)
17 18	11/12 (金) 3,4限	秋竹	ユニット3 介護過程Ⅲ 〔講義・演習・ロール プレイ〕		3)計画を実施する際に必要な手順や備品が列記できる 4)介護計画の一部をロールプレイで実施できる 5)実施した内容を振り返り改善点を批判・指摘できる	事例1のアセスメント内容を用紙に下書きする〔予習時間1時間・復習時間1時間〕	認知 (想起) 情意 (反応) 精神運動 (コントロール)
19 20	11/17 (水) 3,4限	秋竹	ユニット3 介護過程Ⅲ 〔講義・演習・ロール プレイ〕	1)-2利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開ができる 事例2 「在宅で終末期を迎える高齢者と家族の生活支援」	1)知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身状況に応じた介護過程の展開が創造できる 2)介護計画立案に向け、生活課題の抽出などグループ内で討議できる	事例2を熟読し重要な箇所にラインを引く〔予習時間1時間・復習時間1時間〕	認知 (想起) 情意 (反応) 精神運動 (コントロール)
21 22	11/19 (金) 3,4限	秋竹	ユニット3 介護過程Ⅲ 〔講義・演習・ロール プレイ〕		3)計画を実施する際に必要な手順や備品が列記できる 4)介護計画の一部をロールプレイで実施できる 5)実施した内容を振り返り改善点を批判・指摘できる	事例2のアセスメント内容を用紙に下書きする〔予習時間1時間・復習時間1時間〕	認知 (想起) 情意 (反応) 精神運動 (コントロール)
23 24	11/24 (水) 3,4限	秋竹	ユニット3 介護過程Ⅲ 〔講義・演習・ロール プレイ〕	1)-3利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開ができる 事例3 「都会に住む一人暮らし高齢者の生活支援」	1)知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身状況に応じた介護過程の展開が創造できる 2)介護計画立案に向け、生活課題の抽出などグループ内で討議できる	事例3を熟読し重要な箇所にラインを引く〔予習時間1時間・復習時間1時間〕	認知 (想起) 情意 (反応) 精神運動 (自動化)
25 26	11/26 (金) 3,4限	秋竹	ユニット3 介護過程Ⅲ 〔講義・演習・ロール プレイ〕		3)計画を実施する際に必要な手順や備品が列記できる 4)介護計画の一部をロールプレイで実施できる 5)実施した内容を振り返り改善点を批判・指摘できる	事例3のアセスメント内容を用紙に下書きする〔予習時間1時間・復習時間1時間〕	認知 (想起) 情意 (反応) 精神運動 (コントロール)
27 28	12/1 (水) 3,4限	秋竹	ユニット3 介護過程Ⅲ 〔講義〕・演習・ロール プレイ	1)-4利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開ができる 事例4 「介護老人保健施設で生活する利用者への支援」	1)知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身状況に応じた介護過程の展開が創造できる 2)介護計画立案に向け、生活課題の抽出などグループ内で討議できる	事例4を熟読し重要な箇所にラインを引く〔予習時間1時間・復習時間1時間〕	認知 (想起) 情意 (反応) 精神運動 (自動化)
29 30	12/3 (金) 3,4限	秋竹	ユニット3 介護過程Ⅲ 〔講義・演習・ロール プレイ〕		3)計画を実施する際に必要な手順や備品が列記できる 4)介護計画の一部をロールプレイで実施できる 5)実施した内容を振り返り改善点を批判・指摘できる	事例4のアセスメント内容を用紙に下書きする〔予習時間1時間・復習時間1時間〕	認知 (想起) 情意 (反応) 精神運動 (コントロール)

介護研修Ⅴ

開講時期： 2 年次後期
 授業時間数： 16 コマ:32 時間
 2 単位
 受験資格要件： 2/3 (11 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH022313
 評価責任者： 古野 みはる
 授業担当者： 末松 美保子

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として必要な高齢者や障害者を支援するための基礎的知識や技術（身体介護・生活援助・多様な対象者とのコミュニケーション技術、医療的ケア）を理解することで、対象者のQOLの向上支援を行う視点を身に付ける。また、地域共生社会の実現に向けて、社会や他者のために責任ある行動がとれる能力を修得する。

2. 教育方法

講義・演習（シミュレーターを使用した喀痰の吸引・経管栄養・救急蘇生法）

（演習は、福岡県の「介護福祉士実務者研修」事業の指定を受けた内容に基づいて実施する）

医療機関、高齢者施設等で、看護師として患者や高齢者の看護に携わった実務経験及び「医療的ケア指導者講習修了」の資格を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材・機材

教科書、プリント、DVD+PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業は求められた予習項目を予習していることを前提に開始するので、授業開始までに予習しておくこと。授業中はノートを取る。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認と復習をその日のうちに行うこと。課題がある場合は締め切り期日を守ること。

本授業は、高齢者・障害者歯科学、口腔介護論、口腔介護技術と密接な関係があり、臨床実習での患者や利用者理解に不可欠である。

また、医療的ケア演習時には、服装を整え、時間厳守で着席し、[演習]ができる準備をする。

【単位修得に必要な授業外学修時間：16時間】

5. 評価

[総括的評価]講義：課題提出（80%）、授業参加状況（予習・復習の実施状況等）（20%）

演習：実技（100%）

[フィードバック] 成績は、評価終了後に掲示する。

※介護福祉士実務者研修修了を目指す者は、①決められた期日までに課題を提出し、60点以上を取得すること、②医療的ケア演習については、全授業時間を出席し、社会福祉士及び介護福祉士法施行規則別表第一及び第二号研修の修得程度の審査方法に基づいた評価を受け合格すること、③介護研修Ⅰ～Ⅴまで終了後、修了試験で、60点以上を取得すること。

6. 教科書

1. 「介護福祉士実務者研修テキスト第5巻医療的ケア」中央法規出版、2020年3月

7. 参考書

1. 「介護福祉士実務者研修テキスト第4巻こころとからだのしくみ」中央法規出版、2020年3月

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復 習項目と 必要時間	教育目標 領域
1	12/8 (水) 1限	末松	オリエンテーショ ン ユニット 1 人間と社会保健医 療制度とチーム医 療 講義	1) 医療的ケア実施の基礎 について理解する。	1) 医療的ケアにおける「個人の尊厳 と自立」の意義を理解することがで きる。 2) 医療的ケアに際して必要なチーム の構成職種を述べるができる	[予習1時 間] 医行為に ついてま とめる	認知 (想起) 情意 (内面化)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復 習項目と 必要時間	教育目標 領域
2	12/8 (水) 2限	末松	ユニット 4 安全な療養生活 講義	1) 医療的ケアの安全な実施について理解することができる。	1) 安全な実施の重要性について理解することができる。 2) 吸引時、経管栄養の管理時の危険について説明できる。	[復習1時間] ヒヤリハットの記載の目的を各。	認知 (想起) 情意 (内面化)
3	12/10 (金) 3限	末松	ユニット5 清潔の保持と感染予防 講義・DVD視聴	2) 滅菌と消毒について理解する。	1) 消毒と滅菌の違いについて理解することができる。 2) 消毒液の使い方と留意点について説明できる。	[復習1時間] 消毒と滅菌の違いについて書く。	認知 (想起) 情意 (内面化)
4	12/10 (金) 4限	末松	ユニット 6 健康状態の把握 講義・演習	1) 健康のチェック方法について理解する。	1) 健康状態（バイタルサイン）を把握する方法について理解することができる。 2) バイタルサインの正常値を述べるることができる。	[復習1時間] バイタルサインを4つ書く。	認知 (想起) 情意 (内面化)
5	12/15 (水) 3限	末松	ユニット 7 高齢者及び障がい児・者の喀痰吸引 講義	1) 呼吸の仕組みと働きについて理解する。	1) 呼吸器の仕組みと、働きの重要性について理解することができる。 2) 呼吸器の働きについて説明できる。	[復習1時間] 呼吸時の空気の流れを書く。	認知 (想起) 情意 (内面化)
6	12/15 (水) 4限	末松	復習 ユニット 1 高齢者および障がい児・者の喀痰吸引概要 講義・DVD供覧	1) 喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持について理解する。	1) 吸引に用いる器具器材の正しい取り扱いについて理解することができる。 2) 吸引器、吸引チューブの仕組みについて説明することができる。	[復習1時間] 吸引時の必要物品を書く。	認知 (想起) 情意 (内面化)
7	12/17 (金) 3限	末松	ユニット3 高齢者および障がい児・者の「経管栄養」概要 講義	1) 消化器系のしくみと働きを理解する。	1) 経管栄養法で注意すべき留意点を理解することができる。 2) 消化器の働きについて説明できる。	[復習1時間] 消化管の働きを4つ書く。	認知 (想起) 情意 (内面化)
8	12/17 (金) 4限	末松	ユニット3 高齢者および障がい児・者の「経管栄養」概要 講義	講義4) 経管栄養法を実施する際の留意点について理解する。	1) 経管栄養法に必要な物品と方法について理解することができる。 2) 経管栄養法実施時のリスクについて説明できる。	[復習1時間] 経管栄養に使用する必要物品を書く。	認知 (想起) 情意 (内面化)
9	12/22 (水) 3限	末松	オリエンテーション ユニット 1 痰の吸引法についてシミュレーターを使い実施できる [演習]	1) 喀痰の吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持を学ぶことができる。	1) 吸引に必要な器械の操作・シミュレーターを使つての口腔内・鼻腔内の実施ができる。 2) 口腔内吸引・鼻腔内吸引の留意点について説明できる。	DVDを視聴し実施できる。 [予習1時間]	認知 (想起) 情意 (内面化) 精神運動 (模倣)
10	12/22 (水) 4限	末松	ユニット 1 痰の吸引法についてシミュレーターを使い実施できる [演習]	1) 喀痰の吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持を学ぶことができる。	1) 吸引に必要な器械の操作・シミュレーターを使つての口腔内・鼻腔内の実施ができる。 2) 清潔不潔・滅菌操作について説明することができる。	[復習1時間] 痰吸引の手順を熟読し、ノートに書く。	認知 (想起) 情意 (内面化) 精神運動 (模倣)
11	1/12 (水) 3限	末松	ユニット 1 痰の吸引法についてシミュレーターを使い実施できる。 [演習]	1) 喀痰の吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持を学ぶことができる。	1) 吸引に必要な器械の操作・シミュレーターを使つて気管内吸引の実施ができる。 2) 気管内吸引の留意点について説明できる。	[復習1時間] 痰吸引の手順を熟読し、ノートに書く。	認知 (想起) 情意 (内面化) 精神運動 (模倣)
12	1/12 (水) 4限	末松	ユニット 1 痰の吸引法についてシミュレーターを使い実施できる。 [演習]	2) 喀痰吸引の報告及び記録について理解し、実施することができる。	1) シミュレーターを使つての口腔内・鼻腔内・気管内吸引の実施後の片付けと報告、記録ができる。 2) 報告、記録の留意点について説明できる。	[復習1時間] 痰吸引の手順を熟読し、ノートに書く。	認知 (想起) 情意 (内面化) 精神運動 (模倣)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復 習項目と 必要時間	教育目標 領域
13	1/14 (金) 3限	末松	ユニット 2 経管栄養法についてシミュレーター を使い実施できる。 [演習]	1) 経管栄養法で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持を学ぶことができる。	1) 経管栄養法に必要な器械の操作・シミュレーターを使って、胃瘻の管理ができる。 2) 胃瘻の管理（滴下）の留意点について説明できる。	[予習1時間] 痰吸引の手順を熟読し、ノートに書く。	認知 (想起) 情意 (内面化) 精神運動 (模倣)
14	1/14 (金) 4限	末松	ユニット 2 経管栄養法についてシミュレーター を使い実施できる。 [演習]	1) 経管栄養法で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持を学ぶことができる。	1) 経管栄養法に必要な器械の操作・シミュレーターを使って、経鼻経管栄養の管理ができる。 2) 経鼻経管栄養法の留意点について説明することができる。	[予習0.5時間・復習0.5時間] 痰吸引の手順を熟読し、ノートに書く。	認知 (想起) 情意 (内面化) 精神運動 (模倣)
15	1/19 (水) 3限	末松	ユニット 2 経管栄養法についてシミュレーター を使い実施できる。 [演習]	2) 喀痰吸引の報告及び記録について理解し、実施することができる。	1) シミュレーターを使つての口腔内・鼻腔内・気管内吸引の実施後の片付けと報告、記録ができる。 2) 報告、記録の留意点について説明できる。	[予習0.5時間・復習0.5時間] 痰吸引の手順を熟読し、ノートに書く。	認知 (想起) 情意 (内面化) 精神運動 (模倣)
16	1/19 (水) 4限	末松	ユニット 3 救急蘇生法について実践できる。 [演習]	3) 救急蘇生法：心肺蘇生法の実施ができる。	1) シミュレーターを使って心肺蘇生法の実施ができる。 2) 蘇生の実施手順を説明できる。	[予習0.5時間・復習0.5時間] 痰吸引の手順を熟読し、ノートに書く。	認知 (想起) 情意 (内面化) 精神運動 (模倣)

福 岡 医 療 短 期 大 学

〒814-0193 福岡市早良区田村二丁目15番1号

電 話 092 (801) 0439

F A X 092 (801) 4473